

自己資本比率規制第3の柱に基づく開示事項

I. 自己資本の構成に関する開示事項

1. 連結自己資本比率

(1)別紙様式第五号 (CC1)

(単位：百万円、%)

CC1：自己資本の構成（銀行連結・持株）					
国際様式の 該当番号		項目	イ	ロ	ハ
			2026年3月期	2025年3月期	別紙様式 第十四号（CC2） の参照項目
			八十二長野銀行	八十二銀行	
普通株式等Tier1資本に係る基礎項目					
1a+2-1c-26	普通株式に係る株主資本の額		678,014	650,322	
1a	うち、資本金及び資本剰余金の額		109,464	109,204	(01)、(02)
2	うち、利益剰余金の額		621,952	579,909	(03)
1c	うち、自己株式の額（△）		35,216	25,397	(04)
26	うち、社外流出予定額（△）		18,186	13,392	
	うち、上記以外に該当するものの額		—	—	
1b	普通株式に係る株式引受権及び新株予約権の合計額		114	150	(05)
3	その他の包括利益累計額及びその他公表準備金の額		455,750	299,645	(06)
5	普通株式等Tier1資本に係る調整後非支配株主持分の額		—	—	
6	普通株式等Tier1資本に係る基礎項目の額（イ）		1,133,879	950,118	
普通株式等Tier1資本に係る調整項目					
8+9	無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。）の額の合計額		3,300	2,801	
8	うち、のれんに係るもの（のれん相当差額を含む。）の額		—	—	
9	うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外のものの額		3,300	2,801	(11)
10	繰延税金資産（一時差異に係るものを除く。）の額		—	—	
11	繰延ヘッジ損益の額		82	△4,394	(07)
12	適格引当金不足額		6,876	1,796	
13	証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額		—	—	
14	負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額		86	50	
15	退職給付に係る資産の額		59,354	44,192	(12)
16	自己保有普通株式（純資産の部に計上されるものを除く。）の額		6	4	(13)
17	意図的に保有している他の金融機関等の普通株式の額		—	—	
18	少数出資金融機関等の普通株式の額		41,825	40,344	(13)
19+20+21	特定項目に係る十パーセント基準超過額		—	—	
19	うち、その他金融機関等に係る対象資本等調達手段のうち普通株式に該当するものに関連するものの額		—	—	
20	うち、無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限る。）に関連するものの額		—	—	
21	うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額		—	—	
22	特定項目に係る十五パーセント基準超過額		—	—	
23	うち、その他金融機関等に係る対象資本等調達手段のうち普通株式に該当するものに関連するものの額		—	—	
24	うち、無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限る。）に関連するものの額		—	—	
25	うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額		—	—	
27	その他Tier1資本不足額		28,124	38,439	
28	普通株式等Tier1資本に係る調整項目の額（ロ）		139,656	123,234	
普通株式等Tier1資本					
29	普通株式等Tier1資本の額（（イ）－（ロ））（ハ）		994,223	826,884	
その他Tier1資本に係る基礎項目					
30	31a	その他Tier1資本調達手段に係る株主資本の額及びその内訳	—	—	
	31b	その他Tier1資本調達手段に係る株式引受権及び新株予約権の合計額	—	—	
	32	その他Tier1資本調達手段に係る負債の額	—	—	
		特別目的会社等の発行するその他Tier1資本調達手段の額	—	—	
34	その他Tier1資本に係る調整後非支配株主持分等の額		908	994	(08)

(単位：百万円、%)

CC1：自己資本の構成（銀行連結・持株）				
国際様式の 該当番号	項目	イ	ロ	ハ
		2026年3月期	2025年3月期	別紙様式 第十四号（CC2） の参照項目
		八十二長野銀行	八十二銀行	
36	その他Tier1資本に係る基礎項目の額（二）	908	994	
その他Tier1資本に係る調整項目				
37	自己保有その他Tier1資本調達手段の額	—	—	
38	意図的に保有している他の金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	—	—	
39	少数出資金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	150	—	
40	その他金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	—	—	
42	Tier2資本不足額	28,882	39,434	
43	その他Tier1資本に係る調整項目の額（ホ）	29,032	39,434	
その他Tier1資本				
44	その他Tier1資本の額（（二）－（ホ））（ヘ）	—	—	
Tier1資本				
45	Tier1資本の額（（ハ）＋（ヘ））（ト）	994,223	826,884	
Tier2資本に係る基礎項目				
46	Tier2資本調達手段に係る株主資本の額及びその内訳	—	—	
	Tier2資本調達手段に係る株式引受権及び新株予約権の合計額	—	—	
	Tier2資本調達手段に係る負債の額	—	—	
	特別目的会社等の発行するTier2資本調達手段の額	—	—	
48	Tier2資本に係る調整後非支配株主持分等の額	213	233	(08)
50	一般貸倒引当金Tier2算入額及び適格引当金Tier2算入額の合計額	193	1,789	
50a	うち、一般貸倒引当金Tier2算入額	193	1,789	(14)
50b	うち、適格引当金Tier2算入額	—	—	
51	Tier2資本に係る基礎項目の額（チ）	407	2,023	
Tier2資本に係る調整項目				
52	自己保有Tier2資本調達手段の額	—	—	
53	意図的に保有している他の金融機関等のTier2資本調達手段及び その他外部TLAC関連調達手段の額	—	—	
54	少数出資金融機関等のTier2資本調達手段及びその他外部TLAC関 連調達手段の額	29,290	41,457	(13)、(15)
55	その他金融機関等のTier2資本調達手段及びその他外部TLAC関連 調達手段の額	—	—	
57	Tier2資本に係る調整項目の額（リ）	29,290	41,457	
Tier2資本				
58	Tier2資本の額（（チ）－（リ））（ヌ）	—	—	
総自己資本				
59	総自己資本の額（（ト）＋（ヌ））（ル）	994,223	826,884	

(単位：百万円、%)

CC1：自己資本の構成（銀行連結・持株）				
国際様式の 該当番号	項目	イ	ロ	ハ
		2026年3月期	2025年3月期	別紙様式 第十四号（CC2） の参照項目
		八十二長野銀行	八十二銀行	
リスク・アセット				
60	リスク・アセットの額（ヲ）	5,945,651	5,073,800	
連結自己資本比率及び資本バッファ				
61	連結普通株式等Tier1比率（（ハ）／（ヲ））	16.72	16.29	
62	連結Tier1比率（（ト）／（ヲ））	16.72	16.29	
63	連結総自己資本比率（（ル）／（ヲ））	16.72	16.29	
64	最低連結資本バッファ比率	2.55	2.55	
65	うち、資本保全バッファ比率	2.50	2.50	
66	うち、カウンター・シクリカル・バッファ比率	0.05	0.05	
67	うち、G-SIB/D-SIB/バッファ比率	—	—	
68	連結資本バッファ比率	8.72	8.29	
調整項目に係る参考事項				
72	少数出資金融機関等の対象資本等調達手段に係る調整項目不算入額	106,416	90,565	(13)、(15)
73	その他金融機関等に係る対象資本等調達手段のうち普通株式に係る調整項目不算入額	224	224	(13)、(15)
74	無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものに限る。）に係る調整項目不算入額	—	—	
75	繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に係る調整項目不算入額	—	—	
Tier2資本に係る基礎項目の額に算入される引当金に関する事項				
76	一般貸倒引当金の額	193	1,789	(14)
77	一般貸倒引当金に係るTier2資本算入上限額	952	4,703	
78	内部格付手法採用行において、適格引当金の合計額から事業法人等向けエクスポージャー及びリテール向けエクスポージャーの期待損失額の合計額を控除した額（当該額が零を下回る場合にあっては、零とする。）	—	—	
79	適格引当金に係るTier2資本算入上限額	—	—	

(2)連結貸借対照表の科目が「自己資本の構成に関する開示項目」のいずれに相当するかについての説明

①別紙様式第十四号 (CC2)

(単位：百万円)

CC2：連結貸借対照表の科目と自己資本の構成に関する開示項目の対応関係

項目	イ		ロ	ハ	ニ
	公表連結貸借対照表		規制上の連結範囲 に基づく連結貸借 対照表	別紙様式第五号 (CC1)を参照する 番号又は記号	付記を参照する 番号又は記号
	2026年3月期	2025年3月期			
	八十二長野銀行	八十二銀行			
資産の部					
現金預け金	2,818,818	3,027,055			
コールローン及び買入手形	—	11,958			
買入金銭債権	73,397	105,003			
特定取引資産	56,281	38,602			6-a
金銭の信託	39,540	78,761			
有価証券	3,365,253	3,406,740		(13)	6-b
貸出金	6,711,935	6,461,544		(15)	6-c
外国為替	16,049	18,482			
リース債権及びリース投資資産	105,308	96,629			
その他資産	231,335	156,648			
有形固定資産	38,749	38,628			
無形固定資産	4,803	4,076		(11)	2
退職給付に係る資産	86,402	64,335		(12)	3
繰延税金資産	1,906	1,698			4-a
支払承諾見返	58,301	60,149			
貸倒引当金	△53,592	△55,000		(14)	
資産の部合計	13,554,489	13,515,316			
負債の部					
預金	9,552,050	9,549,428			
譲渡性預金	57,208	218,447			
コールマネー及び売渡手形	918,300	593,483			
売現先勘定	169,725	127,391			
債券貸借取引受入担保金	84,245	97,492			
特定取引負債	9,523	6,945			
借入金	1,097,909	1,581,461			
外国為替	1,441	2,431			
信託勘定借	1,628	1,499			
その他負債	241,934	167,558			
役員株式給付引当金	—	90			
退職給付に係る負債	9,929	11,233			
睡眠預金払戻損失引当金	176	351			
偶発損失引当金	1,606	1,719			
特別法上の引当金	15	15			
システム解約損失引当金	—	2,058			
繰延税金負債	194,326	125,899			4-b
支払承諾	58,301	60,149			
負債の部合計	12,398,324	12,547,657			
純資産の部					
資本金	52,243	52,243		(01)	1-a
資本剰余金	57,221	56,960		(02)	1-b
利益剰余金	621,952	579,909		(03)	1-c
自己株式	△35,216	△25,397		(04)	1-d
株主資本合計	696,201	663,715			
その他有価証券評価差額金	328,384	229,750			
繰延ヘッジ損益	97,208	51,676		(07)	5
退職給付に係る調整累計額	30,158	18,218			
その他の包括利益累計額合計	455,750	299,645		(06)	
新株予約権	114	150		(05)	
非支配株主持分	4,099	4,147		(08)	7
純資産の部合計	1,156,165	967,658			
負債及び純資産の部合計	13,554,489	13,515,316			

(注) 会計上の連結範囲と自己資本比率規制上の連結範囲は同一であるため、口欄を記載しておりません。

②別紙様式第十四号（CC2）付表

1. 株主資本

(1)連結貸借対照表

(単位：百万円)

公表連結貸借対照表科目	2026年3月期	2025年3月期	備考	別紙様式第十四号(CC2)を参照する番号又は記号
	八十二長野銀行	八十二銀行		
資本金	52,243	52,243		1-a
資本剰余金	57,221	56,960		1-b
利益剰余金	621,952	579,909		1-c
自己株式	△35,216	△25,397		1-d
株主資本合計	696,201	663,715		

(2)自己資本の構成

(単位：百万円)

別紙様式第五号 (CC1：自己資本の構成)	2026年3月期	2025年3月期	備考	国際様式の該当番号
	八十二長野銀行	八十二銀行		
普通株式等Tier1資本に係る額	696,201	663,715	普通株式に係る株主資本（社外流出予定額調整前）	
うち、資本金及び資本剰余金の額	109,464	109,204		1a
うち、利益剰余金の額	621,952	579,909		2
うち、自己株式の額（△）	35,216	25,397		1c
うち、上記以外に該当するものの額	—	—		
その他Tier1資本調達手段に係る額	—	—	実質破綻時損失吸収条項のある優先株式に係る株主資本	31a

2. 無形固定資産

(1)連結貸借対照表

(単位：百万円)

公表連結貸借対照表科目	2026年3月期	2025年3月期	備考	別紙様式第十四号(CC2)を参照する番号又は記号
	八十二長野銀行	八十二銀行		
無形固定資産	4,803	4,076		2

上記に係る税効果	1,502	1,275	全額費用認識した場合の繰延税金資産
----------	-------	-------	-------------------

(2)自己資本の構成

(単位：百万円)

別紙様式第五号 (CC1：自己資本の構成)	2026年3月期	2025年3月期	備考	国際様式の該当番号
	八十二長野銀行	八十二銀行		
無形固定資産 のれんに係るもの	—	—		8
無形固定資産 その他の無形固定資産	3,300	2,801	のれん、モーゲージ・サービシング・ライツ以外（ソフトウェア等）、税効果控除後	9
無形固定資産 モーゲージ・サービシング・ライツ	—	—		
特定項目に係る十パーセント基準超過額	—	—		20
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	—	—		24
無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限る。）に係る調整項目不算入額	—	—		74

3. 退職給付に係る資産

(1)連結貸借対照表

(単位：百万円)

公表連結貸借対照表科目	2026年3月期	2025年3月期	備考	別紙様式第十四号(CC2)を参照する番号又は記号
	八十二長野銀行	八十二銀行		
退職給付に係る資産	86,402	64,335		3

上記に係る繰延税金負債	27,047	20,143	
-------------	--------	--------	--

(2)自己資本の構成

(単位：百万円)

別紙様式第五号 (CC1：自己資本の構成)	2026年3月期	2025年3月期	備考	国際様式の該当番号
	八十二長野銀行	八十二銀行		
退職給付に係る資産の額	59,354	44,192	繰延税金負債控除後	15

4. 繰延税金資産

(1)連結貸借対照表

(単位：百万円)

公表連結貸借対照表科目	2026年3月期	2025年3月期	備考	別紙様式第十四号(CC2)を参照する番号又は記号
	八十二長野銀行	八十二銀行		
繰延税金資産	1,906	1,698		4-a
繰延税金負債	194,326	125,899		4-b

その他の無形固定資産の税効果勘案分	1,502	1,275	全額費用認識した場合の繰延税金資産
-------------------	-------	-------	-------------------

退職給付に係る資産の繰延税金負債	27,047	20,143	
------------------	--------	--------	--

(2)自己資本の構成

(単位：百万円)

別紙様式第五号 (CC1：自己資本の構成)	2026年3月期	2025年3月期	備考	国際様式の該当番号
	八十二長野銀行	八十二銀行		
繰延税金資産（一時差異に係るものを除く。）	—	—	資産負債相殺処理のため、連結貸借対照表計上額とは一致せず	10
一時差異に係る繰延税金資産	—	—	資産負債相殺処理のため、連結貸借対照表計上額とは一致せず	
特定項目に係る十パーセント基準超過額	—	—		21
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	—	—		25
繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に係る調整項目不算入額	—	—		75

5. 繰延ヘッジ損益

(1)連結貸借対照表

(単位：百万円)

公表連結貸借対照表科目	2026年3月期	2025年3月期	備考	別紙様式第十四号(CC2)を参照する番号又は記号
	八十二長野銀行	八十二銀行		
繰延ヘッジ損益	97,208	51,676		5

(2)自己資本の構成

(単位：百万円)

別紙様式第五号 (CC1：自己資本の構成)	2026年3月期	2025年3月期	備考	国際様式の該当番号
	八十二長野銀行	八十二銀行		
繰延ヘッジ損益の額	82	△4,394	ヘッジ対象に係る時価評価差額が「その他の包括利益累計額」として計上されているものを除いたもの	11

6. 金融機関向け出資等の対象科目

(1)連結貸借対照表

(単位：百万円)

公表連結貸借対照表科目	2026年3月期	2025年3月期	備考	別紙様式第十四号(CC2)を参照する番号又は記号
	八十二長野銀行	八十二銀行		
特定取引資産	56,281	38,602		6-a
有価証券	3,365,253	3,406,740		6-b
貸出金	6,711,935	6,461,544	劣後ローン等を含む	6-c

(2)自己資本の構成

(単位：百万円)

別紙様式第五号 (CC1：自己資本の構成)	2026年3月期	2025年3月期	備考	国際様式の該当番号
	八十二長野銀行	八十二銀行		
自己保有資本調達手段の額	6	4		
普通株式等Tier1相当額	6	4	自己保有普通株式（間接保有分）	16
その他Tier1相当額	—	—		37
Tier2相当額	—	—		52
意図的に保有している他の金融機関等の資本調達手段の額	—	—		
普通株式等Tier1相当額	—	—		17
その他Tier1相当額	—	—		38
Tier2及びその他外部TLAC相当額	—	—		53
少数出資金融機関等の資本調達手段の額	177,682	172,367		
普通株式等Tier1相当額	41,825	40,344	普通株式等	18
その他Tier1相当額	150	—		39
Tier2及びその他外部TLAC相当額	29,290	41,457	劣後ローン等	54
少数出資金融機関等の対象資本調達手段に係る調整項目不算入額	106,416	90,565	普通株式、劣後ローン等	72
その他金融機関等（10%超出資）	224	224		
特定項目に係る十パーセント基準超過額	—	—		19
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	—	—		23
その他Tier1相当額	—	—		40
Tier2及びその他外部TLAC相当額	—	—		55
その他金融機関等に係る対象資本調達手段のうち普通株式に係る調整項目不算入額	224	224	非連結の子会社、議決権10%超を保有している他の金融機関等	73

7. 非支配株主持分

(1)連結貸借対照表

(単位：百万円)

公表連結貸借対照表科目	2026年3月期	2025年3月期	備考	別紙様式第十四号(CC2)を参照する番号又は記号
	八十二長野銀行	八十二銀行		
非支配株主持分	4,099	4,147		7

(2)自己資本の構成

(単位：百万円)

別紙様式第五号 (CC1：自己資本の構成)	2026年3月期	2025年3月期	備考	国際様式の該当番号
	八十二長野銀行	八十二銀行		
普通株式等Tier1資本に係る額	—	—	算入可能額（調整後非支配株主持分）勘案後	5
特別目的会社等の発行するその他Tier1資本調達手段の額	—	—	算入可能額（調整後非支配株主持分）勘案後	30-31ab-32
その他Tier1資本に係る額	908	994	算入可能額（調整後非支配株主持分）勘案後	34-35
特別目的会社等の発行するTier2資本調達手段の額	—	—	算入可能額（調整後非支配株主持分）勘案後	46
Tier2資本に係る額	213	233	算入可能額（調整後非支配株主持分）勘案後	48-49

2. 単体自己資本比率

(1)別紙様式第一号 (CC1)

(単位：百万円、%)

CC1：自己資本の構成（銀行単体）				
国際様式の 該当番号	項目	イ	ロ	ハ
		2026年3月期	2025年3月期	別紙様式 第十三号（CC2） の参照項目
		八十二長野銀行	八十二銀行	
普通株式等Tier1資本に係る基礎項目				
1a+2-1c-26	普通株式に係る株主資本の額	603,089	573,749	
1a	うち、資本金及び資本剰余金の額	81,852	81,852	(01)、(02)
2	うち、利益剰余金の額	574,633	530,625	(03)
1c	うち、自己株式の額（△）	35,216	25,342	(04)
26	うち、社外流出予定額（△）	18,180	13,386	
	うち、上記以外に該当するものの額	—	—	
1b	普通株式に係る株式引受権及び新株予約権の合計額	114	150	(05)
3	評価・換算差額等及びその他公表準備金の額	423,609	285,282	(06)
6	普通株式等Tier1資本に係る基礎項目の額（イ）	1,026,812	859,182	
普通株式等Tier1資本に係る調整項目				
8+9	無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。）の額の合計額	3,130	2,676	
8	うち、のれんに係るものの額	—	—	
9	うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外のものの額	3,130	2,676	(11)
10	繰延税金資産（一時差異に係るものを除く。）の額	—	—	
11	繰延ヘッジ損益の額	82	△4,394	(07)
12	適格引当金不足額	9,589	3,865	
13	証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	—	—	
14	負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	86	50	
15	前払年金費用の額	29,088	24,894	(12)
16	自己保有普通株式（純資産の部に計上されるものを除く。）の額	6	4	(13)
17	意図的に保有している他の金融機関等の普通株式の額	—	—	
18	少数出資金融機関等の普通株式の額	46,463	43,683	(13)
19+20+21	特定項目に係る十パーセント基準超過額	—	—	
19	うち、その他金融機関等に係る対象資本等調達手段のうち普通株式に該当するものに関連するものの額	—	—	
20	うち、無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限る。）に関連するものの額	—	—	
21	うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	—	—	
22	特定項目に係る十五パーセント基準超過額	—	—	
23	うち、その他金融機関等に係る対象資本等調達手段のうち普通株式に該当するものに関連するものの額	—	—	
24	うち、無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限る。）に関連するものの額	—	—	
25	うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	—	—	
27	その他Tier1資本不足額	32,702	47,623	
28	普通株式等Tier1資本に係る調整項目の額（ロ）	121,150	118,404	
普通株式等Tier1資本				
29	普通株式等Tier1資本の額（（イ）－（ロ））（ハ）	905,662	740,778	
その他Tier1資本に係る基礎項目				
30	31a その他Tier1資本調達手段に係る株主資本の額及びその内訳	—	—	
	31b その他Tier1資本調達手段に係る株式引受権及び新株予約権の合計額	—	—	
	32 その他Tier1資本調達手段に係る負債の額	—	—	
	特別目的会社等の発行するその他Tier1資本調達手段の額	—	—	
36	その他Tier1資本に係る基礎項目の額（二）	—	—	

(単位：百万円、%)

CC1：自己資本の構成（銀行単体）				
国際様式の 該当番号	項目	イ	ロ	ハ
		2026年3月期	2025年3月期	別紙様式 第十三号（CC2） の参照項目
		八十二長野銀行	八十二銀行	
その他Tier1資本に係る調整項目				
37	自己保有その他Tier1資本調達手段の額	—	—	
38	意図的に保有している他の金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	—	—	
39	少数出資金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	166	—	
40	その他金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	—	—	
42	Tier2資本不足額	32,535	47,623	
43	その他Tier1資本に係る調整項目の額（ホ）	32,702	47,623	
その他Tier1資本				
44	その他Tier1資本の額（（二）－（ホ））（ヘ）	—	—	
Tier1資本				
45	Tier1資本の額（（ハ）＋（ヘ））（ト）	905,662	740,778	
Tier2資本に係る基礎項目				
46	Tier2資本調達手段に係る株主資本の額及びその内訳	—	—	
	Tier2資本調達手段に係る株式引受権及び新株予約権の合計額	—	—	
	Tier2資本調達手段に係る負債の額	—	—	
	特別目的会社等の発行するTier2資本調達手段の額	—	—	
50	一般貸倒引当金Tier2算入額及び適格引当金Tier2算入額の合計額	10	10	
50a	うち、一般貸倒引当金Tier2算入額	10	10	
50b	うち、適格引当金Tier2算入額	—	—	
51	Tier2資本に係る基礎項目の額（チ）	10	10	
Tier2資本に係る調整項目				
52	自己保有Tier2資本調達手段の額	—	—	
53	意図的に保有している他の金融機関等のTier2資本調達手段及び その他外部TLAC関連調達手段の額	—	—	
54	少数出資金融機関等のTier2資本調達手段及びその他外部TLAC関 連調達手段の額	32,545	47,633	(13)、(14)
55	その他金融機関等のTier2資本調達手段及びその他外部TLAC関連 調達手段の額	—	—	
57	Tier2資本に係る調整項目の額（リ）	32,545	47,633	
Tier2資本				
58	Tier2資本の額（（チ）－（リ））（ヌ）	—	—	
総自己資本				
59	総自己資本の額（（ト）＋（ヌ））（ル）	905,662	740,778	
リスク・アセット				
60	リスク・アセットの額（ヲ）	5,947,622	4,731,987	

(単位：百万円、%)

CC1：自己資本の構成（銀行単体）				
国際様式の 該当番号	項目	イ	ロ	ハ
		2026年3月期	2025年3月期	別紙様式 第十三号（CC2） の参照項目
		八十二長野銀行	八十二銀行	
自己資本比率				
61	普通株式等Tier1比率（(ハ) / (ヲ)）	15.22	15.65	
62	Tier1比率（(ト) / (ヲ)）	15.22	15.65	
63	総自己資本比率（(ル) / (ヲ)）	15.22	15.65	
調整項目に係る参考事項				
72	少数出資金融機関等の対象資本等調達手段に係る調整項目不算入額	98,481	83,206	(13)、(14)
73	その他金融機関等に係る対象資本等調達手段のうち普通株式に係る調整項目不算入額	—	—	(13)、(14)
74	無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものに限る。）に係る調整項目不算入額	—	—	
75	繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に係る調整項目不算入額	—	—	
Tier2資本に係る基礎項目の額に算入される引当金に関する事項				
76	一般貸倒引当金の額	10	10	
77	一般貸倒引当金に係るTier2資本算入上限額	467	440	
78	内部格付手法採用行において、適格引当金の合計額から事業法人等向けエクスポージャー及びリテール向けエクスポージャーの期待損失額の合計額を控除した額（当該額が零を下回る場合にあっては、零とする。）	—	—	
79	適格引当金に係るTier2資本算入上限額	—	—	

(2)貸借対照表の科目が「自己資本の構成に関する開示項目」のいずれに相当するかについての説明

①別紙様式第十三号 (CC2)

(単位:百万円)

CC2: 貸借対照表の科目と自己資本の構成に関する開示項目の対応関係

項目	イ		ロ	ハ	ニ
	公表貸借対照表		規制上の連結範囲 に基づく連結貸借 対照表	別紙様式第五号 (CC1)を参照する 番号又は記号	付記を参照する 番号又は記号
	2026年3月期	2025年3月期			
	八十二長野銀行	八十二銀行			
資産の部					
現金預け金	2,804,730	2,842,454			
コールローン	—	11,958			
買入金銭債権	73,397	105,003			
特定取引資産	56,281	38,602			6-a
金銭の信託	39,540	78,761			
有価証券	3,369,091	3,207,667		(13)	6-b
貸出金	6,788,673	6,026,084		(14)	6-c
外国為替	16,049	15,823			
その他の資産	196,747	120,506			
有形固定資産	28,968	25,563			
無形固定資産	4,554	3,893		(11)	2
前払年金費用	42,310	36,210		(12)	3
支払承諾見返	58,301	59,380			
貸倒引当金	△45,891	△38,999			
資産の部合計	13,432,753	12,532,911			
負債の部					
預金	9,568,580	8,693,886			
譲渡性預金	86,208	244,447			
コールマネー	918,300	593,483			
売現先勘定	169,725	127,391			
債券貸借取引受入担保金	84,245	97,492			
特定取引負債	9,523	6,945			
借入金	1,088,034	1,570,595			
外国為替	1,441	2,431			
信託勘定借	1,628	1,499			
その他の負債	210,239	134,263			
退職給付引当金	10,623	10,886			
睡眠預金払戻損失引当金	176	321			
偶発損失引当金	1,606	1,278			
繰延税金負債	179,124	116,038			4
支払承諾	58,301	59,380			
負債の部合計	12,387,760	11,660,342			
純資産の部					
資本金	52,243	52,243		(01)	1-a
資本剰余金	29,609	29,609		(02)	1-b
利益剰余金	574,633	530,625		(03)	1-c
自己株式	△35,216	△25,342		(04)	1-d
株主資本合計	621,269	587,135			
その他有価証券評価差額金	326,401	233,606			
繰延ヘッジ損益	97,208	51,676		(07)	5
評価・換算差額等合計	423,609	285,282		(06)	
新株予約権	114	150		(05)	
純資産の部合計	1,044,993	872,569			
負債及び純資産の部合計	13,432,753	12,532,911			

(注) 会計上の連結範囲と自己資本比率規制上の連結範囲は同一であるため、口欄を記載しておりません。

②別紙様式第十三号（CC2）付表

1. 株主資本

(1)貸借対照表

(単位：百万円)

公表貸借対照表科目	2026年3月期	2025年3月期	備考	別紙様式第十三号(CC2)を参照する番号又は記号
	八十二長野銀行	八十二銀行		
資本金	52,243	52,243		
資本剰余金	29,609	29,609		
利益剰余金	574,633	530,625		
自己株式	△35,216	△25,342		1-d
株主資本合計	621,269	587,135		

(2)自己資本の構成

(単位：百万円)

別紙様式第一号 (CC1：自己資本の構成)	2026年3月期	2025年3月期	備考	国際様式の該当番号
	八十二長野銀行	八十二銀行		
普通株式等Tier1資本に係る額	621,269	587,135	普通株式に係る株主資本（社外流出予定額調整前）	
うち、資本金及び資本剰余金の額	81,852	81,852		1a
うち、利益剰余金の額	574,633	530,625		2
うち、自己株式の額（△）	35,216	25,342		1c
うち、上記以外に該当するものの額	—	—		
その他Tier1資本調達手段に係る額	—	—	実質破綻時損失吸収条項のある優先株式に係る株主資本	31a

2. 無形固定資産

(1)貸借対照表

(単位：百万円)

公表貸借対照表科目	2026年3月期	2025年3月期	備考	別紙様式第十三号(CC2)を参照する番号又は記号
	八十二長野銀行	八十二銀行		
無形固定資産	4,554	3,893		2

上記に係る税効果	1,423	1,216	全額費用認識した場合の繰延税金資産
----------	-------	-------	-------------------

(2)自己資本の構成

(単位：百万円)

別紙様式第一号 (CC1：自己資本の構成)	2026年3月期	2025年3月期	備考	国際様式の該当番号
	八十二長野銀行	八十二銀行		
無形固定資産 その他の無形固定資産	3,130	2,676	のれん、モーゲージ・サービシング・ライツ以外（ソフトウェア等）、税効果控除後	9
無形固定資産 モーゲージ・サービシング・ライツ	—	—		
特定項目に係る十パーセント基準超過額	—	—		20
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	—	—		24
無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限る。）に係る調整項目不算入額	—	—		74

3. 前払年金費用

(1)貸借対照表

(単位：百万円)

公表貸借対照表科目	2026年3月期	2025年3月期	備考	別紙様式第十三号(CC2)を参照する番号又は記号
	八十二長野銀行	八十二銀行		
前払年金費用	42,310	36,210		3

上記に係る繰延税金負債	13,222	11,315	
-------------	--------	--------	--

(2)自己資本の構成

(単位：百万円)

別紙様式第一号 (CC1：自己資本の構成)	2026年3月期	2025年3月期	備考	国際様式の該当番号
	八十二長野銀行	八十二銀行		
前払年金費用の額	29,088	24,894	繰延税金負債控除後	15

4. 繰延税金資産

(1)貸借対照表

(単位：百万円)

公表貸借対照表科目	2026年3月期	2025年3月期	備考	別紙様式第十三号(CC2)を参照する番号又は記号
	八十二長野銀行	八十二銀行		
繰延税金資産	—	—		
繰延税金負債	179,124	116,038		4

その他の無形固定資産の税効果勘案分	1,423	1,216	全額費用認識した場合の繰延税金資産
前払年金費用の繰延税金負債	13,222	11,315	

(2)自己資本の構成

(単位：百万円)

別紙様式第一号 (CC1：自己資本の構成)	2026年3月期	2025年3月期	備考	国際様式の該当番号
	八十二長野銀行	八十二銀行		
繰延税金資産（一時差異に係るものを除く。）	—	—	資産負債相殺処理のため、連結貸借対照表計上額とは一致せず	10
一時差異に係る繰延税金資産	—	—	資産負債相殺処理のため、連結貸借対照表計上額とは一致せず	
特定項目に係る十パーセント基準超過額	—	—		21
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	—	—		25
繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に係る調整項目不算入額	—	—		75

5. 繰延ヘッジ損益

(1)貸借対照表

(単位：百万円)

公表貸借対照表科目	2026年3月期	2025年3月期	備考	別紙様式第十三号(CC2)を参照する番号又は記号
	八十二長野銀行	八十二銀行		
繰延ヘッジ損益	97,208	51,676		5

(2)自己資本の構成

(単位：百万円)

別紙様式第一号 (CC1：自己資本の構成)	2026年3月期	2025年3月期	備考	国際様式の該当番号
	八十二長野銀行	八十二銀行		
繰延ヘッジ損益の額	82	△4,394	ヘッジ対象に係る時価評価差額が「評価・換算差額等合計」として計上されているものを除いたもの	11

6. 金融機関向け出資等の対象科目

(1)貸借対照表

(単位：百万円)

公表貸借対照表科目	2026年3月期	2025年3月期	備考	別紙様式第十三号(CC2)を参照する番号又は記号
	八十二長野銀行	八十二銀行		
特定取引資産	56,281	38,602		6-a
有価証券	3,369,091	3,207,667		6-b
貸出金	6,788,673	6,026,084	劣後ローン等を含む	6-c

(2)自己資本の構成

(単位：百万円)

別紙様式第一号 (CC1：自己資本の構成)	2026年3月期	2025年3月期	備考	国際様式の該当番号
	八十二長野銀行	八十二銀行		
自己保有資本調達手段の額	6	4		
普通株式等Tier1相当額	6	4	自己保有普通株式（間接保有分）	16
その他Tier1相当額	—	—		37
Tier2相当額	—	—		52
意図的に保有している他の金融機関等の資本調達手段の額	—	—		
普通株式等Tier1相当額	—	—		17
その他Tier1相当額	—	—		38
Tier2及びその他外部TLAC相当額	—	—		53
少数出資金融機関等の資本調達手段の額	177,657	174,523		
普通株式等Tier1相当額	46,463	43,683	普通株式等	18
その他Tier1相当額	166	—		39
Tier2及びその他外部TLAC相当額	32,545	47,633	劣後ローン等	54
少数出資金融機関等の対象資本調達手段に係る調整項目不算入額	98,481	83,206	普通株式、劣後ローン等	72
その他金融機関等（10%超出資）	—	—		
特定項目に係る十パーセント基準超過額	—	—		19
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	—	—		23
その他Tier1相当額	—	—		40
Tier2及びその他外部TLAC相当額	—	—		55
その他金融機関等に係る対象資本調達手段のうち普通株式に係る調整項目不算入額	—	—		73

3. 自己資本調達手段に関する契約内容の概要および詳細

自己資本調達手段に関する契約内容の概要および詳細については、インターネット上の当行ウェブサイト (<https://www.bank.82group.jp/ir/capital/>) にて開示しております。

Ⅱ. 定性的な開示事項

1. 連結の範囲に関する事項

- イ、自己資本比率告示第3条の規定により連結自己資本比率を算出する対象となる会社の集団（以下「連結グループ」という）に属する会社と連結財務諸表規則第5条に規定する連結の範囲（以下「会計連結範囲」という）に含まれる会社との相違点及び当該相違点の生じた原因
相違点はありません。

- ロ、連結グループのうち、連結子会社の数並びに主要な連結子会社の名称及び主要な業務の内容

連結グループに属する連結子会社は15社です。

名 称	主要な業務の内容
八十二証券株式会社	有価証券の売買、有価証券売買の媒介、取次および代理
八十二リース株式会社	リース業務
株式会社ながぎんリース	リース業務
株式会社八十二カード	クレジットカード業務
長野カード株式会社	クレジットカード業務、信用保証業務
八十二信用保証株式会社	信用保証業務
八十二キャピタル株式会社	投資業務
八十二スタッフサービス株式会社	労働者の派遣業務・有料職業紹介業務、事務代行業務
やまびこ債権回収株式会社	債権管理回収業務
八十二オートリース株式会社	リース業務
八十二アセットマネジメント株式会社	投資運用業
八十二インベストメント株式会社	投資業務
八十二Link Nagano株式会社	地域商社事業、電力(発電)事業
八十二サステナビリティ1号投資事業有限責任組合	ベンチャーキャピタル
八十二PE投資事業有限責任組合	ベンチャーキャピタル

- ハ、自己資本比率告示第9条の規定が適用される金融業務を営む関連法人等の数、名称、貸借対照表の総資産の額及び純資産の額並びに主要な業務の内容
該当ありません。

- ニ、連結グループに属する会社であって会計連結範囲に含まれないもの及び連結グループに属しない会社であって会計連結範囲に含まれるものの名称、貸借対照表の総資産の額及び純資産の額並びに主要な業務の内容
該当ありません。

- ホ、連結グループ内の資金及び自己資本の移動に係る制限等の概要
制限等は特に設けておりません。

2. 自己資本の充実度に関する評価方法の概要

当行では、経営の健全性及び業務の適切性を確保することを目的に「自己資本管理規程」を定め、自己資本比率規制に基づく所要自己資本管理と、内部管理としての統合的リスク管理により、自己資本の充実度を評価しております。

(1) 所要自己資本管理

当行は、経営計画の策定にあたり、現在及び将来において必要となる自己資本を経営目標と関連付けて設定し、必要に応じ経営目標に照らして望ましい自己資本水準を充実・維持するための施策を実施していきます。

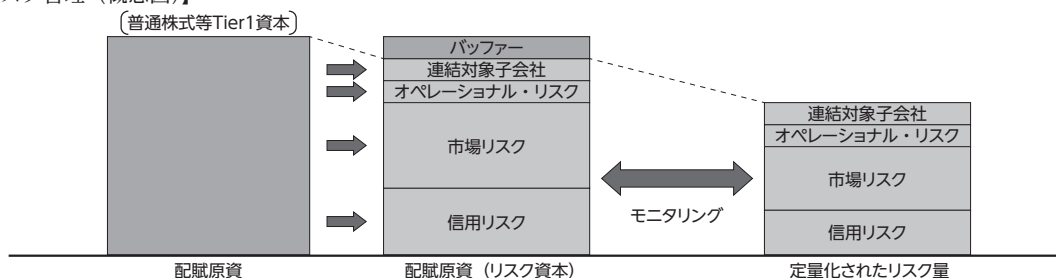
所要自己資本の充実度の評価にあたっては、将来の環境変化を見据え、ストレステストの実施等により、自己資本比率の変化の予想と資本の十分性を評価しております。

(2) 統合的リスク管理

当行は、普通株式等Tier1資本を配賦原資とし、リスクカテゴリー別に配賦した資本（リスク資本）の範囲内に、定量化されたリスク量（信用リスク、市場リスク、オペレーショナル・リスク、連結対象子会社）が収まっていることを月次でモニタリングし、自己資本の充実度を評価しております。

配賦資本（リスク資本）の使用状況・遵守状況などのモニタリング結果につきましては、「ALM・統合リスク管理委員会」、「ALM・統合リスク管理会議」に月次で報告しております。

【統合的リスク管理（概念図）】



※概念図はリスクカテゴリーへの配賦について図示しており、実際のリスク資本配賦運営においては各取引等にも配賦しています。

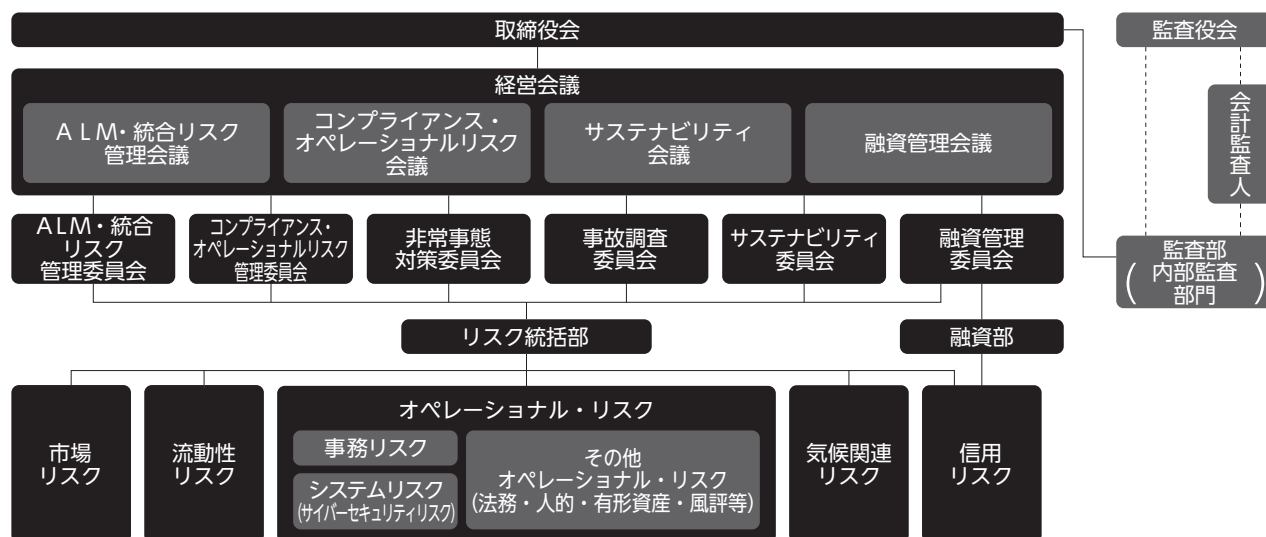
3. 連結グループ全体のリスクの特性並びにリスク管理の方針、手続及び体制の概要

イ. 銀行のビジネスモデルとリスクプロファイルとの整合性及び銀行のリスクプロファイルと取締役会で承認されたリスク許容量との関連性

各種施策の実施により、預貸金業務による利ざやの増加、有価証券投資業務における収益の増加、金融サービス提供による手数料収入の増加など、収益力・企業価値の向上を図ってまいりますが、これらの施策実施に伴い、当行及び当行グループは、「信用リスク」「市場リスク」「流動性リスク」「オペレーショナル・リスク」などのリスクを抱えることになります。

当行では、ビジネスモデルに対して管理すべきこれらの主要なリスクを統合的に管理し、経営体力に見合った適正な水準へリスクを制御するために、収益計画及びリスクの状況に応じて自己資本の配賦を実施し、カテゴリー毎のリスク量が配賦した資本（リスク資本）の範囲内に収まるよう管理・運営しております。

資本の配賦は、「ALM・統合リスク管理会議」及び取締役会の承認を受けたうえで年度毎に行っております。



ロ. リスクガバナンス体制

当行は「統合的リスク管理規程」において統合的リスク管理に関する基本方針を定め、経営の健全性及び業務の適切性の確保に努めております。

主要なリスク（信用リスク、市場リスク、流動性リスク、オペレーショナル・リスク）について、経営会議の特定目的会議として「ALM・統合リスク管理会議」、「コンプライアンス・オペレーショナルリスク会議」及び「融資管理会議」を設置しております。「ALM・統合リスク管理会議」では市場リスク・信用リスク・流動性リスクについて、「コンプライアンス・オペレーショナルリスク会議」ではオペレーショナル・リスクについて、「融資管理会議」ではより細分化した信用リスクについて、それぞれ管理体制全般に関する事項を協議又は決定しております。また「統合的リスク管理規程」において、リスクカテゴリー毎の管理部署と役割を定め、適切に管理しております。

ハ. 銀行内でリスク文化を醸成するための方法

当行では、リスク管理を経営の重要課題の一つと捉え、管理方針等の策定や態勢整備など、リスク管理水準の向上に取り組んでおります。

(1) 行動規範

信用リスク管理体制の基本的な考え方をまとめた「クレジットポリシー」を与信業務の行動規範として制定しております。

(2) 統合リスク管理方針の策定

年度毎に「統合リスク管理方針」を策定し取締役会の承認を受けています。統合リスク管理におけるリスクリミット等に抵触した場合は、「ALM・統合リスク管理会議」に報告し、リスク削減方法等を検討する体制としております。

(3) オペレーショナル・リスク顕在時の対応

オペレーショナル・リスク事象、苦情、要望が発生した際は、業務担当者は適切かつ円滑にリスク管理部署に報告し、リスク管理部署はそれを収集・分析することで、再発防止を図っております。

ニ. リスク計測システムの対象範囲と主な特徴

統合リスク管理で用いる統一的なリスク量として、市場リスク及び信用リスクにはVaR（信頼水準99.9%）を採用しております。VaRの主な計測対象や計測方法は以下の通りです。

管理対象リスク	計測対象	保有期間	計測手法
市場リスク	預貸金	120日	ヒストリカル法 (観測期間：17年)
	金利リスク	120日	
	債券	120日	
	市場性資金	120日	
	価格変動リスク	120日	
信用リスク	株式	120日	モンテカルロ法
	投信	120日	
	貸出金	1年	
オペレーショナル・リスク	債券	1年	標準的計測手法
	—	—	

ホ. 取締役及び取締役会等へのリスク情報の報告手続き

- (1)統合的リスク管理部署は、統合リスク管理方針に基づく「統合リスク管理」の状況及び「統合リスク管理」によらない与信集中リスク、銀行勘定の金利リスク及び流動性リスクの状況等を、「ALM・統合リスク管理会議」へ毎月報告するほか、取締役会へ半期毎に報告しております。
- (2)エクスポージャーに関する状況については、「ALM・統合リスク管理会議」へ毎月報告するほか、半期毎取締役会に報告しております。
- (3)オペレーショナル・リスク管理の状況については、半期毎に「コンプライアンス・オペレーショナルリスク会議」及び取締役会に報告しております。

ヘ. ストレステストに関する定性的情報

急激な金融情勢の変化や不測の事態の発生等を想定し、ストレス事象の顕現化による損失額が経営に及ぼす影響を検証するために、VaR等による統合リスク管理を補完する目的で、年1回統合ストレステストを実施し「ALM・統合リスク管理会議」に報告しております。預貸金、有価証券等の主要資産を対象とし、株価・金利・為替等についてストレスシナリオを策定し、自己資本への影響や現在価値の変動額等を試算しております。

ト. リスクを管理、ヘッジ、削減するための戦略と手順、ヘッジと削減策の継続的な有効性をモニタリングするための手順

- (1)リスクカテゴリー毎のリスクを管理・削減するための手順
 - ①経営計画に基づき経営体力に見合ったリスクテイク並びにリスク対比のリターンを勘案し、統合リスク管理方針を年度毎に定め、資本配賦を実施しております。
 - ②信用リスク及び市場リスクについては、統一的な尺度によりリスク量を定量化し、所要自己資本を把握するとともに、当該リスクカテゴリー及び業務部門等毎に資本配賦を行い、リスクの制御及び収益管理を行っております。
 - ③オペレーショナル・リスクについては、標準的計測手法に基づき資本配賦を行うほか、オペリスク・アセスメントにより策定した改善計画に基づく施策を実施し、リスクの削減に取り組んでおります。
 - ④流動性リスクについては、資金繰りにおいて市場調達に過度に依存することがないよう管理するほか、速やかに資金化できる資産を一定水準以上保有する等のリスク管理を行っております。
- (2)削減策の有効性をモニタリングするための手順

リスク統括部は、当行の内部環境（リスクプロファイル、リスク限度枠等の使用状況等）及び外部環境（経済、市場環境）等の状況を踏まえ、適切な頻度で全体のリスクの状況をモニタリングするほか、内部環境、外部環境、及び前提条件等の妥当性についてもモニタリングを実施し、モニタリング結果を関係部署へ還元することで連携を図って対処しております。

ロ. 会計上の引当及び償却に関する基準の概要

(1) 引当・償却の方針（貸倒引当金の計上基準）

貸倒引当金は予め定めている償却・引当基準に則り、次の通り計上しています。

- ① 破産、会社更生、手形交換所における取引停止処分等、法的・形式的な経営破綻の事実が発生している債務者（破綻先）に対する債権および実質的に経営破綻に陥っている債務者（実質破綻先）に対する債権については、債権額から担保の処分可能見込額および保証による回収可能見込額を控除し、その残額を計上しております。
- ② また、現状経営破綻の状況にはないが、今後経営破綻に陥る可能性が高い債務者（破綻懸念先）に対する債権については、債権額から担保処分可能見込額および保証による回収見込額を控除した残額（以下「非保全額」という）のうち、必要と認める額を計上しております。具体的には、
 - ・ 与信額が一定額以上の大口債務者については、債務者の状況を総合的に判断してキャッシュ・フローによる回収可能額を見積もり、非保全額から当該キャッシュ・フローを控除した残額を貸倒引当金とする方法（キャッシュ・フロー控除法、以下「CF控除法」といいます）により計上しております。
 - ・ 上記以外の債務者の債権については、過去の一定期間における倒産確率等から算出した予想損失率を非保全額に乗じた額を貸倒引当金として計上しております。
- ③ 貸出条件緩和債権等を有する債務者（要管理先）および今後の管理に注意を要する債務者（要注意先）に対する債権のうち、与信額が一定額以上の大口債務者については、債権の元本の回収および利息の受け取りに係るキャッシュ・フローを合理的に見積り、当該キャッシュ・フローを当初の約定利率で割り引いた金額と債権の帳簿価額との差額を貸倒引当金とする方法（キャッシュ・フロー見積法、以下「DCF法」といいます）により計上しております。
- ④ 上記①～③以外の債務者に対する債権（正常先債権、要管理先・要注意先で一定額未満の債務者の債権）については、過去の一定期間における倒産確率等から算出した予想損失率により貸倒引当金を計上しております。

全ての債権は、資産の自己査定基準に基づき、営業関連部門から独立した資産査定部署が資産査定を実施し、監査部署が査定結果を監査しております。

(2) 債務者格付制度

与信取引先の財務状況や業況などのデータをもとに与信先の信用リスクを統一的な尺度で評価し、与信取引先を15区分の格付に区分しています。1年毎の定例見直しに加え、業況変化などに応じて随時見直しを実施しております。

(3) 債務者格付と債務者区分、債権区分の関係

格付区分	格付の定義	債務者区分	金融再生法 開示債権区分
1	ソブリン専用（国・地方公共団体）	(非区分先)	
2	ソブリン専用（上記以外）	正常先	
3	債務履行の確実性は最高水準であり、かつ安定している		
4	債務履行の確実性はきわめて高く、かつ安定している		
5	債務履行の確実性は高く、かつ安定している		
6	債務履行の確実性は高いが、上位格付に比べると将来確実性が低下する可能性を含んでいる	正常先	正常債権
7	債務履行の確実性に問題はないが、将来確実性が低下する可能性がある		
8	債務履行の確実性は当面問題ないが、将来確実性が低下する可能性が高い		
9	債務償還の確実性はやや乏しく、将来に懸念がある		
10	財務内容が脆弱又は業況が低調ないし不安定で、与信先の経営上の懸念要因が潜在的に認められる等により、今後の管理に注意を要する	要注意先	
11	延滞・債務超過等深刻な財務状況にあり、与信先の経営上の重大な懸念要因が顕在化する等により、今後の管理に特に注意を要する		
12	貸出条件緩和債権又は3ヶ月以上延滞債権があり、今後の管理に特に注意を要する	要管理先	要管理債権
13	現状、経営破綻の状況にはないが経営難の状態であり、経営改善計画等の進捗状況が芳しくなく、今後経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる	破綻懸念先	危険債権
14	法的・形式的な経営破綻の事実が発生していないものの、実質的に経営破綻に陥っている	実質破綻先	破産更生債権及びこれらに準ずる債権
15	法的・形式的な経営破綻の事実が発生している	破綻先	

(4)貸倒引当金の算定方法

【一般貸倒引当金】

債務者区分	引当基準
正常先	倒産確率に基づく今後1年間の予想損失額を引当。
要注意先 (要管理先を含む)	倒産確率に基づく債権の平均残存期間に対応する期間の予想損失額を引当（要管理先の引当期間の下限は3年）。 要注意先のうち、その他要注意先下位区分の非保全額100億円以上の先及び要管理先の非保全額10億円以上の先については原則としてDCF法による予想損失額を引当。

【個別貸倒引当金】

債務者区分	引当基準
破綻懸念先	算定区分をⅢ分類額がある先とⅢ分類額がない（ゼロ）先に区分し、Ⅲ分類額に対し、倒産確率に基づく今後3年間の予想損失額を引当。 Ⅲ分類額10億円以上の先及びⅢ分類10億円未満の先のうち一定の要件に該当する先については、CF控除法による予想損失額を引当。
実質破綻先 破綻先	債権額から担保の処分可能見込額及び保証による回収見込額を控除した残額（Ⅲ・Ⅳ分類額）の100%を引当。

【一般貸倒引当金、個別貸倒引当金共通】

項目	引当基準
倒産確率の決定	引当金の算出に使用する倒産確率は、直近3算定期間の平均値と景気循環サイクルを勘案した長期平均値を比較し、いずれか高い方を採用。なお、直近3算定期間の平均値は、足元の状況および将来見込み等必要な修正を加えて算定している。
DCF法・CF控除法による予想損失額算定先の取扱	要管理先債権又は破綻懸念先債権として前期以前にDCF法等により引当を行っていた先が、その他要注意先又は要管理先以上に上位遷移した場合も、原則として引き続きDCF法等による予想損失額を引当。

(注) 連結子会社におきましては、当行の基準を参考に各社の定めに従い、信用リスク管理・貸倒引当金の計上をしております。

(5)債権を危険債権以下に区分しない（あるいは破綻懸念先以下に区分されている先に対する債権と判定しない）ことを許容する3ヶ月以上延滞債権の延滞日数の程度及びその理由

3ヶ月以上延滞債権がある与信先は要管理先以下（格付12～15）としておりますが、格付区分（債務者区分）は延滞月数のみにより形式的に決定するのではなく、各区分の定義に基づき、延滞発生の原因、延滞解消の見通し、与信先の業況見通し及び返済継続の可能性等を総合的に判断し決定しております。

(6)貸出条件緩和と債権の定義及び貸出条件の緩和を実施したことに伴い引当金の額を増加させる条件の説明

①要管理先（格付12）の定義にある貸出条件緩和と債権とは、債務者区分が要注意先の状況にある与信先に対する債権のうち、「経済的困難に陥った与信先の経営再建または支援を図ることを目的として、金利の減免、金利の支払猶予、元本返済猶予など與信先に有利な取決めを行った貸出債権」をいいます。

なお、当該貸出条件緩和と債権が3ヶ月以上延滞状態にある場合は、3ヶ月以上延滞債権に区分しております。

②貸出条件の緩和を実施したことに伴い要管理先債権となった場合、他の要注意先よりも引当金の額を増加させております。

(7)引当金及び自己資本比率それぞれの算定に利用する信用リスクのパラメータの主要な差異

パラメータ	基準の差異
PDと倒産確率	貸倒引当金算定に使用する倒産確率と自己資本比率算出のためのPDは基準が異なります。 貸倒引当金算出に用いるデフォルト定義は破綻懸念先以下（格付13、14、15）としているのに対し、自己資本比率算出に用いるデフォルト定義は自己資本比率告示に基づき要管理先以下（格付12、13、14、15）としております。 また、算定区分については、PDが格付別であるのに対し倒産確率は債務者区分別に算定しており、算定期間については、PDが1年であるのに対し倒産確率は債務者区分により1年～債権の平均残存期間に対応した期間を1算定期間としております。
LGDと非保全率	自己資本比率算出のためのLGD及びEADは、事業法人等向けエクスポージャーについては規制で定められた設定値を用い、リテール向けエクスポージャーについては行内の推計値を用いております。 一方、貸倒引当金の算定においては、債権額から担保の処分可能見込額・保証による回収見込額及び商手の回収見込額を控除した残額（実額）を非保全額として、非保全率を算出しております。

ハ. 標準的手法が適用されるポートフォリオに関する事項

(1)リスク・ウェイトの判定に使用する適格格付機関の名称

次の適格格付機関が公表する格付をリスク・ウェイトの判定に使用しております。

適格格付機関
株式会社格付投資情報センター
株式会社日本格付研究所
ムーディーズ・インベスターズ・サービス・インク
S&Pグローバル・レーティング

(2)エクスポージャーの種類毎のリスク・ウェイトの判定に使用する適格格付機関の名称

全てのエクスポージャーについて上記4適格格付機関を使用しております。

二. 内部格付手法の概要

(1)信用リスク・アセットの額を算出する手法の種類毎の資産区分別のEADがEADの総額に占める割合

(単位：%)

資産区分	2026年3月末	2025年3月末
	八十二長野銀行	八十二銀行
	EADの総額に占める割合	EADの総額に占める割合
基礎的内部格付手法が適用されるポートフォリオ	98.0	91.3
事業法人等向けエクスポージャー	76.7	73.2
ソブリン向けエクスポージャー	40.7	41.1
金融機関等向けエクスポージャー	2.1	2.8
事業法人向けエクスポージャー	27.1	23.6
中堅中小企業向けエクスポージャー	5.8	5.0
特定貸付債権	0.9	0.6
リテール向けエクスポージャー	15.0	12.9
適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー	0.7	0.6
居住用不動産向けエクスポージャー	11.7	10.0
その他リテール向けエクスポージャー	2.5	2.2
株式等	5.0	3.7
購入債権	0.1	0.2
その他資産等	1.0	1.0
標準的手法が適用されるポートフォリオ	1.9	8.6

(注) 本表の対象について、カウンターパーティ信用リスク、証券化エクスポージャー及び信用リスク・アセットのみなし計算に係るエクスポージャーは除いております。

(2)内部格付手法の適用範囲の決定に係る経緯

当行は、信用リスク・アセットの算出について基礎的内部格付手法を適用することを原則としていますが、信用リスク全体に占める割合が僅少である資産や信用供与を主要業務としていないなど、信用リスク管理上の重要性が低いと判断できる事業単位又は資産については内部格付手法を適用除外とする基準を定めており、この基準に該当する一部の資産及び連結子会社は標準的手法を採用しております。

なお、基準の適合状況については定期的に検証・確認を行っております。

(3)内部格付制度の概要

①内部格付制度の構造

内部格付制度は、事業法人等向けエクスポージャーとリテール向けエクスポージャーに大別し、それぞれの格付・プール区分制度を適用しております。また、内部格付と個別債権保全率の組合せによる案件格付を、個別債権毎に付与しております。

【内部格付制度を適用する主なエクスポージャー及び内部格付制度】

エクスポージャー区分		格付・プール区分 制度	備考
サブエクスポージャー区分			
事業法人等向け エクスポージャー	事業法人	債務者格付	・ 事業法人（個人事業主を含む）で与信残高が50百万円以上の先 ・ 事業法人のグループ企業を含めた合計与信残高が100百万円以上で、当該事業法人の与信残高が1百万円以上の先
	特定貸付債権		ノンリコース（非遡及型）の不動産向け融資やPFI等
	ソブリン		中央政府・地方公共団体・政府関係機関等
	金融機関等		金融機関、証券会社等
リテール向け エクスポージャー	居住用不動産	リテールプール 区分	住宅ローン
	適格リボルビング型 リテール		カードローン等
	その他リテール（消費性）		車や趣味のローン等
	その他リテール（事業性）		事業法人で上記の債務者格付制度の要件に該当しない先

i) 事業法人等向けエクスポージャーの格付制度

エクスポージャー毎に異なる格付制度（事業法人、金融機関等は債務者格付、ソブリンはソブリン格付、特定貸付債権は特定与信格付）を設けて、取引先毎に格付ランクを付与しております。

格付ランク（上記ロ、(3)に掲載）は、非デフォルト先11格（うちソブリン専用が上位2格）、デフォルト先4格（格付区分12～15）、合計15の格付数としております。

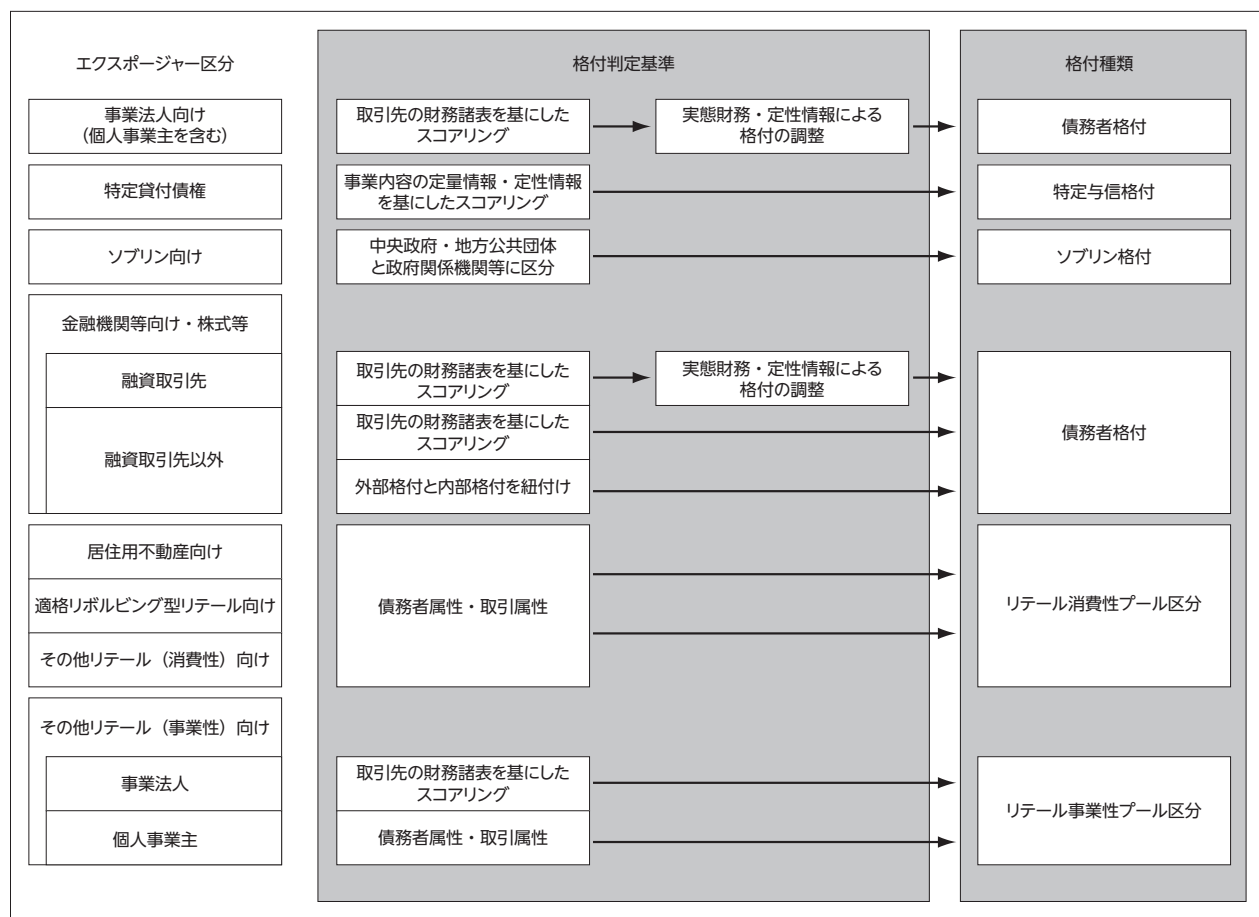
ii) リテール向けエクスポージャーのプール区分制度

取引先毎に格付ランクを付与するのではなく、リスク特性が似た同質なもの（プール区分）をまとめて管理しております。プール区分はPD、LGD及びEAD毎にリスク・ファクターを設けて管理しております。

②資産区分毎の格付付与手続

格付付与手続の概要は以下の通りです。

エクスポージャー区分	付与手続の概要	使用する主なモデル等
事業法人向け	定量情報（取引先の財務諸表）を基にスコアリングモデルにて信用リスクランクを判定し、財務の実態調査及び定性情報（赤字決算先は赤字の要因等）を勘案して最終的な格付を決定する。	スコアリングモデル（大企業向け、中堅・中小企業向け、個人事業主向け）
特定貸付債権	融資対象の事業内容をスコアリング（定量情報・定性情報を加味したマトリクス）して判定した信用リスクランクに応じて格付を決定する。	スコアリングモデル
ソブリン向け	中央政府・地方公共団体・政府関係機関等に区分し格付を決定する（地方公共団体については参考として財政状態を表す指標をスコア化）。	ソブリン区分
金融機関等向け	事業法人向けエクスポージャーと同じ付与手続（融資取引が無い先については、スコアリングモデルにて判定できる場合にはその信用リスクランクとし、それ以外は外部格付を内部格付と紐付けて格付を決定）。	（事業法人に準ずる）
株式等		
居住用不動産向け		
適格リボルビング型 リテール向け	延滞の有無、取引先の属性及び取引の状況、スコアリングモデル等で切り分けを行い、リスク特性が同質となる区分に応じてプール区分を割り当てる。	スコアリングモデル等
その他リテール （消費性）向け		
その他リテール （事業性）向け	（事業法人） 延滞の有無、スコアリングモデル等で切り分けを行い、リスク特性が同質となる区分に応じてプール区分を割り当てる。 （個人事業主） 延滞の有無、取引先の属性及び取引の状況等で切り分けを行い、同質になる区分に応じてプール区分を割り当てる。	スコアリングモデル（中堅・中小企業向け）等



③パラメータ推計及びその検証体制

i) パラメータ推計及び検証

事業法人等向けエクスポージャーでは債務者格付毎にPDを、リテール向けエクスポージャーではエクスポージャー区分及びプール区分毎にPD、LGD及びEADを推計しております。

各パラメータは、過去5年以上の内部データを基に、推計誤差や景気変動の勘案などの保守的な調整をしております。パラメータの検証は原則として年1回以上のサイクルで実施し、必要に応じて推計値を見直す体制としております。推計及び検証結果については、監査部による内部監査を受けるほか、経営会議及び監督当局へ報告しております。

ii) 推計と検証のための定義

※推計値(PD、LGD、EAD)の定義はV.用語解説をご参照ください。

推計値	定義等
PD	行内の信用リスク管理のPDと自己資本比率算出のためのPDは基準が異なります。 行内の信用リスク管理におけるデフォルト定義は破綻懸念先以下（格付13、14、15）としているのに対し、自己資本比率算出に用いるデフォルト定義は自己資本比率告示に基づき要管理先以下（格付12、13、14、15）としております。これは行内の信用リスク管理においては、銀行の実務と結びついている貸倒引当金の計上基準を重要視しているためです。
LGD EAD	自己資本比率算出のためのLGD及びEADは、事業法人等向けエクスポージャーについては規制で定められた設定値を用い、リテール向けエクスポージャーについては行内の推計値を用いております。 ただし、LGD及びEADを推計する基となるデフォルト定義が、行内の信用リスク管理におけるデフォルト定義と異なることから、当該推計値は主に自己資本比率算出目的で使用しております。

iii) 各種推計値に関する補足事項

推計値	補足事項
PD	デフォルトの可能性が低いポートフォリオ（LDP：Low Default Portfolio）の定義は、ソブリン専用格付を除く上位2格（格付3、4）としております。LDPについては、内部データではPD推計に十分なデフォルトデータを保有していないため、適格格付機関のデフォルト率に関するデータを用いて推計しております。PD推計の結果、自己資本比率規制上のPDのフロアを下回った場合は、フロアを推計PDとしております。 また、過去3期の状況については、近年の実績デフォルト率の低下を受けて、全体的に実績デフォルト率が推計値を下回る状況が続いております。
LGD	景気後退期の影響については、実績データ観測期間に景気後退期を含め、かつ推計誤差の上乗せ等の保守的調整を実施することで勘案しております。また、LDPについては、LGD推計上は特に勘案しておりません。 デフォルト時から回収終結までに要する期間については、居住用不動産向けが長く、適格リボルビング型リテール向けが短い等の傾向があります。
EAD	EAD推計に当たっては、デフォルト発生日から1年前の月末時点（観測開始点）のカードローン極度枠に対して、デフォルト発生日までに追加で引出された額（デフォルト時残高－観測開始点残高）の割合を債権毎に算出し、これを長期単純平均した値に推計誤差等の保守的調整幅を上乗せし、推計値としております。但し、追加で引出された額がマイナス値となる場合は、保守的に0と見なしております。

④内部格付制度並びに使用するモデルの開発及び管理等に係る運営体制

i) 内部格付制度の運営体制

リスク統括部において、内部格付制度の企画、設計、検証及び運用の監視を担当するほか、内部格付制度の運用を融資部融資企画・査定グループが担当することにより、相互牽制が働く体制とし、内部格付制度の客観性、正確性を確保しております。

リスク統括部では、内部格付制度の検証のため、統計的手法や外部データとの比較等による検証を年1回実施し、必要に応じて内部格付制度の見直しについても検討する体制としております。検証結果については、監査部による内部監査を受けるほか、経営会議及び監督当局へ報告しております。

ii) 使用するモデル開発・管理等の運営体制

上記i)の内部格付制度に関する検証と併せて、モデル精度に関する検証も実施し、必要に応じて新モデルの開発、モデル更改等についても検討する体制としております。

新モデルの導入及びモデル更改についても、統計的手法や外部データとの比較等による検証を実施しております。検証結果については、監査部による内部監査を受けるほか、経営会議及び監督当局へ報告しております。

(4)標準的手法が適用されるエクスポージャーについて内部格付手法のポートフォリオに分類する場合の基準

内部格付手法のポートフォリオ	標準的手法が適用されるエクスポージャー
ソブリン向けエクスポージャー	日本国政府及び日本銀行向け、外国の中央政府及び中央銀行向け、国際決済銀行等向け、我が国の地方公共団体向け、外国の中央政府等以外の公共部門向け、地方公共団体金融機構向け、我が国の政府関係機関向け、地方三公社向け、国際開発銀行向け、信用保証協会等により保証されたエクスポージャー
金融機関等向けエクスポージャー	金融機関向け、第一種金融商品取引業者及び保険会社向けエクスポージャー
株式等向けエクスポージャー	株式等エクスポージャー
購入債権	該当なし
事業法人向けエクスポージャー（中堅中小企業向けエクスポージャー及び特定貸付債権を除く。）	・法人向けエクスポージャーのうち、与信残高500万円以上の先（居住用不動産向けエクスポージャー以降のポートフォリオに該当するものを除く） ・賃貸用不動産向け、事業用不動産関連エクスポージャーのうち与信残高500万円以上かつ売上高50億円以上の先
中堅中小企業向けエクスポージャー	・適格中堅中小企業向け、中堅中小企業向けエクスポージャーのうち、与信残高500万円以上の先（居住用不動産向けエクスポージャー以降のポートフォリオに該当するものを除く） ・賃貸用不動産向け、事業用不動産関連エクスポージャーのうち与信残高500万円以上かつ売上高50億円未満の先
居住用不動産向けエクスポージャー	自己居住用不動産等向けエクスポージャー
適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー	個人向けエクスポージャーのうち消費性カードローン ・法人向け、適格中堅中小企業向け、中堅中小企業向け、適格個人向け、個人向けエクスポージャーのうち事業法人向け、中堅中小企業向け、居住用不動産向け、適格リボルビング型リテール向けエクスポージャーに該当するものを除く ・賃貸用不動産向け、事業用不動産関連エクスポージャーのうち与信残高500万円未満の先
その他リテール向けエクスポージャー	該当なし
特定貸付債権	該当なし
事業用不動産向け貸付け及びボラティリティの高い事業用不動産向け貸付け	該当なし

(5)使用する内部格付手法の種類及び適用範囲

①使用する内部格付手法の種類

基礎的内部格付手法を採用しております。

②内部格付手法が適用あるいは除外される事業単位又は資産区分の範囲

i) 連結子会社のエクスポージャー

上記ニ、(2)記載の内部格付手法を適用除外とする基準に基づき、八十二リース株式会社ほか7社については基礎的内部格付手法を、他の7社については標準的手法を適用しております。

【連結子会社に適用する手法】

会社名	適用する手法	適用区分の理由
八十二リース株式会社	基礎的内部格付手法 ※一部の資産は標準的手法を適用	
八十二オートリース株式会社		
八十二信用保証株式会社		
八十二キャピタル株式会社		
やまびこ債権回収株式会社		
八十二インベストメント株式会社		
八十二サステナビリティ1号投資事業有限責任組合		
八十二PE投資事業有限責任組合	標準的手法 ※株式等エクスポージャー及び株式会社八十二カードのうち銀行本体のクレジットカード業務に係る求償債権は基礎的内部格付手法を適用	一部業務を除いて銀行本体の信用供与業務やグループ全体におけるリスク管理機能への影響が小さいため
株式会社ながぎんリース		
長野カード株式会社		
株式会社八十二カード		一部を除いて与信業務を行っており信用リスク管理上の重要性が低い
八十二スタッフサービス株式会社		
八十二証券株式会社		
八十二アセットマネジメント株式会社		
八十二Link Nagano株式会社		

ii) 銀行本体のエクスポージャー

銀行本体のエクスポージャーは内部格付手法を適用して自己資本比率算出の基となる信用リスク・アセットを計算しておりますが、その他の資産に区分される融資関連以外の仮払金や前払費用等、内部格付の付与が困難かつ信用リスク管理上の重要性が低いと判断される一部の資産は、標準的手法を適用しております。

5. 信用リスク削減手法に関するリスクの特性並びにリスク管理の方針、手続及び体制の概要

当行は、取引先の信用力、資金使途、回収可能性等を総合的に勘案し与信判断を行うことを基本方針としており、担保や保証については、これらに過度に依存することなく、取引先の信用力を補完するために取得しております。その取得にあたっては、換金性・評価の容易性及び安定性・管理の容易性等を考慮するとともに、適切な方法により評価額と処分見込額を算出し、各々の担保の種類に応じて一定のサイクルで評価の見直しを実施しております。

自己資本比率算出上の信用リスクの算出に際しては、信用リスク削減手法としてこれらの効果を適正に勘案しております。

イ. ネットティングを利用する方針及びプロセスの基本的な特徴並びにネットティングの利用状況に係る説明

貸出金と相殺が可能な契約下にある自行預金については、自己資本比率算出上、信用リスク削減手法としております。自行預金は、債務者から担保提供を受けていない定期預金等を対象としております。

ロ. 担保評価と管理の方針及びプロセスの基本的な特徴

(1)担保の取得にあたっては、登記や確定日付により第三者対抗要件を備えるなど、債権保全上支障のないよう手続及び管理を実施しております。

(2)担保の評価は、行内基準に基づき、担保の種類等に応じ適切な方法で実施しており、評価の見直しについても定期的に行っております。

(3)当行が取得する担保のうち、自己資本比率算出にあたって信用リスク削減効果を反映させるものは以下のとおりです。

- ・適格金融資産担保：現金及び自行定期預金・国債・上場株式等
- ・適格資産担保：商業手形・不動産（土地・建物）等

ハ. 使用する信用リスク削減手法における信用リスクの集中状況に関する説明

(1)当行において、信用リスク削減手法の効果が大きいものは、保証と適格資産担保によるものです。

(2)保証においては、信用保証協会の占める割合が大きいものの、特定の区分へのエクスポージャーの集中はありません。また、適格資産担保においては不動産担保の占める割合が大きく、地価の変動リスクにさらされていることから、地価下落を想定したストレステストを定期的に行っており、自己資本の充実度に大きな影響がないことを確認しております。

(3)信用リスク削減に係るクレジット・デリバティブについては、該当ありません。

6. 派生商品取引及びレポ形式の取引等の相手方に対する信用リスクに関するリスクの特性並びにリスク管理の方針、手続及び体制の概要

イ. カウンターパーティ及び中央清算機関に対するエクスポージャーに関するリスク資本及び与信限度枠の割当方法に関する方針

(1)リスク管理の方針

当行は、派生商品取引及びレポ形式等の相手方に対する信用リスクに関して、オンバランス取引と合算し、オンバランス・オフバランス一体で管理しております。

(2)手続の概要

金融機関向け派生商品及びレポ形式の取引の信用リスク算出にあたっては、リスク統括部統合リスク管理グループがSA-CCR又は当行制定の掛け目方式により与信相当額を日次で計測し、与信上限額の遵守状況を管理しております。

※SA-CCRとは、派生商品(デリバティブ)の与信額算出方法の国際統一基準です。

なお、各金融機関向けに定めている与信限度額は、当行の資本や取引先の規模、格付に基づき定めております。

ロ. 担保、保証、ネットティングその他の信用リスク削減手法に関する評価並びに担保等の管理の方針及び処分手続の概要

レポ形式（現金担保付債券貸借取引）の取引については、担保による信用リスク削減手法の効果を反映させております。また、派生商品取引についても信用リスク削減手法の効果を反映させております。

ハ. 誤方向リスクの特定、モニタリング及び管理のための方針

誤方向リスクについては、派生商品取引においてはCSA契約(後記二を参照)を締結していることから、影響は限定的と判断し、金融機関毎の与信相当額の日次管理で対応しております。

ニ. 自行の信用力の悪化により担保を追加的に提供することが必要となる場合の影響度に関する説明

派生商品取引の取引先とは、契約書に定める担保条項に基づき取引相手からの受信額に応じて相互に担保を提供する契約書（CSA契約書）を締結しております。担保の提供額は取引相手からの受信額に基づき計算された金額となります。なお、派生商品が内包する金利や為替等のリスクの要因が変動することにより増減するため、その増減によっては追加的に担保を提供することがありますが、影響度は限定的であると認識しております。

7. 証券化取引に係るリスクに関する事項

当行は、投資家としてのみ証券化取引に関与しており、オリジネーターとして関与している証券化取引はありません。

イ. リスクの特性並びにリスク管理の方針、手続及び体制の概要

(1)取引の内容及び取引に係るリスクの内容

当行は事業者向け貸出（デリバティブによるものを含む）や商業用不動産などを裏付けとした証券化商品への投資を銀行勘定で行っております。また、貸出金についても同様のものがあります。なお、再証券化取引の保有はありません。

当行は保有する証券化商品に関連した信用リスク及び金利リスクを有しておりますが、これらは貸出金や有価証券等の取引により発生するものと基本的に変わりません。また、裏付資産の格付やデフォルト率の変化等により時価が変動するリスクを有しております。

(2)取引に対する取組方針

証券化商品への投資については、債券や株式などに代替するオルタナティブ投資の一環と位置付け、有価証券ポートフォリオ全体の収益力の向上とリスク分散を目的として取組んでおります。貸出金については、通常の与信判断と同様の審査のうえで取組んでおります。

(3)取引に係るリスク管理態勢

証券化商品に関しては、裏付資産の種類に応じて投資枠や格付毎の投資限度額等を定め、リスク度合いに応じた投資態勢をとっております。また、個別銘柄への投資にあたっては、裏付資産等のデューデリジェンスを十分に実施し、慎重な投資判断を行っております。更に、投資実施後には、格付モニタリングや時価チェック、また必要に応じて裏付資産まで踏み込んで管理するなど、適切なリスク管理態勢を構築しております。

連結子会社においても証券化取引については、銀行本体と同様の方針で取組んでおります。なお、2026年3月末時点において、連結子会社保有の証券化エクスポージャーはありません。

(4)証券化エクスポージャーに内在する信用リスク及びマーケット・リスク以外に内在するリスクの性質

当行が保有する証券化商品には、固有のリスクとして①商品ストラクチャーに関するリスク、②市場流動性リスク等があります。

ロ. 体制の整備及びその運用状況の概要（告示第248条第1項第1号から第4号に関連する項目）

日本証券業協会から公表されている「証券化商品の販売等に関する規則」及び「標準情報レポーティングパッケージ（SIRP）」を参考に証券化取引の情報を取得しております。「取得する情報」・「情報の取得時期」・「商品の種別」等を「特定与信格付取扱要領」に定め、体制を整備するとともに、定期的な情報取得によりモニタリングを行っております。

ハ. 証券化目的導管体を用いて第三者の資産に係る証券化取引を行った場合における証券化目的導管体の名称及び保有の有無

当該証券化取引はありません。

ニ. 連結グループの子会社等（連結子法人等を除く）及び関連法人等のうち、当該連結グループが行った証券化取引に係る証券化エクスポージャーを保有し、かつ、当該連結グループがその経営に関与し又は助言を提供しているものの名称

当該証券化エクスポージャーを保有している子法人等及び関連法人等はありません。

ホ. 契約外の信用補完等を提供している証券化目的導管体の名称及び当該証券化目的導管体毎の当該契約外の信用補完等による自己資本への影響

当該証券化取引はありません。

ヘ. 証券化取引に関する会計方針

当行が投資家として保有する証券化商品については、満期保有目的債券に区分したものについては償却原価法、その他有価証券に区分したものについては時価法にて評価しております。

ト. 証券化エクスポージャーの種類毎のリスク・ウェイトの判定に使用する適格格付機関の名称

次の適格格付機関が公表する格付をリスク・ウェイトの判定に使用しております。

適格格付機関
株式会社格付投資情報センター
株式会社日本格付研究所
ムーディーズ・インベスターズ・サービス・インク
S&Pグローバル・レーティング

チ. 内部評価方式を用いている場合の概要

証券化エクスポージャーの信用リスク・アセットの算出において内部評価方式は用いておりません。

8. CVAリスクに関する事項

イ、CVAリスク相当額の算出に使用する手法の名称及び各手法により算出される対象取引の概要

派生商品取引について、限定的なBA-CVAを採用しCVAリスクを算出しております。

ロ、CVAリスクの特性及びCVAに関するリスク管理体制の概要

CVAリスクとは、派生商品取引等において、取引相手方の信用力の悪化により派生商品取引等の時価が下落し、当行が損失を被るリスクをいいます。

当行は、四半期毎に自己資本比率の算出においてCVAリスク相当額を算出するとともに、その変化を確認しております。

ハ、SA-CVA採用行にあっては、次に掲げる事項

当行は、SA-CVAを採用しておりません。

9. マーケット・リスクに関する事項

当行及び連結グループは、特定取引資産・負債合計額が1,000億円未満、かつ総資産の10%相当額未満であることに加え、外国為替リスク・カテゴリーの全体のネット・ポジション額が一定の条件を満たすことからマーケット・リスクは不算入としております。

10. オペレーショナル・リスクに関する事項

オペレーショナル・リスクとは、銀行の業務の過程、役職員の活動もしくはコンピュータ・システムが不適切であること、又は外生的な事象により、当行及び連結グループが損失を被るリスクをいいます。

イ、リスク管理の方針及び手続の概要

(1)リスク管理の方針

当行は、「オペレーショナル・リスク管理規程」において基本方針を定め、オペレーショナル・リスクの適切な把握、分析及び改善活動を通して、リスク顕在化の未然防止並びに影響の極小化に努めることを明確にしております。

(2)手続の概要

上記方針を達成するため、各リスク管理部署は「オペリスク・アセスメント」に取組み、CSAの手法により、商品や業務等に内在するオペレーショナル・リスクを適切に把握・評価のうえ、重大なオペレーショナル・リスクについて改善計画を策定・実施し、リスクの低減・移転・回避等を図ることにより、リスク顕在化の防止に取組んでおります。

また、オペレーショナル・リスクが顕在化した場合には、「事故・苦情報告システム」により、当該リスクに関する情報を一元的に把握し再発防止策などの適切な対策を講じるとともに、発生要因等を網羅的に分析し、更なる改善に繋げていくよう努めております。

こうしたオペレーショナル・リスク管理への取組状況は、定期的に経営層に報告し確認を受けるとともに、必要に応じ施策・体制の見直しを実施するなど、オペレーショナル・リスク管理の実効性を高めるため、PDCAサイクル（リスクの把握・評価→対策の実施→効果・検証→対策の見直し等）の確立に努めております。

連結子会社においても、各社毎管理規程を制定し対応しております。

(3)オペレーショナル・リスクの管理態勢

当行は、幅広い概念であるオペレーショナル・リスクを、事務リスク、システムリスク、その他オペレーショナル・リスク（法務リスク、人的リスク、有形資産リスク、風評リスク等）に分類し、リスクカテゴリー毎に各リスク管理部署が、リスクの特性に応じてきめ細かく管理しております。

また、オペレーショナル・リスクの総合的な管理・統括部署として、組織的に独立したリスク統括部が重要なオペレーショナル・リスクに関する情報を一元的に把握・管理するほか、各リスク管理部署におけるリスク管理の状況を管理・監督することにより、組織牽制を働かせる態勢としております。

この他、オペレーショナル・リスク管理態勢全般について専門に協議するための機関として、「コンプライアンス・オペレーショナルリスク管理委員会」及び「コンプライアンス・オペレーショナルリスク会議」をそれぞれ設置し、組織横断的な観点から必要な対応を行っております。

なお、内部監査部署である監査部が、オペレーショナル・リスク管理態勢の整備状況及び機能の有効性について、独立した立場で内部監査を実施しております。

ロ、BIの算出方法

当行は、BI（事業規模指標）の算出についてILDC（金利要素）、SC（役務要素）およびFC（金融商品要素）を合計して算出しております。

ハ、ILMの算出方法

当行は、ILM（内部損失乗数）に保守的な見積値（ILM=1）を用いております。

ニ、オペレーショナル・リスク相当額の算出に当たって、BIの算出から除外した連結子法人等又は事業部門の有無該当ありません。

ホ、オペレーショナル・リスク相当額の算出に当たって、ILMの算出から除外した特殊損失の有無該当ありません。

11. 信用リスク・アセットの額の算出対象となっている出資等又は株式等エクスポージャーに関するリスクの特性並びにリスク管理の方針、手続及び体制の概要

イ. リスクを確実に認識し、評価・計測し、報告するための体制

(1) リスク管理の方針

当行は、市場性業務における市場リスク管理に関して「市場リスク管理規程」を定め、出資等又は株式等エクスポージャーを管理しております。

(2) 手続の概要

市場性業務を行うにあたっては、市場環境、運用に伴う市場リスク量等を勘案して、「市場リスク管理方針」を策定し、取締役会の承認を受けております。当該管理方針の中で、取引種目毎に取引枠を定め、株式等のリスクを管理しております。

株式等価格変動リスクの計測は、VaR（バリュー・アット・リスク）により行っております。信頼水準は99.9%、保有期間については、売却等に要する期間等を反映し、政策投資株式、純投資株式とも6ヶ月として、日次で計測しております。年度毎に取締役会において、自己資本や市場環境等を勘案してVaRによるリスク限度額を決定し、その限度額を遵守しながら収益の獲得に努めております。

なお、出資等又は株式等エクスポージャーの自己資本比率規制におけるリスク・ウェイトは、個々の案件のスキームに応じて適切に判定しております。

ロ. その他有価証券、子会社株式及び関連会社株式の区分毎のリスク管理の方針

その他有価証券については、その投資目的に応じて純投資株式又は政策投資株式に区分し、子会社株式及び関連会社株式は政策投資株式に含めて管理しております。

ハ. 株式等エクスポージャーの評価等重要な会計方針

株式等の評価については、子会社株式については移動平均法による原価法、その他有価証券のうち時価のあるものについては決算日の市場価格等に基づく時価法（売却原価は移動平均法により算定）、時価のないものについては移動平均法による原価法又は償却原価法により行っております。また、その他の有価証券の評価差額については、全部純資産直入法により処理しております。

株式等について、会計方針等を変更した場合は財務諸表等規則第8条の3に基づき、変更の理由や影響額について財務諸表の注記に記載しております。

12. 金利リスクに関する事項

イ. リスク管理の方針及び手続の概要

(1) リスク管理の方針

当行は、金利リスクを含めた市場リスク管理に関して「市場リスク管理規程」を定め、経営の健全性や収益性を確保するため、市場リスクをコントロールしております。金利リスクの管理対象を、トレーディング取引を含む全ての金利感応資産・負債、オフバランス取引とし、預貸金取引は月次、その他の市場性取引は日次でリスク量を計測しております。また、連結子会社の金利リスクは軽微と判断し、計測対象外としております。

(2) 手続の概要

当行は、市場リスクを適切にコントロールするため、年度毎の業務計画にて決定するリスク資本配賦運営の中で、市場リスクにリスクリミットを設定し、リスクをコントロールしております。また、半期毎に定める市場リスク管理方針及び市場リスクヘッジ方針の中で、必要に応じて各取引種目別の投資限度額又は保有限度額、評価損限度額、アラームポイント、ヘッジ取組限度額（ヘッジ会計の適用も有り）等を定め、市場リスク量や損失額を一定の範囲に抑える管理運営を行っております。

ロ. 金利リスク算定手法の概要

(1) 銀行勘定の金利リスク（通称：IRRBB、Interest Rate Risk in the Banking Book）

流動性預金に割り当てられた金利改定の平均満期は3.2年であり、最長の金利改定満期は10年となっております。流動性預金への満期の割当て方法は、明確な金利改定間隔がなく預金者の要求によって随時払い出される預金のうち、引き出されることなく長期間銀行に滞留する預金をコア預金と推計し、内部モデルを用いて満期を割り当てております。また、定期預金の早期解約や固定金利貸出の期限前返済については、過去の実績データに基づき金融庁が定める保守的な前提を反映し適切に考慮しております。

複数通貨の取扱いについては、主要な通貨を計測対象としているほか、通貨間の金利の相関を考慮せず、保守的に正の値となる通貨のみを単純合算しております。

スプレッドに関しては、割引金利にはスプレッドを含めず、キャッシュ・フローにはスプレッドを含めております。

ΔNII（金利ショックに対する金利収益の減少額）は、個々の取引や商品の性質に鑑み、リスクフリーレートに対する追随やフロア等を設定し計測しております。

ファンド等の金利リスクについては、重要性に応じ簡便的な方法等により適切に計測し、保守的な方法により合算しております。

ΔEVE（金利ショックに対する現在価値の減少額）は、コア預金の平均満期の短縮を主因に2025年3月期比22,737百万円減少し、69,742百万円となりました。なお、最大となる金利ショックシナリオは下方パラレルシフトです。

ΔEVEは、現状Tier1の15%以内に収まっており、金利リスク管理上問題のない水準と認識しております。

(2) 内部管理上使用している金利リスク

当行は、市場取引のリスク量について、VaR、BPV（ベシス・ポイント・バリュー）のほか、商品の特性等を考慮し、効果的な計測方法を組み合わせて活用しております。具体的には、以下の基本ルールに沿って、リスク管理に取り組んでおります。

（基本ルール）

リスクを計量化して把握・管理することが可能なリスクについては、VaR、BPV、ギャップ分析、シミュレーションなどを用いたリスク分析によって計量化し、期待するリターンや当行の経営体力と対比し、適正な水準に収まるようコントロールしております。

金利リスクの算定にあたっては、内部モデルを用いて推計したコア預金を考慮しております。具体的には、普通預金など満期のない流動性預金について、預金種別や残高階層別の過去の預金残高推移を統計的に解析し、将来預金残高を保守的に推計すること、実質的な満期を計測しております。計測結果については、バックテスト等による検証を行っております。

また、急激な金融情勢の変化や不測の事態の発生等を想定し、ストレス事象の顕現化による損失額が経営に及ぼす影響を検証するため、市場リスクについて、ストレステストを実施しております。このストレステスト等により、リスク管理の実効性を確保するとともに、計量化手法の高度化、精緻化に努めております。

（注1）VaRとは、将来のある一定期間（保有期間）のうちに、ある一定の確率（信頼水準）の範囲内で、金融資産・負債が被る可能性のある最大損失額を統計的手法により推計したものであります。当行は信頼水準を99.9%、保有期間を120日としています。

（注2）BPVとは、金利1bp（0.01%）の変化により、保有資産・負債の現在価値がどの程度変化するかを計測する手法であります。

（注3）ギャップ分析とは、資産・負債を金利更改期日毎に区分し、各区分における運用・調達構造を把握する方法であります。

13. 貸借対照表の科目が「自己資本の構成に関する開示項目」のいずれに相当するかについての説明

I. 自己資本の構成に関する開示事項1. 連結自己資本比率及び2. 単体自己資本比率をご参照ください。

14. 自己資本比率規制上のエクスポージャーの額と連結貸借対照表計上額との差異及びその要因に関する説明

(1) 開示告示別紙様式第二号第二面で複数のリスク区分にまたがる勘定科目やリスク区分との紐づけが困難な勘定科目についての定性的な説明

Ⅲ. 定量的な開示事項 4. 様式に基づく開示 (2) 第二面LI1の注記をご参照ください。

(2) 自己資本比率規制上のエクスポージャーの額と連結貸借対照表計上額との差額について、開示告示別紙様式第二号第三面で示される主要な差異項目の説明

Ⅲ. 定量的な開示事項 4. 様式に基づく開示 (3) 第三面LI2の注記をご参照ください。

Ⅲ. 定量的な開示事項

1. 連結の範囲に関する事項

その他金融機関等（自己資本比率告示第8条第8項第1号に規定するその他金融機関等をいう。）であって銀行の子法人等であるもののうち、自己資本比率規制上の所要自己資本を下回った会社の名称と所要自己資本を下回った額の総額

該当ありません。

2. 信用リスクに関する事項

(1)信用リスクに関するエクスポージャーの期末残高（地域別・業種別・残存期間別）

〈連結〉		2026年3月期 八十二長野銀行			2025年3月期 八十二銀行		
		信用リスクエクスポージャーの期末残高			信用リスクエクスポージャーの期末残高		
		貸出金、コミットメント及びその他のデリバティブ以外のオフ・バランス取引	債券		貸出金、コミットメント及びその他のデリバティブ以外のオフ・バランス取引	債券	
国内計	15,173,721	8,877,564	2,186,659	15,145,485	8,572,078	2,446,270	
国外計	99,960	86,570	12,663	76,421	67,534	8,274	
地域別合計	15,273,682	8,964,135	2,199,322	15,221,906	8,639,612	2,454,544	
製造業	2,414,352	1,743,228	127,956	2,141,568	1,572,520	150,254	
農業、林業	50,943	47,569	351	50,176	46,981	226	
漁業	137	137	—	93	93	—	
鉱業、採石業、砂利採取業	16,923	16,447	14	10,819	10,524	20	
建設業	349,554	314,991	29,247	323,484	281,031	28,815	
電気・ガス・熱供給・水道業	234,500	209,182	20,127	173,182	149,915	19,911	
情報通信業	149,766	117,005	31,074	132,223	98,349	32,018	
運輸業、郵便業	404,442	279,666	110,271	366,122	232,994	119,251	
卸売業、小売業	1,285,668	1,164,745	29,289	1,160,388	1,071,006	29,454	
金融・保険業	1,314,940	630,945	543,936	1,401,239	599,194	620,109	
不動産業、物品賃貸業	1,187,647	1,019,104	104,312	1,039,694	910,042	85,021	
各種サービス業	539,615	503,453	34,309	475,372	434,842	38,644	
国・地方公共団体	4,659,389	783,208	1,164,512	4,717,536	885,434	1,102,691	
個人	2,090,897	2,085,297	—	1,791,303	1,787,193	—	
その他	320,600	—	—	287,346	—	—	
子会社資産	254,301	49,150	3,917	1,151,355	559,487	228,124	
業種別計	15,273,682	8,964,135	2,199,322	15,221,906	8,639,612	2,454,544	
1年以下	3,274,221	2,907,073	240,078	3,834,340	3,064,460	409,923	
1年超3年以下	1,599,462	1,115,030	457,359	1,449,423	916,863	509,305	
3年超5年以下	1,478,338	1,136,604	283,496	1,435,597	1,057,255	328,096	
5年超7年以下	761,672	721,349	15,874	676,726	625,039	29,993	
7年超10年以下	863,566	628,278	227,721	733,668	559,749	165,928	
10年超	2,901,994	2,036,522	859,361	2,967,599	2,041,163	922,651	
期間の定めのないもの	4,394,426	419,275	115,429	4,124,549	375,081	88,646	
残存期間別計	15,273,682	8,964,135	2,199,322	15,221,906	8,639,612	2,454,544	

(注1) カウンターパーティ信用リスク、証券化エクスポージャー及び信用リスク・アセットのみなし計算に係るエクスポージャーは除いております。

(注2) 地域別の欄において、「国内」とは当行の国内部店で取引されたエクスポージャー、「国外」とは当行の海外店で取引されたエクスポージャーです。

(注3) 「コミットメント及びその他のオフバランス取引」については、CCF適用前の額を掲載しております。

(注4) 「期間の定めのないもの」には、期間が不明なものも含まれます。

(注5) 子会社の取引分につきましては、業種別に区分しておりません。

(2)金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則（平成10年金融再生委員会規則第2号）第4条第2項、第3項又は第4項に規定する債権に係る債務者のエクスポージャーの期末残高、当該期末残高に対応して計上されている引当金の額及び当該エクスポージャーに係る償却額並びにこれらの次に掲げる区分ごとの内訳

①区分別

(連結)

(単位：百万円)

区分	2026年3月期		2025年3月期	
	八十二長野銀行		八十二銀行	
	開示債権額	貸倒引当金	開示債権額	貸倒引当金
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	13,212	5,426	14,357	6,343
危険債権	100,509	20,773	105,648	23,051
要管理債権	20,211	2,931	20,388	2,458
合計	133,933	29,130	140,394	31,853
当該区分に係る償却額（年度ベース）	881		545	

②地域別

(連結)

(単位：百万円)

地区	2026年3月期		2025年3月期	
	八十二長野銀行		八十二銀行	
	開示債権額	貸倒引当金	開示債権額	貸倒引当金
県内・新潟	124,286	27,138	130,553	29,940
県外	9,647	1,992	9,841	1,913
総計	133,933	29,130	140,394	31,853

(注) 海外店は県外に含めております。

③業種別

(連結)

(単位：百万円)

業種	2026年3月期		2025年3月期	
	八十二長野銀行		八十二銀行	
	開示債権額	貸倒引当金	開示債権額	貸倒引当金
製造業	41,581	10,892	44,617	12,628
建設業	8,246	1,402	7,730	1,649
卸売業	4,759	408	5,621	515
小売業	13,992	3,889	15,058	3,964
金融・保険業	16	1	38	1
不動産業	6,796	1,000	6,142	909
宿泊業	13,888	3,995	15,324	5,050
サービス業	23,723	4,847	25,781	4,745
その他	20,928	2,694	20,079	2,389
合計	133,933	29,130	140,394	31,853

(3)延滞期間別のエクスポージャーの期末残高

(連結)

(単位：百万円)

延滞月数	2026年3月期	2025年3月期
	八十二長野銀行	八十二銀行
1ヶ月未満	12,570	8,324
1ヶ月以上2ヶ月未満	1,376	1,378
2ヶ月以上3ヶ月未満	976	684
3ヶ月以上	1,603	1,735
合計	16,526	12,123

(注1) 金融再生法における「危険債権」以下は、含めておりません。

(注2) 総エクスポージャーのうち、オフバランス取引については、CCF適用前の額を計上しており、また支払承諾の延滞は計上しておりません。

(4)経営再建又は支援を図ることを目的として貸出条件の緩和を実施した債権（金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則第4条第2項に規定する破産更生債権及びこれらに準ずる債権、同条第3項に規定する危険債権又は同条第4項に規定する3月以上延滞債権に該当するものを除く。）に係る債務者のエクスポージャーの期末残高のうち、貸出条件の緩和を実施したことに伴い、当該エクスポージャーに係る引当金の額を増加させたものの額及びそれ以外のものの額

（連結）

基準日：2026年3月31日（八十二長野銀行） (単位：百万円)

区分	貸出条件緩和債権 期末残高
貸出条件の緩和を実施した債権に係る債務者のエクスポージャーの期末残高のうち、引当金の額を増加させたものの額	18,852
貸出条件の緩和を実施した債権に係る債務者のエクスポージャーの期末残高のうち、上記以外のものの額	—

基準日：2025年3月31日（八十二銀行） (単位：百万円)

区分	貸出条件緩和債権 期末残高
貸出条件の緩和を実施した債権に係る債務者のエクスポージャーの期末残高のうち、引当金の額を増加させたものの額	18,863
貸出条件の緩和を実施した債権に係る債務者のエクスポージャーの期末残高のうち、上記以外のものの額	—

3. リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算が適用されるエクスポージャーに関する事項

（連結）

信用リスク・アセットのみなし計算が適用されるエクスポージャーの額

(単位：百万円)

		2026年3月期 八十二長野銀行 エクスポージャーの額	2025年3月期 八十二銀行 エクスポージャーの額
ルック・スルー方式	(告示第167条第2項)	229,786	233,894
マンドート方式	(告示第167条第7項)	56,024	45,129
蓋然性方式250%	(告示第167条第10項第1号)	3,554	2,581
蓋然性方式400%	(告示第167条第10項第2号)	4,381	5,014
フォールバック方式1250%	(告示第167条第11項)	52,516	51,755
合計		346,263	338,374

(注1) 信用リスク・アセットのみなし計算適用のエクスポージャーとは、信用リスク・アセットを直接に計算できないファンド、投資信託等であります。

(注2) リスク・ウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャーの保有はありません。

4. 様式に基づく開示

(I)第一面OV1：リスク・アセットの概要

〈連結〉

(単位：百万円)

OV1：リスク・アセットの概要

国際様式の 該当番号		イ	ロ	ハ	ニ
		リスク・アセット		所要自己資本	
		当期末 2026年3月期	前期末 2025年3月期	当期末 2026年3月期	前期末 2025年3月期
		八十二長野銀行	八十二銀行	八十二長野銀行	八十二銀行
1	信用リスク	4,087,566	3,449,280	327,005	275,942
2	うち、標準的手法適用分	339,263	520,291	27,141	41,623
3	うち、基礎的内部格付手法適用分	3,571,667	2,798,831	285,733	223,906
4	うち、スロットティング・クライテリア適用分	118,820	75,575	9,505	6,046
5	うち、先進的内部格付手法適用分	—	—	—	—
	うち、重要な出資のエクスポージャー	—	—	—	—
	うち、リース取引における見積残存価額のエクスポージャー	3,915	3,774	313	301
	その他	53,899	50,808	4,311	4,064
6	カウンターパーティ信用リスク	33,537	42,812	2,683	3,425
7	うち、SA-CCR適用分	4,386	9,505	350	760
8	うち、期待エクスポージャー方式適用分	—	—	—	—
	うち、中央清算機関関連エクスポージャー	1,892	1,230	151	98
9	その他	27,258	32,076	2,180	2,566
10	CVAリスク	12,565	17,125	1,005	1,370
	うち、SA-CVA適用分	—	—	—	—
	うち、完全なBA-CVA適用分	—	—	—	—
	うち、限定的なBA-CVA適用分	12,565	17,125	1,005	1,370
11	経過措置により適用されるマーケット・ベース方式に基づく株式等エクスポージャー	381,822	311,363	30,545	24,909
12	リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算（ルック・スルー方式）	180,762	122,901	14,460	9,832
13	リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算（マンドート方式）	236,458	185,142	18,916	14,811
	リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算（蓋然性方式250%）	8,886	6,453	710	516
	リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算（蓋然性方式400%）	17,524	20,056	1,401	1,604
14	リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算（フォールバック方式1250%）	656,455	646,943	52,516	51,755
15	未決済取引	—	—	—	—
16	信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャー	29,501	29,079	2,360	2,326
17	うち、内部格付手法準拠方式適用分	—	—	—	—
18	うち、外部格付準拠方式又は内部評価方式適用分	29,501	29,079	2,360	2,326
19	うち、標準的手法準拠方式適用分	—	—	—	—
	うち、1250%のリスク・ウェイト適用分	—	—	—	—
20	マーケット・リスク	—	—	—	—
21	うち、標準的方式適用分	—	—	—	—
22	うち、内部モデル方式適用分	—	—	—	—
	うち、簡易的方式適用分	—	—	—	—
23	勘定間の振替分	—	—	—	—
24	オペレーショナル・リスク	300,009	242,080	24,000	19,366
25	特定項目のうち、調整項目に算入されない部分に係るエクスポージャー	560	560	44	44
26	フロア調整	—	—	—	—
27	合計	5,945,651	5,073,800	475,652	405,904

(単体)

(単位：百万円)

OV1：リスク・アセットの概要

国際様式の 該当番号		イ	ロ	ハ	ニ
		リスク・アセット		所要自己資本	
		当期末	前期末	当期末	前期末
		2026年3月期 八十二長野銀行	2025年3月期 八十二銀行	2026年3月期 八十二長野銀行	2025年3月期 八十二銀行
1	信用リスク	3,998,457	3,080,429	319,876	246,434
2	うち、標準的手法適用分	318,422	218,951	25,473	17,516
3	うち、基礎的内部格付手法適用分	3,525,735	2,755,337	282,058	220,426
4	うち、スロッシング・クライテリア適用分	118,820	75,575	9,505	6,046
5	うち、先進的内部格付手法適用分	—	—	—	—
	うち、重要な出資のエクスポージャー	—	—	—	—
	うち、リース取引における見積残存価額のエクスポージャー	—	—	—	—
	その他	35,479	30,564	2,838	2,445
6	カウンターパーティ信用リスク	33,531	42,475	2,682	3,398
7	うち、SA-CCR適用分	4,380	9,498	350	759
8	うち、期待エクスポージャー方式適用分	—	—	—	—
	うち、中央清算機関関連エクスポージャー	1,892	1,230	151	98
9	その他	27,258	31,746	2,180	2,539
10	CVAリスク	12,565	17,125	1,005	1,370
	うち、SA-CVA適用分	—	—	—	—
	うち、完全なBA-CVA適用分	—	—	—	—
	うち、限定的なBA-CVA適用分	12,565	17,125	1,005	1,370
11	経過措置により適用されるマーケット・ベース方式に基づく株式等エクスポージャー	398,275	320,197	31,862	25,615
12	リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算（ルック・スルー方式）	337,145	189,474	26,971	15,157
13	リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算（マंडート方式）	236,458	185,142	18,916	14,811
	リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算（蓋然性方式250%）	8,886	6,405	710	512
	リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算（蓋然性方式400%）	17,524	20,056	1,401	1,604
14	リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算（フォールバック方式1250%）	590,678	632,568	47,254	50,605
15	未決済取引	—	—	—	—
16	信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャー	29,501	29,079	2,360	2,326
17	うち、内部格付手法準拠方式適用分	—	—	—	—
18	うち、外部格付準拠方式又は内部評価方式適用分	29,501	29,079	2,360	2,326
19	うち、標準的手法準拠方式適用分	—	—	—	—
	うち、1250%のリスク・ウェイト適用分	—	—	—	—
20	マーケット・リスク	—	—	—	—
21	うち、標準的方式適用分	—	—	—	—
22	うち、内部モデル方式適用分	—	—	—	—
	うち、簡易的方式適用分	—	—	—	—
23	勘定間の振替分	—	—	—	—
24	オペレーショナル・リスク	284,596	209,033	22,767	16,722
25	特定項目のうち、調整項目に算入されない部分に係るエクスポージャー	—	—	—	—
26	フロア調整	—	—	—	—
27	合計	5,947,622	4,731,987	475,809	378,559

(2)第二面LI1：会計上の連結範囲と自己資本比率規制上の連結範囲との間の差異及び連結貸借対照表の区分と自己資本比率規制上のリスク・カテゴリーとの対応関係

(連結)

2026年3月期（八十二長野銀行）

(単位：百万円)

LI1：会計上の連結範囲と自己資本比率規制上の連結範囲との間の差異及び連結貸借対照表の区分と自己資本比率規制上のリスク・カテゴリーとの対応関係

	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト
	連結貸借対照表計上額	自己資本比率規制上の連結範囲に基づく連結貸借対照表計上額	各項目に対応する帳簿価額				所要自己資本算定対象外の項目又は規制資本からの調整項目
			信用リスク(二欄及びホ欄に該当する額を除く。)	カウンターパーティ信用リスク	証券化エクスポージャー(ヘ欄に該当する額を除く。)	マーケット・リスク	
資産							
現金預け金		2,818,818	2,818,818	—	—	—	—
コールローン及び買入手形		—	—	—	—	—	—
買入金銭債権		73,397	16,539	—	56,857	—	—
特定取引資産		56,281	46,349	9,931	—	—	—
金銭の信託		39,540	39,208	331	—	—	—
有価証券		3,365,253	3,230,822	2,204,841	75,951	—	58,479
貸出金		6,711,935	6,695,196	—	4,526	—	12,212
外国為替		16,049	16,049	—	—	—	—
リース債権及びリース投資資産		105,308	105,308	—	—	—	—
その他資産		231,335	60,089	149,640	746	—	20,858
有形固定資産		38,749	38,749	—	—	—	—
無形固定資産		4,803	—	—	—	—	4,803
退職給付に係る資産		86,402	—	—	—	—	86,402
繰延税金資産		1,906	—	—	—	—	1,906
支払承諾見返		58,301	58,301	—	—	—	—
貸倒引当金		△53,592	△53,592	—	—	—	—
資産合計		13,554,489	13,071,841	2,364,744	138,083	—	184,661
負債							
預金		9,552,050	36,859	—	—	—	9,515,191
譲渡性預金		57,208					57,208
コールマネー及び売渡手形		918,300					918,300
売現先勘定		169,725	—	169,725	—	—	—
債券貸借取引受入担保金		84,245	—	84,245	—	—	—
特定取引負債		9,523	—	9,523	—	—	—
借入金		1,097,909					1,097,909
外国為替		1,441					1,441
信託勘定借		1,628					1,628
その他負債		241,934	—	27,488	—	—	214,446
役員株式給付引当金		—					—
退職給付に係る負債		9,929					9,929
睡眠預金払戻損失引当金		176					176
偶発損失引当金		1,606					1,606
特別法上の引当金		15					15
システム解約損失引当金		—					—
繰延税金負債		194,326					194,326
支払承諾		58,301					58,301
負債合計		12,398,324	36,859	290,983	—	—	12,070,481

財務データ

自己資本の充実の状況

流動性に係る経営の健全性の状況

報酬等に関する開示事項

2025年3月期（八十二銀行）

（単位：百万円）

II1：会計上の連結範囲と自己資本比率規制上の連結範囲との差異及び連結貸借対照表の区分と自己資本比率規制上のリスク・カテゴリーとの対応関係

	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト
	連結貸借対 照表計上額	自己資本比 率規制上の 連結範囲に 基づく連結 貸借対照表 計上額	各項目に対応する帳簿価額				
			信用リスク (二欄及びホ 欄に該当す る額を除く。)	カウンタ ーパ ーティ 信用リスク	証券化エク スポー ジャ ー(ハ欄に 該当する額 を除く。)	マ ー ケ ッ ト・ リ ス ク	所要自己資 本算定対象 外の項目又 は規制資本 からの調整 項目
資産							
現金預け金		3,027,055	3,027,055	252	—	—	—
コールローン及び買入手形		11,958	11,958	—	—	—	—
買入金銭債権		105,003	33,462	—	71,541	—	—
特定取引資産		38,602	31,289	7,312	—	—	—
金銭の信託		78,761	77,927	834	—	—	—
有価証券		3,406,740	3,292,683	2,473,149	52,974	—	61,082
貸出金		6,461,544	6,437,460	—	4,560	—	19,523
外国為替		18,482	18,482	—	—	—	—
リース債権及びリース投資資産		96,629	96,629	—	—	—	—
その他資産		156,648	53,680	89,686	757	—	12,523
有形固定資産		38,628	38,628	—	—	—	—
無形固定資産		4,076	—	—	—	—	4,076
退職給付に係る資産		64,335	—	—	—	—	64,335
繰延税金資産		1,698	—	—	—	—	1,698
支払承諾見返		60,149	60,149	—	—	—	—
貸倒引当金		△55,000	△55,000	—	—	—	—
資産合計		13,515,316	13,124,406	2,571,234	129,834	—	163,241
負債							
預金		9,549,428	36,496	—	—	—	9,512,931
譲渡性預金		218,447					218,447
コールマネー及び売渡手形		593,483					593,483
売現先勘定		127,391	—	127,391	—	—	—
債券貸借取引受入担保金		97,492	—	97,492	—	—	—
特定取引負債		6,945	—	6,945	—	—	—
借入金		1,581,461					1,581,461
外国為替		2,431					2,431
信託勘定借		1,499					1,499
その他負債		167,558	—	15,605	—	—	151,952
役員株式給付引当金		90					90
退職給付に係る負債		11,233					11,233
睡眠預金払戻損失引当金		351					351
偶発損失引当金		1,719					1,719
特別法上の引当金		15					15
システム解約損失引当金		2,058					2,058
繰延税金負債		125,899					125,899
支払承諾		60,149					60,149
負債合計		12,547,657	36,496	247,434	—	—	12,263,726

(注1) 会計上の連結範囲と自己資本比率規制上の連結範囲は同一であるため、イ欄およびロ欄を統合しております。

(注2) レポ形式の取引等にかかる有価証券につきましては、ハ欄およびニ欄においてそれぞれ資本賦課の対象となります。従って、「有価証券」につきましては、ロ欄の額とハ欄からト欄までの額の合計額は一致しません。

(3)第三面LI2：自己資本比率規制上のエクスポージャーの額と連結貸借対照表計上額との差異の主な要因
(連結)

2026年3月期（八十二長野銀行）

(単位：百万円)

LI2：自己資本比率規制上のエクスポージャーの額と連結貸借対照表計上額との差異の主な要因						
項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ
		合計	対応する項目			
			信用リスク (ハ欄及びニ 欄に該当する 額を除く。)	カウンター パーティ 信用リスク	証券化エク スポージャー (ホ欄に 該当する額 を除く。)	マーケッ ト・リスク
1	自己資本比率規制上の連結範囲に基づく資産の額	13,369,827	13,071,841	2,364,744	138,083	—
2	自己資本比率規制上の連結範囲に基づく負債の額	327,842	36,859	290,983	—	—
3	自己資本比率規制上の連結範囲に基づく資産及び負債の純額	13,041,985	13,034,982	2,073,761	138,083	—
4	オフ・バランスシートの額	207,984	207,984	—	—	—
5	保守的な公正価値調整による差異	—	—	—	—	—
6	ネットィングルールの相違による差異（項番2に 含まれる額を除く。）	—	—	—	—	—
7	引当て及び償却を勘案することによる差異	52,995	52,995	—	—	—
8	調整項目（プルデンシャル・フィルター）による差異	—	—	—	—	—
9-1	デリバティブ取引による差異	△6,094	—	△6,094	—	—
9-2	レポ形式の取引による差異	14,796	—	14,796	—	—
9-3	その他の要因による差異	△5,314	△5,314	—	—	—
10	自己資本比率規制上のエクスポージャーの額	13,306,351	13,290,647	2,082,462	138,083	—

2025年3月期（八十二銀行）

(単位：百万円)

LI2：自己資本比率規制上のエクスポージャーの額と連結貸借対照表計上額との差異の主な要因						
項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ
		合計	対応する項目			
			信用リスク (ハ欄及びニ 欄に該当する 額を除く。)	カウンター パーティ 信用リスク	証券化エク スポージャー (ホ欄に 該当する額 を除く。)	マーケッ ト・リスク
1	自己資本比率規制上の連結範囲に基づく資産の額	13,352,075	13,124,406	2,571,234	129,834	—
2	自己資本比率規制上の連結範囲に基づく負債の額	283,931	36,496	247,434	—	—
3	自己資本比率規制上の連結範囲に基づく資産及び負債の純額	13,068,143	13,087,910	2,323,799	129,834	—
4	オフ・バランスシートの額	189,253	189,253	—	—	—
5	保守的な公正価値調整による差異	—	—	—	—	—
6	ネットティングルールの相違による差異（項番2に含まれる額を除く。）	—	—	—	—	—
7	引当て及び償却を勘案することによる差異	46,718	46,718	—	—	—
8	調整項目（プルデンシャル・フィルター）による差異	—	—	—	—	—
9-1	デリバティブ取引による差異	10,619	—	10,619	—	—
9-2	レポ形式の取引による差異	15,723	—	15,723	—	—
9-3	その他の要因による差異	△4,451	△4,451	—	—	—
10	自己資本比率規制上のエクスポージャーの額	13,326,006	13,319,430	2,350,142	129,834	—

(注1) 項番4「オフ・バランスシートの額」には、当座貸越やコミットメント・ラインにおける空枠額および支払承諾見返におけるCCF勘案等に起因する差額を計上しております。

(注2) 項番7「引当て及び償却を勘案することによる差異」には、内部格付手法適用資産に係る貸倒引当金を計上しております。

(注3) 項番9-1「デリバティブ取引による差異」には、デリバティブ取引に係る項番3の額と、自己資本比率規制上のエクスポージャー額との差額を計上しております。

(注4) 項番9-2「レポ形式の取引による差異」には、レポ形式の取引に係る項番3の額と、信用リスク削減効果を勘案した自己資本比率規制上のエクスポージャー額との差額を計上しております。

(注5) 項番9-3「その他の要因による差異」には、連結貸借対照表計上額と自己資本比率規制上のエクスポージャー額との集計方法の相違による差額（項番5から項番9-2のいずれにも属さないもの）を計上しております。

(4)第四面CR1：資産の信用の質

(連結)

2026年3月期（八十二長野銀行）

(単位：百万円)

CR1：資産の信用の質

項番		イ	ロ	ハ	ニ
		帳簿価額の総額		引当金	ネット金額 (イ+ロ-ハ)
		デフォルトした エクスポージャー	非デフォルト エクスポージャー		
オン・バランスシートの資産					
1	貸出金	144,299	6,563,108	50,967	6,656,441
2	有価証券（うち負債性のもの）	280	2,198,621	—	2,198,902
3	その他オン・バランスシートの資産（うち負債性のもの）	26	2,792,900	14	2,792,912
4	オン・バランスシートの資産の合計（1+2+3）	144,607	11,554,630	50,981	11,648,256
オフ・バランスシートの資産					
5	支払承諾等	679	57,622	161	58,139
6	コミットメント等	21	238,702	451	238,273
7	オフ・バランスシートの資産の合計（5+6）	700	296,325	612	296,413
合計					
8	合計（4+7）	145,307	11,850,955	51,594	11,944,669

2025年3月期（八十二銀行）

(単位：百万円)

CR1：資産の信用の質

項番		イ	ロ	ハ	ニ
		帳簿価額の総額		引当金	ネット金額 (イ+ロ-ハ)
		デフォルトした エクスポージャー	非デフォルト エクスポージャー		
オン・バランスシートの資産					
1	貸出金	156,156	6,300,828	51,764	6,405,219
2	有価証券（うち負債性のもの）	526	2,444,210	—	2,444,737
3	その他オン・バランスシートの資産（うち負債性のもの）	20	3,053,622	12	3,053,629
4	オン・バランスシートの資産の合計（1+2+3）	156,702	11,798,661	51,776	11,903,587
オフ・バランスシートの資産					
5	支払承諾等	856	59,293	182	59,966
6	コミットメント等	132	214,844	386	214,589
7	オフ・バランスシートの資産の合計（5+6）	988	274,137	569	274,556
合計					
8	合計（4+7）	157,691	12,072,798	52,346	12,178,144

(注1) 項番2「有価証券（うち負債性のもの）」の項には、連結貸借対照表における有価証券に含まれる資産のうち、負債性の商品に係る資産（株式以外の有価証券）を対象としております。

(注2) 項番3「その他オン・バランスシートの資産（うち負債性のもの）」の項には、連結貸借対照表における貸出金および有価証券以外の資産のうち、負債性の商品に係る資産（預け金、金銭の信託、コールローン、買入金銭債権、外国為替、未収利息）を対象としております。

(注3) 引当金は債務者単位の引当金を残高比率等一定のルールで科目別に按分しております。

(注4) 自己資本比率算出に用いるデフォルト定義は、自己資本比率告示に基づき、要管理先以下としております。リテール向けエクスポージャーについては、三ヶ月以上延滞エクスポージャーに該当する場合もデフォルトとしております。

(5)第五面CR2：デフォルトした貸出金・有価証券等（うち負債性のもの）の残高の変動
(連結)

2026年3月期（八十二長野銀行）

(単位：百万円)

CR2：デフォルトした貸出金・有価証券等（うち負債性のもの）の残高の変動

項番	額
1	前期末時点においてデフォルト状態にある貸出金・有価証券等（うち負債性のもの）の残高
2	デフォルトした額
3	非デフォルト状態へ復帰した額
4	償却された額
5	その他の変動額
6	当期末時点においてデフォルト状態にある貸出金・有価証券等（うち負債性のもの）の残高 (1+2-3-4+5)

2025年3月期（八十二銀行）

(単位：百万円)

CR2：デフォルトした貸出金・有価証券等（うち負債性のもの）の残高の変動

項番	額
1	前期末時点においてデフォルト状態にある貸出金・有価証券等（うち負債性のもの）の残高
2	デフォルトした額
3	非デフォルト状態へ復帰した額
4	償却された額
5	その他の変動額
6	当期末時点においてデフォルト状態にある貸出金・有価証券等（うち負債性のもの）の残高 (1+2-3-4+5)

(注) 項番5「その他の変動額」の項には、「デフォルト状態にあるエクスポージャーの回収による残高減少」や「デフォルト期間中の追加与信」等による変動を含めております。

(6)第六面CR3：信用リスク削減手法

(連結)

2026年3月期（八十二長野銀行）

(単位：百万円)

CR3：信用リスク削減手法

項番	イ	ロ	ハ	ニ	ホ
	非 保 全 エクスポージャー	保全された エクスポージャー	担保で保全された エクスポージャー	保証で保全された エクスポージャー	クレジット・ デリバティブ で保全された エクスポージャー
1	貸出金	5,863,368	793,072	249,458	270,243
2	有価証券（負債性のもの）	2,063,691	135,210	—	133,564
3	その他オン・バランスシートの資産（負債性のもの）	2,792,718	193	171	—
4	合計（1+2+3）	10,719,779	928,476	249,630	403,807
5	うちデフォルトしたもの	50,357	60,349	7,638	36,835

2025年3月期（八十二銀行）

(単位：百万円)

CR3：信用リスク削減手法

項番	イ	ロ	ハ	ニ	ホ
	非 保 全 エクスポージャー	保全された エクスポージャー	担保で保全された エクスポージャー	保証で保全された エクスポージャー	クレジット・ デリバティブ で保全された エクスポージャー
1	貸出金	5,601,713	803,506	213,631	287,534
2	有価証券（負債性のもの）	2,289,167	155,570	—	152,995
3	その他オン・バランスシートの資産（負債性のもの）	3,053,214	415	409	0
4	合計（1+2+3）	10,944,094	959,492	214,040	440,530
5	うちデフォルトしたもの	62,145	65,987	7,332	30,296

(注1) 項番2「有価証券（負債性のもの）」の項には、連結貸借対照表における有価証券に含まれる資産のうち、負債性の商品に係る資産（株式以外の有価証券）を対象としております。

(注2) 項番3「その他オン・バランスシートの資産（負債性のもの）」の項には、連結貸借対照表における貸出金および有価証券以外の資産のうち、負債性の商品に係る資産（預け金、金銭の信託、コールローン、買入金銭債権、外国為替、未収利息）を対象としております。

(注3) ハ欄における「担保」とは、適格金融資産担保（自行預金、国債、上場株式等）、適格債権担保（割引手形勘定の商業手形等）、適格不動産担保（法的に有効な担保権が設定されている等の不動産担保）であります。適格金融資産担保には、貸出金と自行預金の相殺分は含んでおりません。

(注4) ニ欄における「保証」とは、適格保証人（ソブリン、事業法人等）による保証です。

(7)第七面CR4：標準的手法-信用リスク・エクスポージャーと信用リスク削減手法の効果

(連結)

2026年3月期（八十二長野銀行）

(単位：百万円、%)

CR4：標準的手法-信用リスク・エクスポージャーと信用リスク削減手法の効果

項番	資産クラス	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ
		CCF・信用リスク削減手法適用前のエクスポージャー オン・バランスシートの額	CCF・信用リスク削減手法適用後のエクスポージャー オフ・バランスシートの額	CCF・信用リスク削減手法適用後のエクスポージャー オン・バランスシートの額	CCF・信用リスク削減手法適用後のエクスポージャー オフ・バランスシートの額	信用リスク・アセットの額	リスク・ウェイトの加重平均値 (RWA density)
1a	日本国政府及び日本銀行向け	1,118	—	1,118	—	—	0.00
1b	外国の中央政府及び中央銀行向け	3	—	3	—	—	0.00
1c	国際決済銀行等向け	—	—	—	—	—	—
2a	我が国の地方公共団体向け	422	—	422	—	—	0.00
2b	外国の中央政府等以外の公共部門向け	—	—	—	—	—	—
2c	地方公共団体金融機構向け	—	—	—	—	—	—
2d	我が国の政府関係機関向け	200	—	200	—	20	10.00
2e	地方三公社向け	—	—	—	—	—	—
3	国際開発銀行向け	—	—	—	—	—	—
4	金融機関、第一種金融商品取引業者及び保険会社向け	13,250	—	13,250	—	3,888	29.35
	うち、第一種金融商品取引業者及び保険会社向け	—	—	—	—	—	—
5	カバード・ボンド向け	—	—	—	—	—	—
6	法人等向け（特定貸付債権向けを含む。）	14,271	48,098	14,271	4,809	19,081	100.00
	うち、特定貸付債権向け	—	—	—	—	—	—
7a	劣後債権及びその他資本性証券等	—	—	—	—	—	—
7b	株式等	198,441	—	197,479	—	315,966	160.00
8	中堅中小企業等向け及び個人向け	—	—	—	—	—	—
	うち、トランザクター向け	—	—	—	—	—	—
9	不動産関連向け	—	—	—	—	—	—
	うち、自己居住用不動産等向け	—	—	—	—	—	—
	うち、賃貸用不動産向け	—	—	—	—	—	—
	うち、事業用不動産関連	—	—	—	—	—	—
	うち、その他不動産関連	—	—	—	—	—	—
	うち、ADC向け	—	—	—	—	—	—
10a	延滞等（自己居住用不動産等向けエクスポージャーを除く。）	302	—	302	—	303	100.36
10b	自己居住用不動産等向けエクスポージャーに係る延滞	—	—	—	—	—	—
11a	現金	0	—	0	—	—	0.00
11b	取立未済手形	18	—	18	—	3	20.00
	信用保証協会等による保証付	—	—	—	—	—	—
	株式会社地域経済活性化支援機構等による保証付	—	—	—	—	—	—
12	合計	228,031	48,098	227,068	4,809	339,263	146.31

2025年3月期（八十二銀行）

（単位：百万円、％）

CR4：標準的手法-信用リスク・エクスポージャーと信用リスク削減手法の効果

項番	資産クラス	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ
		CCF・信用リスク削減手法適用前のエクスポージャー	CCF・信用リスク削減手法適用後のエクスポージャー	CCF・信用リスク削減手法適用後のエクスポージャー	CCF・信用リスク削減手法適用後のエクスポージャー	信用リスク・アセットの額	リスク・ウェイトの加重平均値 (RWA density)
		オン・バランスシートの額	オフ・バランスシートの額	オン・バランスシートの額	オフ・バランスシートの額		
1a	日本国政府及び日本銀行向け	279,902	—	295,742	—	—	0.00
1b	外国の中央政府及び中央銀行向け	15	—	15	—	—	0.00
1c	国際決済銀行等向け	—	—	—	—	—	—
2a	我が国の地方公共団体向け	145,822	—	145,964	—	—	0.00
2b	外国の中央政府等以外の公共部門向け	—	—	—	—	—	—
2c	地方公共団体金融機構向け	15,839	—	—	—	—	—
2d	我が国の政府関係機関向け	103	20	1,916	2	191	10.00
2e	地方三公社向け	—	—	—	—	—	—
3	国際開発銀行向け	—	—	—	—	—	—
4	金融機関、第一種金融商品取引業者及び保険会社向け	23,303	—	23,303	—	7,284	31.26
	うち、第一種金融商品取引業者及び保険会社向け	3,652	—	3,652	—	1,095	30.00
5	カバード・ボンド向け	—	—	—	—	—	—
6	法人等向け（特定貸付債権向けを含む。）	107,363	54,289	105,997	6,352	93,363	83.10
	うち、特定貸付債権向け	—	—	—	—	—	—
7a	劣後債権及びその他資本性証券等	—	—	—	—	—	—
7b	株式等	153,142	—	152,746	—	198,570	130.00
8	中堅中小企業等向け及び個人向け	49,192	12,904	45,459	1,553	35,034	74.52
	うち、トランザクター向け	—	10,301	—	1,030	463	45.00
9	不動産関連向け	208,175	—	205,251	—	162,196	79.02
	うち、自己居住用不動産等向け	181,762	—	179,435	—	134,280	74.84
	うち、賃貸用不動産向け	20,882	—	20,424	—	21,977	107.60
	うち、事業用不動産関連	5,529	—	5,392	—	5,937	110.12
	うち、その他不動産関連	—	—	—	—	—	—
	うち、ADC向け	—	—	—	—	—	—
10a	延滞等（自己居住用不動産等向けエクスポージャーを除く。）	13,264	235	12,924	91	18,736	143.95
10b	自己居住用不動産等向けエクスポージャーに係る延滞	3,368	—	3,041	—	3,041	100.00
11a	現金	12,829	—	12,829	—	—	0.00
11b	取立未済手形	205	—	205	—	41	20.00
	信用保証協会等による保証付	55,518	598	55,518	59	2,577	4.64
	株式会社地域経済活性化支援機構等による保証付	—	—	—	—	—	—
12	合計	1,068,050	68,047	1,060,916	8,058	521,038	48.74

財務データ

自己資本の充実の状況

流動性に係る経営の健全性の状況

報酬等に関する開示事項

(8)第八面CR5a：標準的手法-資産クラス及びリスク・ウェイト別の信用リスク・エクスポージャー
(連結)

2026年3月期（八十二長野銀行）

(単位：百万円)

CR5a：標準的手法-資産クラス及びリスク・ウェイト別の信用リスク・エクスポージャー

項番	リスクウェイト 資産クラス	信用リスク・エクスポージャーの額（CCF・信用リスク削減手法適用後）									
		0%	20%	50%	100%	150%	その他	合計			
1a	日本国政府及び日本銀行向け	1,118	—	—	—	—	—	1,118			
1b	外国の中央政府及び中央銀行向け	3	—	—	—	—	—	3			
1c	国際決済銀行等向け	—	—	—	—	—	—	—			
		0%	10%	20%	50%	100%	150%	その他	合計		
2a	我が国の地方公共団体向け	422	—	—	—	—	—	—	422		
2b	外国の中央政府等以外の公共部門向け	—	—	—	—	—	—	—	—		
2c	地方公共団体金融機構向け	—	—	—	—	—	—	—	—		
2d	我が国の政府関係機関向け	—	200	—	—	—	—	—	200		
2e	地方三公社向け	—	—	—	—	—	—	—	—		
		0%	20%	30%	50%	100%	150%	その他	合計		
3	国際開発銀行向け	—	—	—	—	—	—	—	—		
		20%	30%	40%	50%	75%	100%	150%	その他	合計	
4	金融機関、第一種金融商品取引業者及び保険会社向け	11,004	—	—	—	2,231	13	—	—	13,250	
	うち、第一種金融商品取引業者及び保険会社向け	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		10%	15%	20%	25%	35%	50%	100%	その他	合計	
5	カバード・ボンド向け	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		20%	50%	75%	80%	85%	100%	130%	150%	その他	合計
6	法人等向け（特定貸付債権向けを含む。）	—	—	—	—	—	19,081	—	—	—	19,081
	うち、特定貸付債権向け	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		100%	150%	160%	220%	—	—	その他	合計		
7a	劣後債権及びその他資本性証券等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7b	株式等	—	—	—	197,479	—	—	—	—	197,479	
		45%	75%	100%	—	—	—	その他	合計		
8	中堅中小企業等向け及び個人向け	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		20%	25%	30%	40%	50%	70%	75%	その他	合計	
9a	不動産関連向け うち、自己居住用不動産等向け	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	うち、抵当権が第二順位以下で適格要件をみたすもの	20%	31.25%	37.50%	50%	62.50%	—	—	その他	合計	
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		30%	35%	45%	60%	75%	105%	150%	その他	合計	
9b	不動産関連向け うち、賃貸用不動産向け	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	うち、抵当権が第二順位以下で適格要件をみたすもの	30%	43.75%	56.25%	75%	93.75%	—	—	その他	合計	
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		70%	90%	110%	150%	—	—	—	その他	合計	
9c	不動産関連向け うち、事業用不動産関連	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	うち、抵当権が第二順位以下で適格要件をみたすもの	70%	112.50%	—	—	—	—	—	その他	合計	
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		60%	—	—	—	—	—	—	—	—	合計
9d	不動産関連向け うち、その他不動産関連	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	うち、抵当権が第二順位以下で適格要件をみたすもの	60%	—	—	—	—	—	—	—	—	合計
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		100%	150%	—	—	—	—	—	—	—	合計
9e	不動産関連向け うち、ADC向け	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		50%	100%	150%	—	—	—	—	—	—	合計
10a	延滞等（自己居住用不動産等向けエクスポージャーを除く。）	—	—	300	2	—	—	—	—	302	
10b	自己居住用不動産等向けエクスポージャーに係る延滞	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		0%	10%	20%	—	—	—	—	—	—	合計
11a	現金	0	—	—	—	—	—	—	—	0	
11b	取立未済手形	—	—	—	—	18	—	—	—	18	
	信用保証協会等による保証付	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	株式会社地域経済活性化支援機構等による保証付	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

2025年3月期（八十二銀行）

（単位：百万円）

CR5a：標準的手法-資産クラス及びリスク・ウェイト別の信用リスク・エクスポージャー

		信用リスク・エクスポージャーの額（CCF・信用リスク削減手法適用後）									
項番	リスクウェイト	0%	20%	50%	100%	150%	その他	合計			
	資産クラス										
1a	日本国政府及び日本銀行向け	295,742	—	—	—	—	—	295,742			
1b	外国の中央政府及び中央銀行向け	15	—	—	—	—	—	15			
1c	国際決済銀行等向け	—	—	—	—	—	—	—			
		0%	10%	20%	50%	100%	150%	その他	合計		
2a	我が国の地方公共団体向け	145,964	—	—	—	—	—	—	145,964		
2b	外国の中央政府等以外の公共部門向け	—	—	—	—	—	—	—	—		
2c	地方公共団体金融機構向け	—	—	—	—	—	—	—	—		
2d	我が国の政府関係機関向け	—	1,918	—	—	—	—	—	1,918		
2e	地方三公社向け	—	—	—	—	—	—	—	—		
		0%	20%	30%	50%	100%	150%	その他	合計		
3	国際開発銀行向け	—	—	—	—	—	—	—	—		
		20%	30%	40%	50%	75%	100%	150%	その他	合計	
4	金融機関、第一種金融商品取引業者及び保険会社向け	7,442	13,554	—	—	2,307	0	—	—	23,303	
	うち、第一種金融商品取引業者及び保険会社向け	—	3,652	—	—	—	—	—	—	3,652	
		10%	15%	20%	25%	35%	50%	100%	その他	合計	
5	カバード・ボンド向け	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		20%	50%	75%	80%	85%	100%	130%	150%	その他	合計
6	法人等向け（特定貸付債権向けを含む。）	953	23,945	1,848	—	38,588	47,014	—	—	—	112,349
	うち、特定貸付債権向け	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		100%	150%	130%	160%	—	—	—	—	—	合計
7a	劣後債権及びその他資本性証券等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7b	株式等	—	—	—	152,746	—	—	—	—	—	152,746
		45%	75%	100%	—	—	—	—	—	—	合計
8	中堅中小企業等向け及び個人向け	1,030	—	45,644	—	337	—	—	—	—	47,012
		20%	25%	30%	40%	50%	70%	75%	その他	合計	
9a	不動産関連向け うち、自己居住用不動産等向け	—	—	—	—	—	5,916	173,518	—	—	179,435
	うち、抵当権が第二順位以下で適格要件をみたすもの	—	31.25%	37.50%	50%	62.50%	—	—	—	—	合計
		20%	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		30%	35%	45%	60%	75%	105%	150%	その他	合計	
9b	不動産関連向け うち、賃貸用不動産向け	—	—	—	—	—	19,242	1,182	—	—	20,424
	うち、抵当権が第二順位以下で適格要件をみたすもの	—	30%	43.75%	56.25%	75%	93.75%	—	—	—	合計
		30%	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		70%	90%	110%	150%	—	—	—	—	—	合計
9c	不動産関連向け うち、事業用不動産関連	—	—	—	5,375	16	—	—	—	—	5,392
	うち、抵当権が第二順位以下で適格要件をみたすもの	—	70%	112.50%	—	—	—	—	—	—	合計
		70%	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		60%	—	—	—	—	—	—	—	—	合計
9d	不動産関連向け うち、その他不動産関連	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	うち、抵当権が第二順位以下で適格要件をみたすもの	—	60%	—	—	—	—	—	—	—	合計
		60%	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		100%	150%	—	—	—	—	—	—	—	合計
9e	不動産関連向け うち、ADC向け	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		50%	100%	150%	—	—	—	—	—	—	合計
10a	延滞等（自己居住用不動産等向けエクスポージャーを除く。）	754	64	—	12,196	—	—	—	—	—	13,015
10b	自己居住用不動産等向けエクスポージャーに係る延滞	—	3,041	—	—	—	—	—	—	—	3,041
		0%	10%	20%	—	—	—	—	—	—	合計
11a	現金	12,829	—	—	—	—	—	—	—	—	12,829
11b	取立未済手形	—	—	—	205	—	—	—	—	—	205
	信用保証協会等による保証付	29,803	25,775	—	—	—	—	—	—	—	55,578
	株式会社地域経済活性化支援機構等による保証付	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

財務データ

自己資本の充実の状況

流動性に係る経営の健全性の状況

報酬等に関する開示事項

(9)第八面の二CR5b：標準的手法-リスク・ウェイト区分別の信用リスク・エクスポージャーとCCF
(連結)

2026年3月期（八十二長野銀行）

(単位：百万円)

CR5b：標準的手法-リスク・ウェイト区分別の信用リスク・エクスポージャーとCCF

項番	リスク・ウェイト	イ オン・バランスシートの エクスポージャーの額	ロ オフ・バランスシートの エクスポージャーの額	ハ CCFの加重平均値	ニ 信用リスク・エクスポ ージャーの額（CCF・信用 リスク削減手法適用後）
1	40%未満	12,770	—	—	12,770
2	40%-70%	—	—	—	—
3	75%	2,231	—	—	2,231
	80%	—	—	—	—
4	85%	—	—	—	—
5	90%-100%	14,585	48,098	10	19,395
6	105%-130%	—	—	—	—
7	150%	2	—	—	2
8	160%	198,441	—	—	197,479
9	220%	—	—	—	—
10	1250%	—	—	—	—
11	合計	228,031	48,098	—	231,878

2025年3月期（八十二銀行）

(単位：百万円)

CR5b：標準的手法-リスク・ウェイト区分別の信用リスク・エクスポージャーとCCF

項番	リスク・ウェイト	イ オン・バランスシートの エクスポージャーの額	ロ オフ・バランスシートの エクスポージャーの額	ハ CCFの加重平均値	ニ 信用リスク・エクスポ ージャーの額（CCF・信用 リスク削減手法適用後）
1	40%未満	534,250	638	10	534,203
2	40%-70%	30,821	10,316	10	31,647
3	75%	227,181	2,516	20.54	223,318
	80%	—	—	—	—
4	85%	38,739	888	55.22	38,588
5	90%-100%	45,113	53,452	11	50,457
6	105%-130%	178,184	—	—	177,364
7	150%	13,757	235	38.92	13,394
8	250%	—	—	—	—
9	400%	—	—	—	—
10	1250%	—	—	—	—
11	合計	1,068,050	68,047	—	1,068,974

(10)第九面CR6：内部格付手法-ポートフォリオ及びデフォルト率（PD）区分別の信用リスク・エクスポージャー
（連結）

2026年3月期（八十二長野銀行）

（単位：百万円、%、千件、年）

CR6：内部格付手法-ポートフォリオ及びデフォルト率（PD）区分別の信用リスク・エクスポージャー

項番	PD区分	イ オン・バ ランスシ ート・グ ロスエク スポー ジャーの額	ロ CCF・ 信用リス ク削減手 法適用前 のオフ・ バランス シート・ エクスポ ージャー の額	ハ 平均 CCF	ニ CCF・ 信用リス ク削減手 法適用後 EAD	ホ 平均 PD	ヘ 債務者 の数	ト 平均 LGD	チ 平均 残存 期間	リ 信用リス ク・アセ ットの額	ヌ リスク・ ウェイト の加重 平均値 (RWA density)	ル EL	ヲ 適格 引当金
ソブリン向けエクスポージャー													
1	0.00以上0.15未満	5,050,741	160,909	10.00	5,262,514	0.00	3.6	44.99	2.4	94,788	1.80	64	
2	0.15以上0.25未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
3	0.25以上0.50未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
4	0.50以上0.75未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5	0.75以上2.50未満	9,192	2,950	40.00	6,255	1.16	0.0	45.00	1.4	5,242	83.80	32	
6	2.50以上10.00未満	4,710	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—	—	
7	10.00以上100.00未満	2,142	—	—	1,542	12.95	0.0	45.00	4.0	3,537	229.35	89	
8	100.00（デフォルト）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
9	小計	5,066,787	163,859	10.39	5,270,312	0.00	3.6	44.99	2.4	103,567	1.96	187	—
金融機関等向けエクスポージャー													
1	0.00以上0.15未満	250,077	14,052	31.59	252,270	0.05	0.1	50.63	2.7	87,331	34.61	72	
2	0.15以上0.25未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
3	0.25以上0.50未満	—	700	10.00	70	0.33	0.0	—	5.0	—	—	—	
4	0.50以上0.75未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5	0.75以上2.50未満	19,527	1,400	—	18,930	1.74	0.0	44.51	1.7	21,877	115.56	147	
6	2.50以上10.00未満	1,000	—	—	1,000	4.76	0.0	45.00	1.0	1,295	129.44	21	
7	10.00以上100.00未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8	100.00（デフォルト）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
9	小計	270,605	16,152	28.96	272,271	0.19	0.1	50.17	2.6	110,504	40.58	240	—
事業法人向けエクスポージャー（中堅中小企業向けエクスポージャー及び特定貸付債権を除く。）													
1	0.00以上0.15未満	2,724,446	1,018,945	36.23	2,810,167	0.06	1.2	41.26	2.8	657,588	23.40	713	
2	0.15以上0.25未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
3	0.25以上0.50未満	265,874	111,011	30.77	270,438	0.33	0.4	38.26	2.5	133,418	49.33	341	
4	0.50以上0.75未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5	0.75以上2.50未満	332,019	147,589	29.78	335,301	1.29	0.5	38.89	2.9	305,103	90.99	1,698	
6	2.50以上10.00未満	60,804	21,146	31.16	60,013	4.76	0.1	37.45	2.4	73,396	122.30	1,070	
7	10.00以上100.00未満	13,194	620	10.00	12,673	12.95	0.0	38.71	2.3	22,837	180.19	635	
8	100.00（デフォルト）	28,524	1,935	51.32	27,008	100.00	0.0	41.54	5.0	—	—	11,220	
9	小計	3,424,863	1,301,248	34.61	3,515,602	1.09	2.4	40.73	2.8	1,192,344	33.91	15,679	10,535
中堅中小企業向けエクスポージャー													
1	0.00以上0.15未満	166,809	92,518	35.02	142,965	0.10	1.4	35.67	3.1	33,133	23.17	52	
2	0.15以上0.25未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
3	0.25以上0.50未満	241,746	42,179	38.44	212,765	0.33	1.5	34.69	3.7	93,810	44.09	243	
4	0.50以上0.75未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5	0.75以上2.50未満	278,182	39,070	36.60	244,955	1.13	2.3	35.13	3.9	174,861	71.38	987	
6	2.50以上10.00未満	110,442	8,938	37.34	77,109	4.76	0.7	34.63	3.5	76,845	99.65	1,271	
7	10.00以上100.00未満	32,338	1,903	37.45	19,454	12.95	0.2	34.87	3.0	26,224	134.79	879	
8	100.00（デフォルト）	89,888	2,206	49.43	56,008	100.00	0.5	38.03	5.0	—	—	21,302	
9	小計	919,408	186,816	36.99	753,258	8.74	6.8	35.27	3.7	404,874	53.74	24,737	14,418
特定貸付債権													
1	0.00以上0.15未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
2	0.15以上0.25未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
3	0.25以上0.50未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
4	0.50以上0.75未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5	0.75以上2.50未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
6	2.50以上10.00未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
7	10.00以上100.00未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8	100.00（デフォルト）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
9	小計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(単位：百万円、%、千件、年)

		イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ
項番	PD区分	オン・パ ランスシ ート・グ ロスエ クスポ ーガー の額	CCF・ 信用リス ク削減手 法適用前 のオフ・ バランス シート・ エクスポ ーガー の額	平均 CCF	CCF・ 信用リス ク削減手 法適用後 EAD	平均 PD	債務者 の数	平均 LGD	平均 残存 期間	信用リス ク・アセ ットの額	リスク・ ウェイト の加重 平均値 (RWA density)	EL	適格 引当金
株式等エクスポージャー（PD/LGD方式が適用されるエクスポージャーに限る。）													
1	0.00以上0.15未満	525,438	—	—	525,438	0.05	0.0	90.00	5.0	1,052,954	200.39	—	—
2	0.15以上0.25未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	0.25以上0.50未満	5,340	—	—	5,340	0.33	0.0	90.00	5.0	9,630	180.34	13	—
4	0.50以上0.75未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	0.75以上2.50未満	4,864	—	—	4,864	1.70	0.0	90.00	5.0	14,728	302.76	70	—
6	2.50以上10.00未満	1,382	—	—	1,382	4.76	0.0	90.00	5.0	5,642	408.21	59	—
7	10.00以上100.00未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8	100.00（デフォルト）	62	—	—	62	100.00	0.0	90.00	5.0	704	1,125.00	56	—
9	小計	537,087	—	—	537,087	0.09	0.1	90.00	5.0	1,083,660	201.76	199	—
購入債権（事業法人等向け）デフォルト・リスク相当部分													
1	0.00以上0.15未満	14,375	—	—	14,326	0.06	0.0	40.47	1.0	1,713	11.95	3	—
2	0.15以上0.25未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	0.25以上0.50未満	3,897	—	—	3,827	0.33	0.0	40.00	1.0	1,399	36.55	5	—
4	0.50以上0.75未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	0.75以上2.50未満	2,764	—	—	2,764	1.54	0.0	40.00	1.0	2,104	76.14	17	—
6	2.50以上10.00未満	406	—	—	401	4.76	0.0	40.00	1.0	461	115.06	7	—
7	10.00以上100.00未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8	100.00（デフォルト）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	小計	21,444	—	—	21,318	0.39	0.0	40.31	1.0	5,679	26.63	33	—
購入債権（事業法人等向け）希薄化リスク相当部分													
1	0.00以上0.15未満	—	—	—	3,672	0.09	0.0	100.00	1.0	1,517	41.33	3	—
2	0.15以上0.25未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	0.25以上0.50未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	0.50以上0.75未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	0.75以上2.50未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6	2.50以上10.00未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	10.00以上100.00未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8	100.00（デフォルト）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	小計	—	—	—	3,672	0.09	0.0	100.00	1.0	1,517	41.33	3	—
購入債権（事業法人等向け）セラーのデフォルト・リスク相当部分													
1	0.00以上0.15未満	—	—	—	786	0.03	0.0	45.00	5.0	203	25.88	0	—
2	0.15以上0.25未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	0.25以上0.50未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	0.50以上0.75未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	0.75以上2.50未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6	2.50以上10.00未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	10.00以上100.00未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8	100.00（デフォルト）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	小計	—	—	—	786	0.03	0.0	45.00	5.0	203	25.88	0	—
購入債権（リテール向け）													
1	0.00以上0.15未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	0.15以上0.25未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	0.25以上0.50未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	0.50以上0.75未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	0.75以上2.50未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6	2.50以上10.00未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	10.00以上100.00未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8	100.00（デフォルト）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	小計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(単位：百万円、%、千件、年)													
		イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ
項番	PD区分	オン・バ ランスシ ート・グ ロスエク スポー ジャーの額	CCF・ 信用リス ク削減手 法適用前 のオフ・ バランス シート・ エクスポ ージャー の額	平均 CCF	CCF・ 信用リス ク削減手 法適用後 EAD	平均 PD	債務者 の数	平均 LGD	平均 残存 期間	信用リス ク・アセ ットの額	リスク・ ウェイト の加重 平均値 (RWA density)	EL	適格 引当金
適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー													
1	0.00以上0.15未満	4,592	85,606	31.41	31,476	0.10	130.5	93.26	—	1,815	5.76	30	
2	0.15以上0.25未満	1,101	2,607	31.42	1,918	0.23	7.6	65.22	—	149	7.79	2	
3	0.25以上0.50未満	8,249	29,862	63.22	27,116	0.46	43.8	77.52	—	4,376	16.13	96	
4	0.50以上0.75未満	350	6,085	31.29	2,254	0.59	10.9	100.00	—	573	25.42	13	
5	0.75以上2.50未満	8,021	2,143	74.63	20,406	1.24	31.3	77.06	—	7,101	34.80	196	
6	2.50以上10.00未満	11,719	11,210	95.56	12,105	5.65	27.2	78.15	—	12,415	102.56	533	
7	10.00以上100.00未満	127	15	94.15	24	57.00	0.0	81.17	—	52	214.55	11	
8	100.00 (デフォルト)	482	394	69.37	411	100.00	0.6	81.67	—	—	—	336	
9	小計	34,644	137,926	44.30	95,714	1.60	252.3	82.98	—	26,485	27.67	1,219	143
居住用不動産向けエクスポージャー													
1	0.00以上0.15未満	566,419	—	—	565,066	0.11	34.5	34.76	—	52,972	9.37	231	
2	0.15以上0.25未満	185,995	—	—	186,030	0.20	11.3	35.08	—	26,577	14.28	133	
3	0.25以上0.50未満	258,989	—	—	260,394	0.40	15.5	35.17	—	61,389	23.57	370	
4	0.50以上0.75未満	171,538	—	—	171,538	0.63	8.9	35.42	—	56,210	32.76	388	
5	0.75以上2.50未満	130,352	—	—	130,352	1.38	6.1	35.60	—	71,820	55.09	640	
6	2.50以上10.00未満	197,141	—	—	195,594	7.05	12.2	35.92	—	273,032	139.59	4,958	
7	10.00以上100.00未満	1,265	—	—	1,255	51.64	0.1	35.81	—	2,118	168.74	232	
8	100.00 (デフォルト)	12,994	—	—	12,837	100.00	0.9	35.63	—	—	—	4,882	
9	小計	1,524,695	—	—	1,523,068	2.11	89.7	35.17	—	544,120	35.72	11,837	1,285
その他リテール向けエクスポージャー (消費性向け)													
1	0.00以上0.15未満	—	—	—	85	0.10	0.2	71.41	—	15	18.71	0	
2	0.15以上0.25未満	—	—	—	201	0.19	0.4	71.41	—	56	27.98	0	
3	0.25以上0.50未満	48,519	1,805	99.99	50,420	0.31	15.9	48.37	—	13,259	26.29	76	
4	0.50以上0.75未満	11,300	617	99.99	13,144	0.60	5.9	57.59	—	6,067	46.16	46	
5	0.75以上2.50未満	17,326	856	99.99	18,757	1.35	8.2	56.06	—	11,611	61.90	142	
6	2.50以上10.00未満	22,078	360,801	100.00	11,277	7.24	7.0	68.35	—	12,008	106.47	564	
7	10.00以上100.00未満	272	—	—	261	61.41	0.0	33.63	—	196	75.14	53	
8	100.00 (デフォルト)	1,770	11	100.00	1,664	100.00	0.2	39.67	—	—	—	711	
9	小計	101,267	364,092	100.00	95,812	3.27	38.1	53.37	—	43,215	45.10	1,595	234
その他リテール向けエクスポージャー (事業性向け)													
1	0.00以上0.15未満	—	—	—	16,734	0.08	6.9	42.75	—	1,575	9.41	6	
2	0.15以上0.25未満	67,825	7,369	87.03	70,881	0.15	8.6	43.98	—	10,600	14.95	48	
3	0.25以上0.50未満	61,872	1,597	95.93	97,696	0.37	12.0	39.88	—	23,484	24.03	145	
4	0.50以上0.75未満	—	—	—	14	0.61	0.0	35.56	—	4	28.67	0	
5	0.75以上2.50未満	43,060	1,190	92.32	19,670	1.14	4.6	41.05	—	8,623	43.84	92	
6	2.50以上10.00未満	23,163	449	94.25	8,336	3.48	2.7	42.06	—	4,922	59.05	121	
7	10.00以上100.00未満	9,032	9	60.22	8,420	10.59	2.1	44.13	—	6,283	74.61	391	
8	100.00 (デフォルト)	19,098	90	96.54	6,635	100.00	1.2	42.31	—	—	—	2,986	
9	小計	224,053	10,707	89.62	228,389	3.73	38.5	41.77	—	55,495	24.29	3,791	1,802
合計 (全てのポートフォリオ)		12,124,857	2,180,803	32.22	12,317,296	1.22	432.0	44.35	2.8	3,571,667	28.99	59,526	28,420

2025年3月期（八十二銀行）

(単位：百万円、%、千件、年)

CR6：内部格付手法-ポートフォリオ及びデフォルト率（PD）区分別の信用リスク・エクスポージャー

項番	PD区分	イ オン・バ ランスシ ート・グ ロスエク スポー ジャーの額	ロ CCF・ 信用リス ク削減手 法適用前 のオフ・ バランス シート・ エクスポ ージャー の額	ハ 平均 CCF	ニ CCF・ 信用リス ク削減手 法適用後 EAD	ホ 平均 PD	ヘ 債務者 の数	ト 平均 LGD	チ 平均 残存 期間	リ 信用リス ク・アセ ットの額	ヌ リスク・ ウェイト の加重 平均値 (RWA density)	ル EL	ヲ 適格 引当金
ソブリン向けエクスポージャー													
1	0.00以上0.15未満	5,173,587	165,884	10.00	5,345,168	0.00	3.0	44.99	2.3	95,630	1.78	69	
2	0.15以上0.25未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
3	0.25以上0.50未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
4	0.50以上0.75未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5	0.75以上2.50未満	7,929	415	—	6,497	1.37	0.0	45.00	2.4	6,588	101.39	40	
6	2.50以上10.00未満	6,498	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—	—	
7	10.00以上100.00未満	229	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—	—	
8	100.00（デフォルト）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
9	小計	5,188,245	166,299	10.00	5,351,665	0.00	3.0	44.99	2.3	102,218	1.91	110	—
金融機関等向けエクスポージャー													
1	0.00以上0.15未満	299,638	11,884	27.01	300,957	0.05	0.1	49.77	2.4	94,927	31.54	84	
2	0.15以上0.25未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
3	0.25以上0.50未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
4	0.50以上0.75未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5	0.75以上2.50未満	66,787	1,350	10.00	66,792	1.83	0.0	44.77	1.0	77,190	115.56	551	
6	2.50以上10.00未満	1,000	—	—	1,000	4.76	0.0	45.00	1.0	1,294	129.45	21	
7	10.00以上100.00未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8	100.00（デフォルト）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
9	小計	367,425	13,234	26.83	368,750	0.39	0.1	48.85	2.2	173,412	47.02	657	—
事業法人向けエクスポージャー（中堅中小企業向けエクスポージャー及び特定貸付債権を除く。）													
1	0.00以上0.15未満	2,416,698	1,064,885	37.08	2,508,892	0.06	1.1	41.27	2.8	596,815	23.78	663	
2	0.15以上0.25未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
3	0.25以上0.50未満	228,075	102,990	24.22	229,368	0.30	0.3	38.18	2.4	107,414	46.83	267	
4	0.50以上0.75未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5	0.75以上2.50未満	261,741	130,025	25.85	265,194	1.20	0.5	38.87	2.7	230,615	86.96	1,248	
6	2.50以上10.00未満	26,726	8,860	33.38	25,721	4.76	0.0	38.84	2.2	32,115	124.85	475	
7	10.00以上100.00未満	14,758	544	25.36	14,450	12.91	0.0	38.88	2.6	26,504	183.42	725	
8	100.00（デフォルト）	29,106	1,969	29.65	27,780	100.00	0.0	41.36	5.0	—	—	11,491	
9	小計	2,977,107	1,309,275	34.62	3,071,408	1.18	2.2	40.81	2.8	993,464	32.34	14,872	10,566
中堅中小企業向けエクスポージャー													
1	0.00以上0.15未満	155,179	87,112	37.61	136,781	0.10	1.3	35.46	3.1	32,008	23.40	52	
2	0.15以上0.25未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
3	0.25以上0.50未満	206,613	38,464	31.17	182,187	0.30	1.3	35.21	3.6	78,062	42.84	195	
4	0.50以上0.75未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5	0.75以上2.50未満	238,173	39,947	43.40	212,907	1.10	2.0	35.33	3.9	150,192	70.54	832	
6	2.50以上10.00未満	93,330	9,750	42.52	65,255	4.76	0.6	34.72	3.4	65,862	100.93	1,079	
7	10.00以上100.00未満	24,660	843	25.71	14,420	12.91	0.2	35.25	3.4	20,504	142.19	656	
8	100.00（デフォルト）	74,742	2,106	44.76	47,397	100.00	0.4	37.84	5.0	—	—	17,936	
9	小計	792,699	178,225	38.44	658,949	8.41	6.1	35.44	3.7	346,630	52.60	20,752	10,197
特定貸付債権													
1	0.00以上0.15未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
2	0.15以上0.25未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
3	0.25以上0.50未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
4	0.50以上0.75未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5	0.75以上2.50未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
6	2.50以上10.00未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
7	10.00以上100.00未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8	100.00（デフォルト）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
9	小計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(単位：百万円、%、千件、年)													
		イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ
項番	PD区分	オン・バ ランスシ ート・グ ロスエク スポー ジャーの額	CCF・ 信用リス ク削減手 法適用前 のオフ・ バランス シート・ エクスポ ージャー の額	平均 CCF	CCF・ 信用リス ク削減手 法適用後 EAD	平均 PD	債務者 の数	平均 LGD	平均 残存 期間	信用リス ク・アセ ットの額	リスク・ ウェイト の加重 平均値 (RWA density)	EL	適格 引当金
株式等エクスポージャー（PD/LGD方式が適用されるエクスポージャーに限る。）													
1	0.00以上0.15未満	383,353	—	—	383,353	0.05	0.1	90.00	5.0	768,807	200.54	0	
2	0.15以上0.25未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
3	0.25以上0.50未満	6,248	—	—	6,248	0.30	0.0	90.00	5.0	15,743	251.97	6	
4	0.50以上0.75未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5	0.75以上2.50未満	5,815	—	—	5,815	1.07	0.0	90.00	5.0	15,171	260.86	53	
6	2.50以上10.00未満	16	—	—	16	4.76	0.0	90.00	5.0	65	387.08	0	
7	10.00以上100.00未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8	100.00（デフォルト）	83	—	—	83	100.00	0.0	90.00	5.0	937	1,125.00	75	
9	小計	395,517	—	—	395,517	0.09	0.2	90.00	5.0	800,725	202.45	135	
購入債権（事業法人等向け）デフォルト・リスク相当部分													
1	0.00以上0.15未満	28,420	—	—	28,395	0.07	0.0	40.07	1.0	3,792	13.35	8	
2	0.15以上0.25未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
3	0.25以上0.50未満	6,975	—	—	6,902	0.30	0.0	40.00	1.0	2,405	34.85	8	
4	0.50以上0.75未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5	0.75以上2.50未満	1,827	—	—	1,827	0.88	0.0	40.00	1.0	1,119	61.28	6	
6	2.50以上10.00未満	1,035	—	—	1,014	4.76	0.0	40.00	1.3	1,204	118.70	19	
7	10.00以上100.00未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8	100.00（デフォルト）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
9	小計	38,258	—	—	38,139	0.28	0.0	40.05	1.0	8,522	22.34	42	
購入債権（事業法人等向け）希薄化リスク相当部分													
1	0.00以上0.15未満	—	—	—	3,734	0.09	0.0	100.00	1.0	1,448	38.78	3	
2	0.15以上0.25未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
3	0.25以上0.50未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
4	0.50以上0.75未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5	0.75以上2.50未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
6	2.50以上10.00未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
7	10.00以上100.00未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8	100.00（デフォルト）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
9	小計	—	—	—	3,734	0.09	0.0	100.00	1.0	1,448	38.78	3	
購入債権（事業法人等向け）セラーのデフォルト・リスク相当部分													
1	0.00以上0.15未満	—	—	—	841	0.03	0.0	45.00	5.0	217	25.88	0	
2	0.15以上0.25未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
3	0.25以上0.50未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
4	0.50以上0.75未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5	0.75以上2.50未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
6	2.50以上10.00未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
7	10.00以上100.00未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8	100.00（デフォルト）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
9	小計	—	—	—	841	0.03	0.0	45.00	5.0	217	25.88	0	
購入債権（リテール向け）													
1	0.00以上0.15未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
2	0.15以上0.25未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
3	0.25以上0.50未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
4	0.50以上0.75未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5	0.75以上2.50未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
6	2.50以上10.00未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
7	10.00以上100.00未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8	100.00（デフォルト）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
9	小計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

(単位：百万円、%、千件、年)

項番	PD区分	イ オン・バ ランスシ ート・グ ロスエ クスポ ーガー の額	ロ CCF・ 信用リス ク削減手 法適用前 のオフ・ バランス シート・ エクスポ ーガー の額	ハ 平均 CCF	ニ CCF・ 信用リス ク削減手 法適用後 EAD	ホ 平均 PD	ヘ 債務者 の数	ト 平均 LGD	チ 平均 残存 期間	リ 信用リス ク・アセ ットの額	ヌ リスク・ ウェイト の加重 平均値 (RWA density)	ル EL	ヲ 適格 引当金
適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー													
1	0.00以上0.15未満	3,491	85,448	31.78	30,637	0.10	134.7	92.60	—	1,752	5.72	29	
2	0.15以上0.25未満	1,162	2,800	31.84	2,053	0.23	8.1	65.26	—	164	7.99	3	
3	0.25以上0.50未満	7,717	28,592	60.95	25,132	0.46	43.5	77.46	—	4,092	16.28	90	
4	0.50以上0.75未満	287	6,260	31.73	2,274	0.59	11.9	100.00	—	582	25.59	13	
5	0.75以上2.50未満	7,654	2,205	66.32	19,222	1.25	30.7	76.95	—	6,708	34.90	185	
6	2.50以上10.00未満	9,777	1,039	99.58	1,128	4.47	6.3	83.72	—	1,037	91.92	41	
7	10.00以上100.00未満	158	22	78.20	20	59.73	0.0	85.61	—	46	223.35	10	
8	100.00 (デフォルト)	370	305	51.05	259	100.00	0.4	84.20	—	—	—	218	
9	小計	30,620	126,674	39.57	80,729	0.90	236.0	83.52	—	14,384	17.81	592	137
居住用不動産向けエクスポージャー													
1	0.00以上0.15未満	559,412	—	—	558,360	0.12	34.7	35.25	—	53,768	9.62	236	
2	0.15以上0.25未満	182,053	—	—	182,045	0.20	11.3	35.64	—	26,906	14.78	135	
3	0.25以上0.50未満	261,847	—	—	261,840	0.40	15.8	35.73	—	62,934	24.03	379	
4	0.50以上0.75未満	161,747	—	—	211,640	0.62	10.4	36.17	—	69,540	32.85	477	
5	0.75以上2.50未満	120,267	—	—	77,980	1.41	4.3	36.01	—	44,169	56.64	397	
6	2.50以上10.00未満	18,944	—	—	11,694	4.96	0.9	36.10	—	13,660	116.80	209	
7	10.00以上100.00未満	1,145	—	—	1,030	52.56	0.0	36.23	—	1,730	167.87	196	
8	100.00 (デフォルト)	8,767	—	—	8,524	100.00	0.6	36.15	—	—	—	3,335	
9	小計	1,314,186	—	—	1,313,117	1.08	78.3	35.61	—	272,710	20.76	5,368	762
その他リテール向けエクスポージャー (消費性向け)													
1	0.00以上0.15未満	—	—	—	68	0.11	0.2	71.14	—	13	19.08	0	
2	0.15以上0.25未満	—	—	—	76	0.19	0.1	71.14	—	21	28.25	0	
3	0.25以上0.50未満	50,066	1,689	190.21	53,063	0.31	15.2	47.21	—	13,747	25.90	79	
4	0.50以上0.75未満	11,019	618	310.96	12,899	0.60	5.0	55.36	—	5,701	44.20	43	
5	0.75以上2.50未満	16,213	851	358.30	19,188	1.35	6.9	55.92	—	11,822	61.61	144	
6	2.50以上10.00未満	10,132	294,351	450.69	2,289	5.35	0.6	48.70	—	1,661	72.54	59	
7	10.00以上100.00未満	133	—	—	132	61.99	0.0	25.77	—	78	59.07	19	
8	100.00 (デフォルト)	1,943	6	451.15	1,969	100.00	0.1	35.30	—	—	—	704	
9	小計	89,508	297,517	264.09	89,687	2.98	28.3	50.03	—	33,045	36.84	1,051	185
その他リテール向けエクスポージャー (事業性向け)													
1	0.00以上0.15未満	62,642	7,015	88.29	74,574	0.13	10.1	45.52	—	10,383	13.92	45	
2	0.15以上0.25未満	—	—	—	5,785	0.20	2.2	43.34	—	1,019	17.62	5	
3	0.25以上0.50未満	52,015	1,418	95.55	83,190	0.36	10.3	41.98	—	20,751	24.94	127	
4	0.50以上0.75未満	—	—	—	68	0.51	0.0	37.73	—	18	27.57	0	
5	0.75以上2.50未満	48,788	1,589	92.98	21,927	1.31	5.1	43.52	—	10,535	48.04	126	
6	2.50以上10.00未満	20,406	189	92.78	12,993	8.04	3.8	44.62	—	9,296	71.55	473	
7	10.00以上100.00未満	72	—	—	42	55.06	0.0	42.62	—	44	105.48	9	
8	100.00 (デフォルト)	15,207	106	99.38	5,153	100.00	0.9	44.67	—	—	—	2,510	
9	小計	199,131	10,319	90.62	203,736	3.40	32.7	43.72	—	52,050	25.54	3,299	1,370
合計 (全てのポートフォリオ)		11,392,701	2,101,546	31.65	11,576,276	1.02	387.2	44.22	2.6	2,798,831	24.17	46,886	23,221

(注1) 「特定貸付債権」については、PDではなくスロットティング・クライテリア方式 (CR10に記載) を適用しております。また、「購入債権 (リテール向け)」については、エクスポージャーを保有していません。

(注2) 信用リスク削減手法により保証人PDを用いてリスク・アセット計算した場合 (保証で全額カバーされている場合) は、保証人PDに基づき保証人に係るポートフォリオへ記載しております。但し、債務者の数 (ヘ欄) については、原債務者と保証人をそれぞれ1件として記載しております。

(注3) 保証で一部のみカバーしている場合は、原債務者のリスク・アセットに係る部分については原債務者PDに基づき原債務者に係るポートフォリオへ、保証人のリスク・アセットに係る部分については保証人PDに基づき保証人に係るポートフォリオへそれぞれ記載しております。この場合、債務者の数 (ヘ欄) について原債務者と保証人をそれぞれ1件として記載しております。

(注4) 「購入債権 (事業法人等向け)」について、オン・バランスシート・グロスエクスポージャーの額 (イ欄) は、「購入債権 (事業法人等向け) デフォルト・リスク相当部分」にまとめて記載しております。

(注5)「購入債権（事業法人等向け）希薄化リスク相当部分」については、リスク・アセット計算上、ELdilutionではなく譲渡人PDを用いているため、当該譲渡人のPD区分に基づき記載しております。

(注6) リテール向けエクスポージャーについては、保証による信用リスク削減効果はPDを調整することで勘案しているため（以下「調整後PD」という）、オン・バランスシート・グロスエクスポージャーの額（イ欄）から平均CCF（ハ欄）までについては、原債務者PDに基づき記載し、CCF・信用リスク削減手法適用後EAD（ニ欄）からEL（ル欄）については、調整後PDに基づき記載しております。

(注7) リテール向けエクスポージャーのPD推計は債権ごとに行っているため、債務者の数（ヘ欄）は債権の数を記載しております。但し、その他リテール向けエクスポージャー（事業性向け）のPD推計は債務者ごとに行っているため、債務者の数を記載しております。

(1)第十面CR7：内部格付手法-信用リスク削減手法として用いられるクレジット・デリバティブが信用リスク・アセットの額に与える影響

信用リスク削減手法として用いられたクレジット・デリバティブはありません。

(12)第十一面CR8：内部格付手法を適用した信用リスク・エクスポージャーのリスク・アセット変動表

（連結）

2026年3月期（八十二長野銀行）

（単位：百万円）

CR8：内部格付手法を適用した信用リスク・エクスポージャーのリスク・アセット変動表

項番		信用リスク・アセットの額
1	前期末時点における信用リスク・アセットの額	2,874,407
2	当期中の要因別の変動額	資産の規模
3		ポートフォリオの質
4		モデルの更新
5		手法及び方針
6		買収又は売却
7		為替の変動
8		合併による内部格付手法の適用対象の変動
9	当期末時点における信用リスク・アセットの額	3,690,487

2025年3月期（八十二銀行）

（単位：百万円）

CR8：内部格付手法を適用した信用リスク・エクスポージャーのリスク・アセット変動表

項番		信用リスク・アセットの額
1	前期末時点における信用リスク・アセットの額	2,845,676
2	当期中の要因別の変動額	資産の規模
3		ポートフォリオの質
4		モデルの更新
5		手法及び方針
6		買収又は売却
7		為替の変動
8		その他
9	当期末時点における信用リスク・アセットの額	2,874,407

(13)第十二面CR9：内部格付手法-ポートフォリオ別のデフォルト率（PD）のバック・テスト

（連結）

2026年3月期（八十二長野銀行）

（単位：％、件）

CR9：内部格付手法-ポートフォリオ別のデフォルト率（PD）のバック・テスト

ポートフォリオ	PD区分	相当する外部格付					加重平均 PD (EAD加重)	相加平均 PD (債務者別)	債務者の数		期中にデ フォルト した債務 者の数	うち、期中 にデフォルト した新たな 債務者の 数	過去の年 平均デフ ォルト率 (5年間)
		S&P	Moody's	Fitch	R&I	JCR			前期末	当期末			
ソブリン向け エクスポージャー	0.00 以上 100.00未満	AAA ~ B	Aa1 ~ Caa1	—	AA+ ~ BBB+	AAA ~ A+	0.01	0.30	226	225	0	0	0.00
金融機関等向け エクスポージャー	0.00 以上 100.00未満	AA ~ BBB	Aa2 ~ B2	—	AA+ ~ BBB	AAA ~ BBB+	0.19	0.15	131	130	0	0	0.00
事業法人向け エクスポージャー (特定貸付債権を除く)	0.00 以上 0.10 未 満	A+ ~ BBB	Aa2 ~ Baa3	—	AAA ~ BBB	AAA~ BBB	0.05	0.05	639	616	0	0	0.00
購入債権 (事業法人等向け)	0.10 以上 0.50 未 満	—	—	—	AA+ ~ BBB	AA ~ BB+	0.20	0.21	3,846	4,142	11	0	0.22
株式等エクスポージャー (PD/LGD方式が 適用されるエク スポージャーに限る。)	0.50 以上 1.50 未 満	—	A2	—	AA-	—	0.92	0.92	1,895	2,080	20	1	0.66
	1.50 以上 10.00未満	BB+ ~ BB-	—	—	BBB+ ~ BB+	BBB+	3.28	3.82	1,171	1,391	40	5	3.04
	10.00以上 100.00未満	—	—	—	A-	—	12.95	12.95	274	316	31	1	12.06
特定貸付債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
購入債権 (リテール向け)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
適格リボルビング 型リテール向け エクスポージャー	0.00 以上 0.10 未 満	/	/	/	/	/	0.05	0.05	22,666	21,770	9	0	0.02
	0.10 以上 0.50 未 満	/	/	/	/	/	0.27	0.20	163,767	160,279	212	13	0.14
	0.50 以上 1.50 未 満	/	/	/	/	/	1.05	0.88	19,719	18,563	144	12	0.36
	1.50 以上 10.00未満	/	/	/	/	/	4.43	4.45	28,738	50,366	1,075	101	2.39
	10.00以上 100.00未満	/	/	/	/	/	75.44	73.58	288	257	170	0	56.69
居住用不動産向け エクスポージャー	0.00 以上 0.10 未 満	/	/	/	/	/	—	—	—	—	—	—	—
	0.10 以上 0.50 未 満	/	/	/	/	/	0.20	0.20	61,918	61,124	68	0	0.08
	0.50 以上 1.50 未 満	/	/	/	/	/	0.95	0.94	14,577	15,086	63	0	0.19
	1.50 以上 10.00未満	/	/	/	/	/	7.05	7.11	1,152	12,282	64	8	1.11
	10.00以上 100.00未満	/	/	/	/	/	51.79	51.72	82	104	55	11	44.88
その他リテール向け エクスポージャー (消費性向け)	0.00 以上 0.10 未 満	/	/	/	/	/	—	—	—	—	—	—	—
	0.10 以上 0.50 未 満	/	/	/	/	/	0.31	0.31	15,303	15,740	28	2	0.16
	0.50 以上 1.50 未 満	/	/	/	/	/	0.88	0.86	10,767	11,013	78	6	0.51
	1.50 以上 10.00未満	/	/	/	/	/	6.87	7.37	2,098	11,005	81	25	1.89
	10.00以上 100.00未満	/	/	/	/	/	61.06	58.95	33	48	21	5	49.28
その他リテール向け エクスポージャー (事業性向け)	0.00 以上 0.10 未 満	/	/	/	/	/	—	—	—	—	—	—	—
	0.10 以上 0.50 未 満	/	/	/	/	/	0.28	0.29	11,500	12,621	42	2	0.30
	0.50 以上 1.50 未 満	/	/	/	/	/	1.05	1.03	4,245	4,274	81	8	1.31
	1.50 以上 10.00未満	/	/	/	/	/	3.00	2.84	6,863	5,553	227	9	3.64
	10.00以上 100.00未満	/	/	/	/	/	11.05	10.98	37	2,143	15	1	44.26

CR9：内部格付手法-ポートフォリオ別のデフォルト率（PD）のバック・テスト

イ	ロ	ハ					ニ	ホ	ヘ		ト	チ	リ
		相当する外部格付							債務者の数				
		S&P	Moody's	Fitch	R&I	JCR			前期末	当期末			
ポートフォリオ	PD区分						加重平均 PD (EAD加重)	相加平均 PD (債務者別)			期中にデ フォルト した債務 者の数	うち、期中 にデフォルトした新たな債務者の数	過去の年 平均デフ ォルト率 (5年間)
ソブリン向け エクスポージャー	0.00 以上 100.00未満	AAA ~ B-	Aaa ~ Caa1	—	AAA ~ BBB+	AAA ~ A+	0.01	0.25	224	226	0	0	0.00
金融機関等向け エクスポージャー	0.00 以上 100.00未満	AA ~ BBB	Aa2 ~ Baa2	—	AA+ ~ BBB	AAA ~ BBB+	0.39	0.12	140	131	0	0	0.00
事業法人向け エクスポージャー	0.00 以上 0.10 未満	AA+ ~ BB	Aaa ~ Baa3	—	AAA ~ BBB+	AAA ~ BBB	0.05	0.05	692	639	0	0	0.00
購入債権 (事業法人等向け)	0.10 以上 0.50 未満	A+ ~ BBB-	—	—	AA+ ~ BBB	A+ ~ BBB	0.18	0.19	3,741	3,846	14	0	0.29
	0.50 以上 1.50 未満	—	A2	—	AA-	—	0.92	0.92	1,800	1,895	13	0	0.75
株式等エクスポージャー (PD/LGD方式が 適用されるエク スポージャーに限る。)	1.50 以上 10.00未満	—	—	—	BBB	BBB+ ~ BB	3.43	3.86	1,174	1,171	39	2	3.13
	10.00以上 100.00未満	—	—	—	A-	—	12.91	12.91	282	274	33	2	13.74
特定貸付債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
購入債権 (リテール向け)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
適格リボルビング 型リテール向け エクスポージャー	0.00 以上 0.10 未満						0.05	0.05	23,280	22,666	4	0	0.02
	0.10 以上 0.50 未満						0.27	0.20	166,620	163,767	192	18	0.14
	0.50 以上 1.50 未満						1.06	0.88	20,058	19,719	145	23	0.33
	1.50 以上 10.00未満						3.59	3.50	27,885	28,738	1,042	127	2.17
	10.00以上 100.00未満						77.58	75.69	213	288	129	1	56.35
居住用不動産向け エクスポージャー	0.00 以上 0.10 未満						—	—	—	—	—	—	—
	0.10 以上 0.50 未満						0.21	0.20	62,352	61,918	63	0	0.08
	0.50 以上 1.50 未満						0.97	0.95	14,215	14,577	46	0	0.19
	1.50 以上 10.00未満						4.74	4.96	1,170	1,152	36	6	1.07
	10.00以上 100.00未満						53.18	51.58	79	82	40	5	43.04
その他リテール向け エクスポージャー (消費性向け)	0.00 以上 0.10 未満						—	—	—	—	—	—	—
	0.10 以上 0.50 未満						0.31	0.31	15,497	15,303	33	2	0.16
	0.50 以上 1.50 未満						0.88	0.87	8,780	10,767	48	1	0.50
	1.50 以上 10.00未満						3.62	3.53	4,166	2,098	92	2	1.85
	10.00以上 100.00未満						62.00	59.34	18	33	13	3	49.58
その他リテール向け エクスポージャー (事業性向け)	0.00 以上 0.10 未満						—	—	—	—	—	—	—
	0.10 以上 0.50 未満						0.27	0.28	11,818	11,500	47	4	0.29
	0.50 以上 1.50 未満						1.03	1.03	4,245	4,245	78	2	1.21
	1.50 以上 10.00未満						4.75	5.01	6,522	6,863	207	5	3.28
	10.00以上 100.00未満						53.84	54.14	39	37	6	0	37.93

(注1) CR9への記載は、内部格付制度およびプール区分制度を適用している全債務者を対象としております（PD100%は除く）。また、自己資本比率規制上の連結対象子会社も含めて含んでおります。

(注2) 「ソブリン向けエクスポージャー」および「金融機関等向けエクスポージャー」については対象先が少ないため、PD区分を集約しております。

(注3) 「購入債権（事業法人等向け）」および「株式等エクスポージャー（PD/LGD方式が適用されるエクスポージャーに限る。）」については対象先が少なく、かつ「事業法人向けエクスポージャー（特定貸付債権を除く。）」と同一のPDを適用しているため、3つのポートフォリオを統合しております。また、統合した事業法人向けエクスポージャーおよびリテール向けエクスポージャーについては、PDの水準等を参考に5つのPD区分を設定し、それに合わせて内部格付およびプール区分を集約しております。

(注4) 「特定貸付債権」については、PDではなくスロットティング・クライテリア方式（CR10に記載）を適用しております。また、「購入債権（リテール向け）」については、エクスポージャーを保有していません。

(注5) ハ欄については、債務者に付与されている外部格付を記載しております。但し、Fitchは内部格付制度上使用しないため、記載していません。

(注6) リテール向けエクスポージャーのPD推計は債権ごとに行っているため、ヘ～チ欄には債務者の数ではなく債権の数を記載しております。但し、その他リテール向けエクスポージャー（事業性向け）のPD推計は債務者ごとに行っているため、債務者の数を記載しております。

(4)第十三面CR10：内部格付手法-特定貸付債権（スロットティング・クライテリア方式）

〈連結〉

2026年3月期（八十二長野銀行）

（単位：百万円、％）

CR10：内部格付手法-特定貸付債権（スロットティング・クライテリア方式）

イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ
特定貸付債権（スロットティング・クライテリア方式）											
ポラティリティの高い事業用不動産向け貸付け（HVCRE）以外											
規制上の区分	残存期間	オン・ バランス シートの額	オフ・ バランス シートの額	リスク・ ウェイト	エクスポージャーの額（EAD）					信用リスク・ アセットの額	期待損失
					PF	OF	CF	IPRE	合計		
優（Strong）	2.5年未満	260	—	50%	—	260	—	—	260	130	—
	2.5年以上	5,381	—	70%	1,677	3,704	—	—	5,381	3,767	21
良（Good）	2.5年未満	4,231	1,865	70%	1,931	—	—	3,046	4,977	3,484	19
	2.5年以上	92,452	3,000	90%	75,525	—	—	18,126	93,652	84,287	749
可（Satisfactory）		12,382	21,079	115%	18,350	338	—	2,125	20,814	23,936	582
弱い（Weak）		—	—	250%	—	—	—	—	—	—	—
デフォルト（Default）		764	117	—	811	—	—	—	811	—	405
合計		115,473	26,062	—	98,296	4,303	—	23,298	125,898	115,605	1,779
ポラティリティの高い事業用不動産向け貸付け（HVCRE）											
規制上の区分	残存期間	オン・ バランス シートの額	オフ・ バランス シートの額	リスク・ ウェイト					エクスポ ージャーの額 （EAD）	信用リスク・ アセットの額	期待損失
優（Strong）	2.5年未満	—	—	70%					—	—	—
	2.5年以上	—	—	95%					—	—	—
良（Good）	2.5年未満	—	728	95%					291	276	1
	2.5年以上	1,271	—	120%					1,271	1,525	5
可（Satisfactory）		745	656	140%					1,008	1,411	28
弱い（Weak）		—	—	250%					—	—	—
デフォルト（Default）		—	—	—					—	—	—
合計		2,017	1,385	—					2,571	3,214	34

2025年3月期（八十二銀行）

（単位：百万円、％）

CR10：内部格付手法-特定貸付債権（スロットティング・クライテリア方式）

イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ
特定貸付債権（スロットティング・クライテリア方式）											
ボラティリティの高い事業用不動産向け貸付け（HVCRE）以外											
規制上の区分	残存期間	オン・ バランス シートの額	オフ・ バランス シートの額	リスク・ ウェイト	エクスポージャーの額（EAD）					信用リスク・ アセットの額	期待損失
					PF	OF	CF	IPRE	合計		
優（Strong）	2.5年未満	433	—	50%	—	433	—	—	433	216	—
	2.5年以上	1,685	—	70%	841	844	—	—	1,685	1,179	6
良（Good）	2.5年未満	1,496	2,647	70%	2,555	—	—	—	2,555	1,788	10
	2.5年以上	53,107	—	90%	43,975	—	—	9,131	53,107	47,796	424
可（Satisfactory）		11,063	20,243	115%	18,575	585	—	—	19,161	22,035	536
弱い（Weak）		—	—	250%	—	—	—	—	—	—	—
デフォルト（Default）		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計		67,787	22,891	—	65,948	1,863	—	9,131	76,943	73,017	978
ボラティリティの高い事業用不動産向け貸付け（HVCRE）											
規制上の区分	残存期間	オン・ バランス シートの額	オフ・ バランス シートの額	リスク・ ウェイト					エクスポー ジャーの額 （EAD）	信用リスク・ アセットの額	期待損失
優（Strong）	2.5年未満	—	—	70%					—	—	—
	2.5年以上	—	—	95%					—	—	—
良（Good）	2.5年未満	—	1,433	95%					573	544	2
	2.5年以上	566	—	120%					566	680	2
可（Satisfactory）		651	750	140%					951	1,332	26
弱い（Weak）		—	—	250%					—	—	—
デフォルト（Default）		—	—	—					—	—	—
合計		1,218	2,183	—					2,091	2,557	31

財務データ

自己資本の充実の状況

流動性に係る経営の健全性の状況

報酬等に関する開示事項

(15)第十四面CCR1：手法別のカウンターパーティ信用リスク・エクスポージャー額

(連結)

2026年3月期（八十二長野銀行）

(単位：百万円)

CCR1：手法別のカウンターパーティ信用リスク・エクスポージャー額

項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ
		RC	PFE	実効EPE	規制上のエク スポージャー の算定に使用 される α	信用リスク削 減手法適用後 のエクスポ ージャー	リスク・ア セットの額
1	SA-CCR	3,937	11,709		1.4	22,343	4,386
	カレント・エクスポージャー方式	—	—			—	—
2	期待エクスポージャー方式			—	—	—	—
3	信用リスク削減手法における簡便手法					—	—
4	信用リスク削減手法における包括的手法					1,965,830	27,258
5	エクスポージャー変動推計モデル					—	—
6	合計						31,644

2025年3月期（八十二銀行）

(単位：百万円)

CCR1：手法別のカウンターパーティ信用リスク・エクスポージャー額

項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ
		RC	PFE	実効EPE	規制上のエク スポージャー の算定に使用 される α	信用リスク削 減手法適用後 のエクスポ ージャー	リスク・ア セットの額
1	SA-CCR	8,598	11,459		1.4	28,588	9,505
	カレント・エクスポージャー方式	—	—			—	—
2	期待エクスポージャー方式			—	—	—	—
3	信用リスク削減手法における簡便手法					—	—
4	信用リスク削減手法における包括的手法					2,260,045	32,076
5	エクスポージャー変動推計モデル					—	—
6	合計						41,582

(6)第十五面CVA1：限定的なBA-CVA

2026年3月期（八十二長野銀行）

(単位：百万円)

CVA1：限定的なBA-CVA			
項番		イ	ロ
		構成要素の額	BA-CVAによるCVAリスク相当額
1	CVAリスクのうち取引先共通の要素	2,805	
2	CVAリスクのうち取引先固有の要素	751	
3	合計		1,005

2025年3月期（八十二銀行）

(単位：百万円)

CVA1：限定的なBA-CVA			
項番		イ	ロ
		構成要素の額	BA-CVAによるCVAリスク相当額
1	CVAリスクのうち取引先共通の要素	3,931	
2	CVAリスクのうち取引先固有の要素	878	
3	合計		1,370

(7)第十五面の二CVA2：完全なBA-CVA

当行は、完全なBA-CVAを用いてCVAリスク相当額を算出しておりません。

(8)第十五面の三CVA3：SA-CVAのリスク・アセットの額と取引相手方の先数

当行は、SA-CVAを用いてCVAリスク相当額を算出しておりません。

(9)第十五面の四CVA4：CVAリスク・エクスポージャーのリスク・アセット変動表

当行は、SA-CVAを用いてCVAリスク相当額を算出しておりません。

(20)第十六面CCR3：業種別及びリスク・ウェイト別のカウンターパーティ信用リスク・エクスポージャー

2026年3月期（八十二長野銀行）

標準的手法を適用するカウンターパーティ信用リスク・エクスポージャーはありません。

(連結)

2025年3月期（八十二銀行）

(単位：百万円)

CCR3：業種別及びリスク・ウェイト別のカウンターパーティ信用リスク・エクスポージャー										
項番	業種	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ
		与信相当額（信用リスク削減効果勘案後）								
	リスク・ウェイト	0%	10%	20%	50%	75%	100%	150%	その他	合計
1	日本国政府及び日本銀行向け	4,876	—	—	—	—	—	—	—	4,876
2	外国の中央政府及び中央銀行向け	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	国際決済銀行等向け	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	我が国の地方公共団体向け	2	—	—	—	—	—	—	—	2
5	外国の中央政府等以外の公共部門向け	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6	国際開発銀行向け	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	地方公共団体金融機構向け	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8	我が国の政府関係機関向け	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	地方三公社向け	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	金融機関、第一種金融商品取引業者及び保険会社向け	—	—	250	—	—	—	—	—	250
11	法人等向け	—	—	—	—	—	279	—	—	279
12	中小企業等向け及び個人向け	—	—	—	—	—	—	—	—	—
13	上記以外	—	—	—	—	—	—	—	—	—
14	合計	4,878	—	250	—	—	279	—	—	5,408

(2)第十七面CCR4：内部格付手法-ポートフォリオ別及びPD区分別のカウンターパーティ信用リスク・エクスポージャー
(連結)

2026年3月期（八十二長野銀行）

(単位：百万円、%、千件、年)

CCR4：内部格付手法-ポートフォリオ別及びPD区分別のカウンターパーティ信用リスク・エクスポージャー

		イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト
項番	PD区分	EAD（信用 リスク削減 効果勘案 後）	平均PD	取引相手 方の数	平均LGD	平均残存期間	信用リスク・ アセット	リスク・ ウェイトの 加重平均値 (RWA density)
ソブリン向けエクスポージャー								
1	0.00以上0.15未満	1,848,845	0.00	0.0	45.00	4.1	0	0.00
2	0.15以上0.25未満	—	—	—	—	—	—	—
3	0.25以上0.50未満	—	—	—	—	—	—	—
4	0.50以上0.75未満	—	—	—	—	—	—	—
5	0.75以上2.50未満	—	—	—	—	—	—	—
6	2.50以上10.00未満	—	—	—	—	—	—	—
7	10.00以上100.00未満	—	—	—	—	—	—	—
8	100.00（デフォルト）	—	—	—	—	—	—	—
9	小計	1,848,845	0.00	0.0	45.00	4.1	0	0.00
金融機関等向けエクスポージャー								
1	0.00以上0.15未満	122,531	0.05	0.0	45.00	1.0	20,442	16.68
2	0.15以上0.25未満	—	—	—	—	—	—	—
3	0.25以上0.50未満	—	—	—	—	—	—	—
4	0.50以上0.75未満	—	—	—	—	—	—	—
5	0.75以上2.50未満	9,127	1.16	0.0	45.00	1.0	9,074	99.42
6	2.50以上10.00未満	—	—	—	—	—	—	—
7	10.00以上100.00未満	—	—	—	—	—	—	—
8	100.00（デフォルト）	—	—	—	—	—	—	—
9	小計	131,658	0.13	0.0	45.00	1.0	29,516	22.41
事業法人向けエクスポージャー								
1	0.00以上0.15未満	3,862	0.08	0.0	41.03	1.0	588	15.24
2	0.15以上0.25未満	—	—	—	—	—	—	—
3	0.25以上0.50未満	989	0.33	0.0	39.97	1.0	361	36.53
4	0.50以上0.75未満	—	—	—	—	—	—	—
5	0.75以上2.50未満	438	1.64	0.0	40.00	1.0	343	78.42
6	2.50以上10.00未満	212	4.76	0.0	40.00	1.0	244	115.06
7	10.00以上100.00未満	—	—	—	—	—	—	—
8	100.00（デフォルト）	4	100.00	0.0	40.00	1.0	—	—
9	小計	5,508	0.52	0.1	40.72	1.0	1,539	27.94
中堅中小企業向けエクスポージャー								
1	0.00以上0.15未満	596	0.10	0.0	39.87	1.0	86	14.50
2	0.15以上0.25未満	—	—	—	—	—	—	—
3	0.25以上0.50未満	495	0.33	0.0	38.03	1.0	149	30.26
4	0.50以上0.75未満	—	—	—	—	—	—	—
5	0.75以上2.50未満	467	0.77	0.0	40.00	1.0	253	54.25
6	2.50以上10.00未満	58	4.76	0.0	39.55	1.0	56	95.67
7	10.00以上100.00未満	0	12.95	0.0	40.00	1.0	0	161.80
8	100.00（デフォルト）	—	—	—	—	—	—	—
9	小計	1,618	0.53	0.1	39.33	1.0	546	33.77
その他リテール向けエクスポージャー（事業性向け）								
1	0.00以上0.15未満	—	—	—	—	—	—	—
2	0.15以上0.25未満	100	0.15	0.0	44.21	—	14	14.67
3	0.25以上0.50未満	0	0.43	0.0	44.21	—	0	29.42
4	0.50以上0.75未満	—	—	—	—	—	—	—
5	0.75以上2.50未満	3	1.51	0.0	44.21	—	1	52.63
6	2.50以上10.00未満	3	3.41	0.0	44.21	—	2	62.21
7	10.00以上100.00未満	—	—	—	—	—	—	—
8	100.00（デフォルト）	—	—	—	—	—	—	—
9	小計	106	0.29	0.0	44.21	—	18	17.29
合計（全てのポートフォリオ）		1,987,736	0.01	0.2	44.98	3.9	31,620	1.59

2025年3月期（八十二銀行）

（単位：百万円、%、千件、年）

CCR4：内部格付手法-ポートフォリオ別及びPD区分別のカウンターパーティ信用リスク・エクスポージャー

項番	PD区分	イ EAD（信用 リスク削減 効果勘案 後）	ロ 平均PD	ハ 取引相手 方の数	ニ 平均LGD	ホ 平均残存期間	ヘ 信用リスク・ アセット	ト リスク・ ウェイトの 加重平均値 (RWA density)
ソブリン向けエクスポージャー								
1	0.00以上0.15未満	2,067,555	0.00	0.0	45.00	4.1	0	0.00
2	0.15以上0.25未満	—	—	—	—	—	—	—
3	0.25以上0.50未満	—	—	—	—	—	—	—
4	0.50以上0.75未満	—	—	—	—	—	—	—
5	0.75以上2.50未満	—	—	—	—	—	—	—
6	2.50以上10.00未満	—	—	—	—	—	—	—
7	10.00以上100.00未満	—	—	—	—	—	—	—
8	100.00（デフォルト）	—	—	—	—	—	—	—
9	小計	2,067,555	0.00	0.0	45.00	4.1	0	0.00
金融機関等向けエクスポージャー								
1	0.00以上0.15未満	202,246	0.05	0.0	45.00	1.1	34,057	16.83
2	0.15以上0.25未満	—	—	—	—	—	—	—
3	0.25以上0.50未満	—	—	—	—	—	—	—
4	0.50以上0.75未満	—	—	—	—	—	—	—
5	0.75以上2.50未満	3,899	1.87	0.0	45.00	1.0	4,549	116.65
6	2.50以上10.00未満	—	—	—	—	—	—	—
7	10.00以上100.00未満	—	—	—	—	—	—	—
8	100.00（デフォルト）	—	—	—	—	—	—	—
9	小計	206,146	0.08	0.0	45.00	1.1	38,606	18.72
事業法人向けエクスポージャー								
1	0.00以上0.15未満	4,003	0.08	0.0	41.15	1.0	631	15.78
2	0.15以上0.25未満	—	—	—	—	—	—	—
3	0.25以上0.50未満	1,381	0.30	0.0	39.03	1.0	470	34.01
4	0.50以上0.75未満	—	—	—	—	—	—	—
5	0.75以上2.50未満	1,335	0.89	0.0	40.00	1.0	812	60.85
6	2.50以上10.00未満	2	4.76	0.0	40.00	1.0	3	115.07
7	10.00以上100.00未満	—	—	—	—	—	—	—
8	100.00（デフォルト）	67	100.00	0.0	40.00	1.0	—	—
9	小計	6,791	1.28	0.1	40.48	1.0	1,917	28.23
中堅中小企業向けエクスポージャー								
1	0.00以上0.15未満	1,438	0.10	0.0	39.22	1.0	216	15.07
2	0.15以上0.25未満	—	—	—	—	—	—	—
3	0.25以上0.50未満	518	0.30	0.0	40.00	1.0	154	29.85
4	0.50以上0.75未満	—	—	—	—	—	—	—
5	0.75以上2.50未満	426	0.94	0.0	40.00	1.0	232	54.42
6	2.50以上10.00未満	48	4.76	0.0	39.99	1.0	48	98.57
7	10.00以上100.00未満	0	12.91	0.0	40.00	1.0	0	154.55
8	100.00（デフォルト）	74	100.00	0.0	40.00	1.0	—	—
9	小計	2,508	3.34	0.1	39.55	1.0	653	26.04
その他リテール向けエクスポージャー（事業性向け）								
1	0.00以上0.15未満	57	0.14	0.0	45.79	—	8	14.98
2	0.15以上0.25未満	—	—	—	—	—	—	—
3	0.25以上0.50未満	—	—	—	—	—	—	—
4	0.50以上0.75未満	—	—	—	—	—	—	—
5	0.75以上2.50未満	20	1.66	0.0	45.79	—	11	54.26
6	2.50以上10.00未満	—	—	—	—	—	—	—
7	10.00以上100.00未満	—	—	—	—	—	—	—
8	100.00（デフォルト）	0	100.00	0.0	45.79	—	—	—
9	小計	78	1.00	0.0	45.79	—	19	25.24
合計（全てのポートフォリオ）		2,283,079	0.01	0.2	44.98	3.8	41,197	1.80

(22)第十八面CCR5：担保の内訳

(連結)

2026年3月期（八十二長野銀行）

(単位：百万円)

CCR5：担保の内訳

項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ
		派生商品取引で使用される担保				レポ形式の取引で使用される担保	
		受入担保の公正価値		差入担保の公正価値		受入担保の公正価値	差入担保の公正価値
		分別管理されている	分別管理されていない	分別管理されている	分別管理されていない		
1	現金（国内通貨）	—	126,990	—	24,557	57,552	—
2	現金（外国通貨）	—	—	—	1,599	196,419	—
3	国内ソブリン債	—	—	—	49,960	—	174,729
4	その他ソブリン債	—	—	—	—	—	173,813
5	政府関係機関債	—	—	—	—	—	—
6	社債	—	—	—	—	—	—
7	株式	—	—	—	—	—	—
8	その他担保	—	53	—	—	—	—
9	合計	—	127,043	—	76,116	253,971	348,542

2025年3月期

(単位：百万円)

CCR5：担保の内訳（八十二銀行）

項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ
		派生商品取引で使用される担保				レポ形式の取引で使用される担保	
		受入担保の公正価値		差入担保の公正価値		受入担保の公正価値	差入担保の公正価値
		分別管理されている	分別管理されていない	分別管理されている	分別管理されていない		
1	現金（国内通貨）	—	10,985	—	12,513	44,555	—
2	現金（外国通貨）	—	—	—	1,352	180,328	—
3	国内ソブリン債	—	—	—	5,030	—	224,972
4	その他ソブリン債	—	—	—	—	—	168,477
5	政府関係機関債	—	—	—	—	—	—
6	社債	—	—	—	—	—	—
7	株式	—	33	—	—	—	—
8	その他担保	—	85	—	—	—	—
9	合計	—	11,103	—	18,896	224,883	393,449

(23)第十九面CCR6：クレジット・デリバティブ取引のエクスポージャー

クレジット・デリバティブ取引のエクスポージャーはありません。

(24)第二十面CCR7：期待エクスポージャー方式を用いたカウンターパーティ信用リスク・エクスポージャーのリスク・アセット変動表

期待エクスポージャー方式を用いたカウンターパーティ信用リスク・エクスポージャーはありません。

(25)第二十一面CCR8：中央清算機関向けエクスポージャー

(連結)

2026年3月期（八十二長野銀行）

(単位：百万円)

CCR8：中央清算機関向けエクスポージャー

項番		イ	ロ
		中央清算機関向け エクスポージャー (信用リスク削減手法適用後)	リスク・アセットの額
1	適格中央清算機関へのエクスポージャー（合計）		1,892
2	適格中央清算機関に対するトレード・エクスポージャー (当初証拠金を除く。)	94,637	1,892
3	(i) 派生商品取引（上場以外）	94,018	1,880
4	(ii) 派生商品取引（上場）	619	12
5	(iii) レポ形式の取引	—	—
6	(iv) クロスプロダクト・ネットtingが承認された場 合のネットting・セット	—	—
7	分別管理されている当初証拠金	—	—
8	分別管理されていない当初証拠金	—	—
9	事前拠出された清算基金	—	—
10	未拠出の清算基金	—	—
11	非適格中央清算機関へのエクスポージャー（合計）		—
12	非適格中央清算機関に対するトレード・エクスポージャー (当初証拠金を除く。)	—	—
13	(i) 派生商品取引（上場以外）	—	—
14	(ii) 派生商品取引（上場）	—	—
15	(iii) レポ形式の取引	—	—
16	(iv) クロスプロダクト・ネットtingが承認された場 合のネットting・セット	—	—
17	分別管理されている当初証拠金	—	—
18	分別管理されていない当初証拠金	—	—
19	事前拠出された清算基金	—	—
20	未拠出の清算基金	—	—

2025年3月期（八十二銀行）

(単位：百万円)

CCR8：中央清算機関向けエクスポージャー

項番		イ	ロ
		中央清算機関向け エクスポージャー (信用リスク削減手法適用後)	リスク・アセットの額
1	適格中央清算機関へのエクスポージャー（合計）		1,230
2	適格中央清算機関に対するトレード・エクスポージャー (当初証拠金を除く。)	61,508	1,230
3	(i) 派生商品取引（上場以外）	61,451	1,229
4	(ii) 派生商品取引（上場）	56	1
5	(iii) レポ形式の取引	—	—
6	(iv) クロスプロダクト・ネットtingが承認された場 合のネットting・セット	—	—
7	分別管理されている当初証拠金	—	—
8	分別管理されていない当初証拠金	—	—
9	事前拠出された清算基金	—	—
10	未拠出の清算基金	—	—
11	非適格中央清算機関へのエクスポージャー（合計）		—
12	非適格中央清算機関に対するトレード・エクスポージャー (当初証拠金を除く。)	—	—
13	(i) 派生商品取引（上場以外）	—	—
14	(ii) 派生商品取引（上場）	—	—
15	(iii) レポ形式の取引	—	—
16	(iv) クロスプロダクト・ネットtingが承認された場 合のネットting・セット	—	—
17	分別管理されている当初証拠金	—	—
18	分別管理されていない当初証拠金	—	—
19	事前拠出された清算基金	—	—
20	未拠出の清算基金	—	—

(26)第二十二面SEC1：原資産の種類別の証券化エクスポージャー（信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーに限る。）

（連結）

2026年3月期（八十二長野銀行）

（単位：百万円）

SEC1：原資産の種類別の証券化エクスポージャー（信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーに限る。）										
項番	原資産の種類	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ
		自金融機関がオリジネーター			自金融機関がスポンサー			自金融機関が投資家		
		資産譲渡型証券化取引	合 成 型証券化取引	小計	資産譲渡型証券化取引	合 成 型証券化取引	小計	資産譲渡型証券化取引	合 成 型証券化取引	小計
1	リテール（合計）	—	—	—	—	—	—	60,239	—	60,239
2	担保付住宅ローン	—	—	—	—	—	—	46,386	—	46,386
3	クレジットカード債権	—	—	—	—	—	—	5,599	—	5,599
4	その他リテールに係るエクスポージャー	—	—	—	—	—	—	8,253	—	8,253
5	再証券化	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6	ホールセール（合計）	—	—	—	—	—	—	77,843	—	77,843
7	事業法人向けローン	—	—	—	—	—	—	76,696	—	76,696
8	商業用モーゲージ担保証券	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	リース債権及び売掛債権	—	—	—	—	—	—	1,147	—	1,147
10	その他のホールセール	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	再証券化	—	—	—	—	—	—	—	—	—

2025年3月期（八十二銀行）

（単位：百万円）

SEC1：原資産の種類別の証券化エクスポージャー（信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーに限る。）										
項番	原資産の種類	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ
		自金融機関がオリジネーター			自金融機関がスポンサー			自金融機関が投資家		
		資産譲渡型証券化取引	合 成 型証券化取引	小計	資産譲渡型証券化取引	合 成 型証券化取引	小計	資産譲渡型証券化取引	合 成 型証券化取引	小計
1	リテール（合計）	—	—	—	—	—	—	74,907	—	74,907
2	担保付住宅ローン	—	—	—	—	—	—	51,691	—	51,691
3	クレジットカード債権	—	—	—	—	—	—	6,658	—	6,658
4	その他リテールに係るエクスポージャー	—	—	—	—	—	—	16,556	—	16,556
5	再証券化	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6	ホールセール（合計）	—	—	—	—	—	—	54,927	—	54,927
7	事業法人向けローン	—	—	—	—	—	—	53,729	—	53,729
8	商業用モーゲージ担保証券	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	リース債権及び売掛債権	—	—	—	—	—	—	1,197	—	1,197
10	その他のホールセール	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	再証券化	—	—	—	—	—	—	—	—	—

（注1）当行および連結グループは、オリジネーターおよびスポンサーとしての証券化取引はありません。

（注2）再証券化取引はありません。

(27)第二十三面SEC2：原資産の種類別の証券化エクスポージャー（マーケット・リスク相当額の算出対象となっている証券化エクスポージャーに限る。）

当行および連結グループは、マーケット・リスクは不算入としているため、該当ありません。

(28)第二十四面SEC3：信用リスク・アセットの額の算出対象となる証券化エクスポージャー及び関連する所要自己資本（自金融機関がオリジネーター又はスポンサーである場合）

当行および連結グループは、オリジネーターおよびスポンサーとしての証券化取引はありません。

(29)第二十五面SEC4:信用リスク・アセットの額の算出対象となる証券化エクスポージャー及び関連する所要自己資本（自金融機関が投資家である場合）

〈連結〉

2026年3月期（八十二長野銀行）

（単位：百万円）

SEC4:信用リスク・アセットの額の算出対象となる証券化エクスポージャー及び関連する所要自己資本（自金融機関が投資家である場合）																
項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ	ワ	カ	ヨ
		合計														
		資産譲渡型証券化取引（小計）							合成型証券化取引（小計）							
		証券化			再証券化				証券化			再証券化				
				裏付け となる リテール	ホール セール			シニア	非シニア			裏付け となる リテール	ホール セール		シニア	非シニア
	エクスポージャーの額（リスク・ウェイト区分別）															
1	20%以下のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	128,155	128,155	128,155	60,239	67,916		—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	20%超50%以下のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	8,780	8,780	8,780		8,780		—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	50%超100%以下のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	1,147	1,147	1,147		1,147		—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	100%超1250%未満のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	エクスポージャーの額（算出方法別）															
6	内部格付手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャー	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	外部格付準拠方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャー	138,083	138,083	138,083	60,239	77,843		—	—	—	—	—	—	—	—	—
8	標準的手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャー	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	信用リスク・アセットの額（算出方法別）															
10	内部格付手法準拠方式により算出した信用リスク・アセット	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	外部格付準拠方式又は内部評価方式により算出した信用リスク・アセット	29,501	29,501	29,501	12,004	17,497		—	—	—	—	—	—	—	—	—
12	標準的手法準拠方式により算出した信用リスク・アセット	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—
13	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る信用リスク・アセット	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	所要自己資本の額（算出方法別）															
14	内部格付手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—
15	外部格付準拠方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	2,360	2,360	2,360	960	1,399		—	—	—	—	—	—	—	—	—
16	標準的手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—
17	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—

2025年3月期（八十二銀行）

（単位：百万円）

SEC4:信用リスク・アセットの額の算出対象となる証券化エクスポージャー及び関連する所要自己資本（自金融機関が投資家である場合）

項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ	ワ	カ	ヨ
		合計														
		資産譲渡型証券化取引（小計）							合成型証券化取引（小計）							
		証券化			再証券化				証券化			再証券化				
				裏付け となる リテール	ホール セール		シニア	非シニア			裏付け となる リテール	ホール セール		シニア	非シニア	
エクスポージャーの額（リスク・ウェイト区分別）																
1	20%以下のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	119,808	119,808	119,808	74,907	44,901	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	20%超50%以下のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	4,905	4,905	4,905	—	4,905	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	50%超100%以下のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	5,120	5,120	5,120	—	5,120	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	100%超1250%未満のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
エクスポージャーの額（算出方法別）																
6	内部格付手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	外部格付準拠方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャー	129,834	129,834	129,834	74,907	54,927	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8	標準的手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
信用リスク・アセットの額（算出方法別）																
10	内部格付手法準拠方式により算出した信用リスク・アセット	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	外部格付準拠方式又は内部評価方式により算出した信用リスク・アセット	29,079	29,079	29,079	14,899	14,179	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12	標準的手法準拠方式により算出した信用リスク・アセット	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
13	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る信用リスク・アセット	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
所要自己資本の額（算出方法別）																
14	内部格付手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
15	外部格付準拠方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	2,326	2,326	2,326	1,191	1,134	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
16	標準的手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
17	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）再証券化取引はありません。

(30)第二十六面MR1：標準的方式によるマーケット・リスク相当額

当行および連結グループは、マーケット・リスクは不算入としているため、該当ありません。

(31)第二十七面MR2：内部モデル方式によるマーケット・リスク相当額に関する内訳

当行および連結グループは、マーケット・リスクは不算入としているため、該当ありません。

(32)第二十八面MR3：簡易的方式によるマーケット・リスク相当額

当行および連結グループは、マーケット・リスクは不算入としているため、該当ありません。

(33)第三十面IRRBB1：金利リスク

〈連結〉

(単位：百万円)

IRRBB1：金利リスク		イ		ロ	ハ		ニ
項番		△EVE			△NII		
		当期末	前期末		当期末	前期末	
		八十二長野銀行	八十二銀行		八十二長野銀行	八十二銀行	
1	上方パラレルシフト	21,213	20,719		3,102	2,437	
2	下方パラレルシフト	69,742	92,479		29,157	26,407	
3	スティープ化	18,798	14,632				
4	フラット化	37,266	49,609				
5	短期金利上昇	11,800	8,158				
6	短期金利低下	1,784	1,007				
7	最大値	69,742	92,479		29,157	26,407	
		ホ			ヘ		
		当期末			前期末		
		八十二長野銀行			八十二銀行		
8	Tier1 資本の額	994,223			826,884		

〈単体〉

(単位：百万円)

IRRBB1：金利リスク		イ		ロ	ハ		ニ
項番		△EVE			△NII		
		当期末	前期末		当期末	前期末	
		八十二長野銀行	八十二銀行		八十二長野銀行	八十二銀行	
1	上方パラレルシフト	21,213	20,719		3,102	2,043	
2	下方パラレルシフト	69,742	90,064		29,157	26,407	
3	スティープ化	18,798	14,632				
4	フラット化	37,266	49,297				
5	短期金利上昇	11,800	8,158				
6	短期金利低下	1,784	178				
7	最大値	69,742	90,064		29,157	26,407	
		ホ			ヘ		
		当期末			前期末		
		八十二長野銀行			八十二銀行		
8	Tier1 資本の額	905,662			740,778		

(34)第三十一面CCyB1：カウンター・シクリカル・バッファ比率に係る国又は地域別の状況
(連結)

2026年3月期（八十二長野銀行）

(単位：百万円、%)

CCyB1：カウンター・シクリカル・バッファ比率に係る国又は地域別の状況				
	イ	ロ	ハ	ニ
国又は地域	各金融当局が定める比率	カウンター・シクリカル・バッファ比率の計算に用いた当該国又は地域に係る信用リスク・アセットの額の合計額とデフォルト・リスクに対するマーケットリスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額とを合算した額	カウンター・シクリカル・バッファ比率	カウンター・シクリカル・バッファの額
オーストラリア	1.00	24,270		
ベルギー	1.00	937		
フランス	1.00	3,185		
ドイツ	0.75	1,298		
香港	0.50	4,806		
韓国	1.00	163		
ルクセンブルク	0.50	108,444		
オランダ	2.00	6,953		
スペイン	0.50	1,241		
スウェーデン	2.00	5,157		
英国	2.00	86,006		
小計		242,466		
合計		5,047,915	0.05	2,972

2025年3月期（八十二銀行）

(単位：百万円、%)

CCyB1：カウンター・シクリカル・バッファ比率に係る国又は地域別の状況				
	イ	ロ	ハ	ニ
国又は地域	各金融当局が定める比率	カウンター・シクリカル・バッファ比率の計算に用いた当該国又は地域に係る信用リスク・アセットの額の合計額とデフォルト・リスクに対するマーケットリスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額とを合算した額	カウンター・シクリカル・バッファ比率	カウンター・シクリカル・バッファの額
オーストラリア	1.00	24,333		
ベルギー	1.00	914		
フランス	1.00	5,066		
ドイツ	0.75	1,829		
香港	0.50	4,972		
韓国	1.00	174		
ルクセンブルク	0.50	95,394		
オランダ	2.00	3,870		
スペイン	0.50	1,402		
スウェーデン	2.00	3,910		
英国	2.00	73,107		
小計		214,976		
合計		4,136,431	0.05	2,536

(注) ロ欄の信用リスク・アセットの額については、対象となるエクスポージャーに係る債務者、保証人、本社、支社の所在国等を勘案し、最終リスクベースにて計算しております。但し、所在地ベースでの算出が困難な資産区分等については、記帳地ベースにて、信用リスク・アセットの額を計算しております。小計の変動は、集計対象となる「国又は地域」の変動（金融当局が定める比率が零を上回る「国又は地域」が対象）、及び当該「国又は地域」に係るエクスポージャー額の変動等によるものです。

(35)第三十三面OR1：オペレーショナル・リスク損失の推移

2026年3月期（八十二長野銀行）

（単位：百万円、件）

OR1：オペレーショナル・リスク損失の推移												
項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル
		当期末	前期末	前々期末	ハの前期末	ニの前期末	ホの前期末	ヘの前期末	トの前期末	チの前期末	リの前期末	直近十年間の平均
二百万円を超える損失を集計したもの												
1	ネットの損失の合計額 (特殊損失控除前)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	損失の件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	特殊損失の総額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	特殊損失の件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	ネットの損失の合計額 (特殊損失控除後)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
千万円を超える損失を集計したもの												
6	ネットの損失の合計額 (特殊損失控除前)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	損失の件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8	特殊損失の総額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	特殊損失の件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	ネットの損失の合計額 (特殊損失控除後)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
オペレーショナル・リスク相当額の計測に関する事項												
11	ILMの算出への内部 損失データ利用の有無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
12	項番11で内部損失デー タを利用していない場 合は、内部損失データの 承認基準充足の有無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無

2025年3月期（八十二銀行）

（単位：百万円、件）

OR1：オペレーショナル・リスク損失の推移												
項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル
		当期末	前期末	前々期末	ハの前期末	ニの前期末	ホの前期末	ヘの前期末	トの前期末	チの前期末	リの前期末	直近十年間の平均
二百万円を超える損失を集計したもの												
1	ネットの損失の合計額 (特殊損失控除前)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	損失の件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	特殊損失の総額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	特殊損失の件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	ネットの損失の合計額 (特殊損失控除後)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
千万円を超える損失を集計したもの												
6	ネットの損失の合計額 (特殊損失控除前)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	損失の件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8	特殊損失の総額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	特殊損失の件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	ネットの損失の合計額 (特殊損失控除後)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
オペレーショナル・リスク相当額の計測に関する事項												
11	ILMの算出への内部 損失データ利用の有無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
12	項番11で内部損失データ を利用していない場合、内部損失データの 承認基準充足の有無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無

（注）当行は、項番12の内部損失データの承認基準を満たしていないため、項番1から項番10までの記載を省略しております。

(36)第三十四面OR2：BICの構成要素

2026年3月期（八十二長野銀行）

(単位：百万円)

OR2：BICの構成要素				
項番		イ	ロ	ハ
		当期末	前期末	前々期末
1	ILDC	105,927		
2	資金運用収益	193,864	169,491	147,541
3	資金調達費用	88,817	77,374	68,199
4	金利収益資産	12,220,159	12,415,451	13,515,040
5	受取配当金	16,147	15,956	14,726
6	SC	35,225		
7	役務取引等収益	28,468	25,774	26,138
8	役務取引等費用	4,493	4,363	4,297
9	その他業務収益	3,666	2,665	2,273
10	その他業務費用	2,975	8,063	12,358
11	FC	40,734		
12	特定取引勘定のネット損益 (特定取引等のネット損益)	2,238	1,991	2,430
13	特定取引勘定以外の勘定のネット損益 (特定取引等以外の勘定のネット損益)	63,559	39,673	11,004
14	BI	181,886		
15	BIC	24,000		
16	除外特例の対象となる連結子法人等又は事業部門を含むBI	181,886		
17	除外特例によって除外したBI	—		

2025年3月期（八十二銀行）

(単位：百万円)

OR2：BICの構成要素				
項番		イ	ロ	ハ
		当期末	前期末	前々期末
1	ILDC	94,740		
2	資金運用収益	169,491	147,541	127,869
3	資金調達費用	77,374	65,130	52,790
4	金利収益資産	12,415,451	13,515,026	13,081,562
5	受取配当金	15,956	14,726	12,427
6	SC	35,044		
7	役務取引等収益	25,774	26,138	25,039
8	役務取引等費用	4,363	4,297	4,271
9	その他業務収益	2,665	2,273	2,272
10	その他業務費用	8,063	12,358	5,750
11	FC	24,019		
12	特定取引勘定のネット損益 (特定取引等のネット損益)	1,991	2,430	2,661
13	特定取引勘定以外の勘定のネット損益 (特定取引等以外の勘定のネット損益)	39,673	11,004	3,773
14	BI	153,803		
15	BIC	19,366		
16	除外特例の対象となる連結子法人等又は事業部門を含むBI	153,803		
17	除外特例によって除外したBI	—		

(37)第三十五面OR3：オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本額の概要

2026年3月期（八十二長野銀行）

（単位：百万円）

OR3：オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本額の概要

項番		
1	BIC	24,000
2	ILM	1
3	オペレーショナル・リスク相当額	24,000
4	オペレーショナル・リスク・アセットの額	300,009

2025年3月期（八十二銀行）

（単位：百万円）

OR3：オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本額の概要

項番		
1	BIC	19,366
2	ILM	1
3	オペレーショナル・リスク相当額	19,366
4	オペレーショナル・リスク・アセットの額	242,080

(38)第三十六面ENC1：担保資産の状況

2026年3月期（八十二長野銀行）

（単位：百万円）

ENC1：担保資産の状況

項番		イ	ロ	ハ	ニ
		担保に供されている 資産の額	担保に供されていない 資産の額	合計	うち、証券化エク スポージャーの額
1	現金預け金	—	2,818,818	2,818,818	—
	コールローン及び買入手形	—	—	—	—
2	買入金銭債権	—	73,397	73,397	56,858
3	特定取引資産	—	56,281	56,281	—
4	有価証券	—	39,540	39,540	—
	金銭の信託	1,133,260	2,231,993	3,365,253	76,696
5	貸出金	1,094,918	5,617,016	6,711,935	4,528
	外国為替	—	16,049	16,049	—
	リース債権及びリース投資資産	—	105,308	105,308	—
6	その他資産	20,904	210,430	231,335	—
	有形固定資産	—	38,749	38,749	—
	無形固定資産	—	4,803	4,803	—
	退職給付に係る資産	—	86,402	86,402	—
	繰延税金資産	—	1,906	1,906	—
	支払承諾見返	—	58,301	58,301	—
	貸倒引当金	—	△53,592	△53,592	—
	合計	2,249,083	11,305,405	13,554,489	138,083

2025年3月期（八十二銀行）

（単位：百万円）

ENC1：担保資産の状況

項番		イ	ロ	ハ	ニ
		担保に供されている 資産の額	担保に供されていない 資産の額	合計	うち、証券化エク スポージャーの額
1	現金預け金	252	3,026,803	3,027,055	—
	コールローン及び買入手形	—	11,958	11,958	—
2	買入金銭債権	—	105,003	105,003	71,543
3	特定取引資産	—	38,602	38,602	—
4	有価証券	—	78,761	78,761	—
	金銭の信託	1,314,385	2,092,355	3,406,740	53,729
5	貸出金	1,212,062	5,249,482	6,461,544	4,561
	外国為替	—	18,482	18,482	—
	リース債権及びリース投資資産	—	96,629	96,629	—
6	その他資産	13,712	142,935	156,648	—
	有形固定資産	—	38,628	38,628	—
	無形固定資産	—	4,076	4,076	—
	退職給付に係る資産	—	64,335	64,335	—
	繰延税金資産	—	1,698	1,698	—
	支払承諾見返	—	60,149	60,149	—
	貸倒引当金	—	△55,000	△55,000	—
	合計	2,540,412	10,974,903	13,515,316	129,834

(39)第三十七面CMS1：内部モデルを用いた手法と標準的手法のリスク・アセットの比較

2026年3月期（八十二長野銀行）

(単位：百万円)

CMS1：内部モデルを用いた手法と標準的手法のリスク・アセットの比較

項番		イ	ロ	ハ	ニ
		リスク・アセットの額			
		内部モデルを用いて算出したリスク・アセットの額	標準的な手法適用分のリスク・アセットの額	リスク・アセットの額	資本フロア計算に用いられる、標準的な手法により算出したリスク・アセットの額（フロア掛目前）
1	信用リスク	3,690,487	339,263	4,029,751	5,712,447
2	カウンターパーティ信用リスク	31,644	1,892	33,537	52,192
3	CVAリスク		12,565	12,565	14,787
4	信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャー	—	29,501	29,501	29,501
5	マーケット・リスク	—	—	—	—
6	オペレーショナル・リスク		300,009	300,009	300,009
7	その他リスク・アセット		1,540,285	1,540,285	1,159,164
8	合計	3,722,132	2,223,518	5,945,651	7,268,102

2025年3月期（八十二銀行）

(単位：百万円)

CMS1：内部モデルを用いた手法と標準的手法のリスク・アセットの比較

項番		イ	ロ	ハ	ニ
		リスク・アセットの額			
		内部モデルを用いて算出したリスク・アセットの額	標準的な手法適用分のリスク・アセットの額	リスク・アセットの額	資本フロア計算に用いられる、標準的な手法により算出したリスク・アセットの額（フロア掛目前）
1	信用リスク	2,874,407	520,291	3,394,698	5,037,702
2	カウンターパーティ信用リスク	41,582	1,230	42,812	68,396
3	CVAリスク		17,125	17,125	19,667
4	信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャー	—	29,079	29,079	29,079
5	マーケット・リスク	—	—	—	—
6	オペレーショナル・リスク		242,080	242,080	242,080
7	その他リスク・アセット		1,348,003	1,348,003	984,555
8	合計	2,915,989	2,157,810	5,073,800	6,381,481

(40)第三十八面CMS2：ポートフォリオ別の内部格付手法と標準的手法の信用リスク・アセットの比較

2026年3月期（八十二長野銀行）

（単位：百万円）

CMS2：ポートフォリオ別の内部格付手法と標準的手法の信用リスク・アセットの比較					
項番		イ	ロ	ハ	ニ
		信用リスク・アセットの額			
		内部格付手法適用分の信用リスク・アセットの額	イ欄の内部格付手法適用分の信用リスク・アセットの額について、標準的手法により算出した信用リスク・アセットの額	信用リスク・アセットの額	資本フロア計算に用いられる、標準的手法により算出した信用リスク・アセットの額（フロア掛目前）
1	ソブリン向けエクスポージャー	103,567	54,549	103,587	54,569
	うち、我が国の地方公共団体向け	—	5	—	5
	うち、外国の中央政府等以外の公共部門向け	2,395	1,850	2,395	1,850
	うち、国際開発銀行向け	—	—	—	—
	うち、地方公共団体金融機構向け	7,386	6,323	7,386	6,323
	うち、我が国の政府関係機関向け	43,114	25,442	43,134	25,463
	うち、地方三公社向け	5,242	1,251	5,242	1,251
2	金融機関等向けエクスポージャー	110,504	197,714	114,392	201,602
3	株式等向けエクスポージャー	1,083,660	859,907	1,399,627	1,175,884
4	購入債権	7,400	21,458	7,400	21,458
5	事業法人向けエクスポージャー（中堅中小企業向けエクスポージャー及び特定貸付債権を除く。）	1,192,344	2,405,611	1,210,613	2,423,881
	うち、基礎的内部格付手法適用分	1,192,344		1,192,344	
	うち、先進的内部格付手法適用分	—		—	
6	中堅中小企業向けエクスポージャー	404,874	642,269	405,993	643,388
	うち、基礎的内部格付手法適用分	404,874		404,874	
	うち、先進的内部格付手法適用分	—		—	
7	居住用不動産向けエクスポージャー	544,120	832,141	544,120	832,141
8	適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー	26,485	21,714	26,485	21,714
9	その他リテール向けエクスポージャー	98,710	184,336	98,710	184,336
10	特定貸付債権	118,820	153,470	118,820	153,470
	うち、事業用不動産向け貸付け及びボラティリティの高い事業用不動産向け貸付け	24,105	38,804	24,105	38,804
11	合計	3,690,487	5,373,173	4,029,751	5,712,447

2025年3月期（八十二銀行）

（単位：百万円）

CMS2：ポートフォリオ別の内部格付手法と標準的手法の信用リスク・アセットの比較

項番		信用リスク・アセットの額			
		イ	ロ	ハ	ニ
		内部格付手法適用分の信用リスク・アセットの額	イ欄の内部格付手法適用分の信用リスク・アセットの額について、標準的手法により算出した信用リスク・アセットの額	信用リスク・アセットの額	資本フロア計算に用いられる、標準的手法により算出した信用リスク・アセットの額（フロア掛目前）
1	ソブリン向けエクスポージャー	102,218	58,267	104,988	61,037
	うち、我が国の地方公共団体向け	0	1	0	1
	うち、外国の中央政府等以外の公共部門向け	2,366	2,138	2,366	2,138
	うち、国際開発銀行向け	—	—	—	—
	うち、地方公共団体金融機構向け	13,303	10,976	13,303	10,976
	うち、我が国の政府関係機関向け	45,777	26,979	45,969	27,171
	うち、地方三公社向け	4,172	965	4,172	965
2	金融機関等向けエクスポージャー	173,412	268,883	180,735	276,205
3	株式等向けエクスポージャー	800,725	514,297	995,891	709,464
4	購入債権	10,188	38,209	10,188	38,209
5	事業法人向けエクスポージャー（中堅中小企業向けエクスポージャー及び特定貸付債権を除く。）	993,464	2,114,384	1,054,935	2,175,854
	うち、基礎的内部格付手法適用分	993,464		993,464	
	うち、先進的内部格付手法適用分	—		—	
6	中堅中小企業向けエクスポージャー	346,630	565,061	423,979	642,405
	うち、基礎的内部格付手法適用分	346,630		346,630	
	うち、先進的内部格付手法適用分	—		—	
7	居住用不動産向けエクスポージャー	272,710	677,412	415,261	819,963
8	適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー	14,384	18,767	16,338	20,721
9	その他リテール向けエクスポージャー	85,095	167,393	116,805	199,103
10	特定貸付債権	75,575	94,737	75,575	94,737
	うち、事業用不動産向け貸付け及びボラティリティの高い事業用不動産向け貸付け	10,775	16,834	10,775	16,834
11	合計	2,874,407	4,517,413	3,394,698	5,037,702

財務データ

自己資本の充実の状況

流動性に係る経営の健全性の状況

報酬等に関する開示事項

IV. レバレッジ比率に関する開示事項

1. 連結レバレッジ比率の構成に関する事項

(第一面)

(単位: 百万円)

項番(国際 様式(LR1) の該当番号)	項目	2026年3月期	2025年3月期
		八十二長野銀行	八十二銀行
1	連結貸借対照表における総資産の額	13,554,489	13,515,316
2	連結レバレッジ比率の範囲又は持株レバレッジ比率の範囲に含まれない子法人等の資産の額 (△)	—	—
3	リスク移転の認識に係る要件を充足しない証券化エクスポージャーに係る調整	—	—
4	中央銀行預け金に係る除外による調整 (△)	2,706,825	2,876,286
5	顧客資産のうち、連結貸借対照表に計上されている金額 (△)		
6	有価証券の売買を約定日基準により会計処理している場合における調整項目	—	—
7	キャッシュ・プーリング契約に基づく資金の移動に係る調整項目	—	—
8	デリバティブ取引等に関する調整額	△ 41,808	△ 11,603
8a	デリバティブ取引等に関する額	117,523	85,292
8b	デリバティブ取引等に関連する資産の額 (△)	159,331	96,895
9	レポ取引等に関する調整額	99,599	169,166
9a	レポ取引等に関する額	99,599	169,166
9b	レポ取引等に関する額 (△)	—	—
10	オフ・バランス取引に関する額	210,720	201,717
11	Tier1資本に係る調整項目の額 (貸倒引当金) (△)	6,876	1,796
12	その他の調整項目	△ 183,415	△ 155,768
12a	Tier1資本に係る調整項目の額 (貸倒引当金以外) (△)	104,638	87,342
12b	支払承諾見返勘定の額 (△)	58,301	60,149
12c	デリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額 (相殺した額に相当する部分に限る。)	—	—
12d	デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額 (△)	20,476	8,277
12e	連結レバレッジ比率の範囲又は持株レバレッジ比率の範囲に含まれる子会社の資産の額 (連結貸借対照表における総資産の額に含まれる額を除く。)	—	—
13	総エクスポージャーの額	10,925,885	10,840,746

(第二面)

(単位: 百万円、%)

項番(国際 様式(LR2) の該当番号)	項目	2026年3月期	2025年3月期
		八十二長野銀行	八十二銀行
オン・バランス資産の額 (1)			
1	個別項目調整前のオン・バランス資産の額	10,630,031	10,481,985
2	デリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額 (相殺した額に相当する部分に限る。)	—	—
3	デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額 (△)	20,476	8,277
4	レポ取引等により受領した証券の計上額 (△)	—	—
5	Tier1資本に係る調整項目の額 (貸倒引当金) (△)	6,876	1,796
6	Tier1資本に係る調整項目の額 (貸倒引当金以外) (△)	104,638	87,342
7	オン・バランス資産の額 (イ)	10,498,041	10,384,570
デリバティブ取引等に関する額 (2)			
8	デリバティブ取引等に関するRCの額に1.4を乗じた額	86,153	53,714
9	デリバティブ取引等に関するPFEの額に1.4を乗じた額	31,370	31,578
10	間接清算参加者に適格中央清算機関の債務履行を保証していない場合に零とした中央清算機関向けエクスポージャーの額 (△)	—	—
11	クレジット・デリバティブ等のプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額	—	—
12	クレジット・デリバティブ等のプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額から控除した額 (△)	—	—
13	デリバティブ取引等に関する額 (ロ)	117,523	85,292
レポ取引等に関する額 (3)			
14	レポ取引等に関する資産の額	—	—
15	レポ取引等に関する資産の額から控除した額 (△)	—	—
16	レポ取引等に関するカウンターパーティ・リスクのエクスポージャーの額	99,599	169,166
17	代理取引のエクスポージャーの額		
18	レポ取引等に関する額 (ハ)	99,599	169,166

オフ・バランス取引に関する額 (4)			
19	オフ・バランス取引の想定元本の額	2,319,616	2,246,415
20	オフ・バランス取引に係るエクスポージャーの額への変換調整の額 (△)	2,108,895	2,044,698
22	オフ・バランス取引に関する額 (二)	210,720	201,717
連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率 (5)			
23	資本の額 (ホ)	994,223	826,884
24	総エクスポージャーの額 ((イ) + (ロ) + (ハ) + (ニ)) (ヘ)	10,925,885	10,840,746
25	連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率 ((ホ) / (ヘ))	9.09	7.62
26	適用する所要連結レバレッジ比率又は所要持株レバレッジ比率	3.15	3.15
27	適用する所要連結レバレッジ・バッファ率又は所要持株レバレッジ・バッファ率		
	総エクスポージャーの額 (ヘ)	10,925,885	10,840,746
	日本銀行に対する預け金の額	2,706,825	2,876,286
	日本銀行に対する預け金を算入する場合の総エクスポージャーの額 (ヘ')	13,632,711	13,717,032
	日本銀行に対する預け金を算入する場合の連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率 ((ホ) / (ヘ'))	7.29	6.02
平均値の開示 (7)			
28	レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値 ((ト) + (チ))	—	—
	レポ取引等に関する資産の額に係る平均値 (ト)	—	—
	レポ取引等に関する資産の額から控除した額に係る平均値 (△) (チ)	—	—
29	レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る四半期末の値 ((リ) + (ヌ))	—	—
14	レポ取引等に関する資産の額に係る四半期末の値 (リ)	—	—
15	レポ取引等に関する資産の額から控除した額に係る四半期末の値 (△) (ヌ)	—	—
30	総エクスポージャーの額 (レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値を使用し、日本銀行に対する預け金を算入しない場合) (ル)	10,925,885	10,840,746
30 a	総エクスポージャーの額 (レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値を使用し、日本銀行に対する預け金を算入する場合) (ヲ)	13,632,711	13,717,032
31	連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率 (レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値を使用し、日本銀行に対する預け金を算入しない場合) ((ホ) / (ル))	9.09	7.62
31 a	連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率 (レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値を使用し、日本銀行に対する預け金を算入する場合) ((ホ) / (ヲ))	7.29	6.02

(注) 「国際様式 (LR1) の該当番号」及び「国際様式 (LR2) の該当番号」とは、バーゼル銀行監督委員会により2019年12月15日に公表された「Consolidated framework.DIS80 Leverage ratio」と題する文書の表LR1及びLR2に記載された番号です。

2. 前連結会計年度の連結レバレッジ比率との間に著しい差異を生じた原因 (当該差異がある場合に限る。)

「その他の包括利益累計額及びその他公表準備金の額」の増加を主因に、資本の額が増加したためです。

3. 単体レバレッジ比率の構成に関する事項

(第一面)

(単位: 百万円)

項番(国際 様式(LR1) の該当番号)	項目	2026年3月期	2025年3月期
		八十二長野銀行	八十二銀行
1	貸借対照表における総資産の額	13,432,753	12,532,911
3	リスク移転の認識に係る要件を充足しない証券化エクスポージャーに係る調整	—	—
4	中央銀行預け金に係る除外による調整 (△)	2,706,825	2,725,240
5	顧客資産のうち、貸借対照表に計上されている金額 (△)		
6	有価証券の売買を約定日基準により会計処理している場合における調整項目	—	—
7	キャッシュ・プーリング契約に基づく資金の移動に係る調整項目	—	—
8	デリバティブ取引等に関する調整額	△ 41,808	△ 11,603
8a	デリバティブ取引等に関する額	117,523	85,292
8b	デリバティブ取引等に関連する資産の額 (△)	159,331	96,895
9	レポ取引等に関する調整額	99,599	169,166
9a	レポ取引等に関する額	99,599	169,166
9b	レポ取引等に関する額 (△)	—	—
10	オフ・バランス取引に関する額	215,268	203,242
11	Tier1資本に係る調整項目の額 (貸倒引当金) (△)	9,589	3,865
12	その他の調整項目	△ 157,634	△ 138,917
12a	Tier1資本に係る調整項目の額 (貸倒引当金以外) (△)	78,857	71,260
12b	支払承諾見返勘定の額 (△)	58,301	59,380
12c	デリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額 (相殺した額に相当する部分に限る。)	—	—
12d	デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額 (△)	20,476	8,277
13	総エクスポージャーの額	10,831,765	10,025,692

(第二面)

(単位: 百万円、%)

項番(国際 様式(LR2) の該当番号)	項目	2026年3月期	2025年3月期
		八十二長野銀行	八十二銀行
オン・バランス資産の額 (1)			
1	個別項目調整前のオン・バランス資産の額	10,508,295	9,651,394
2	デリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額 (相殺した額に相当する部分に限る。)	—	—
3	デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額 (△)	20,476	8,277
4	レポ取引等により受領した証券の計上額 (△)	—	—
5	Tier1資本に係る調整項目の額 (貸倒引当金) (△)	9,589	3,865
6	Tier1資本に係る調整項目の額 (貸倒引当金以外) (△)	78,857	71,260
7	オン・バランス資産の額 (イ)	10,399,373	9,567,992
デリバティブ取引等に関する額 (2)			
8	デリバティブ取引等に関するRCの額に1.4を乗じた額	86,153	53,714
9	デリバティブ取引等に関するPFEの額に1.4を乗じた額	31,370	31,578
10	間接清算参加者に適格中央清算機関の債務履行を保証していない場合に零とした中央清算機関向けエクスポージャーの額 (△)	—	—
11	クレジット・デリバティブ等のプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額	—	—
12	クレジット・デリバティブ等のプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額から控除した額 (△)	—	—
13	デリバティブ取引等に関する額 (ロ)	117,523	85,292
レポ取引等に関する額 (3)			
14	レポ取引等に関する資産の額	—	—
15	レポ取引等に関する資産の額から控除した額 (△)	—	—
16	レポ取引等に関するカウンターパーティ・リスクのエクスポージャーの額	99,599	169,166
17	代理取引のエクスポージャーの額		
18	レポ取引等に関する額 (ハ)	99,599	169,166

オフ・バランス取引に関する額 (4)			
19	オフ・バランス取引の想定元本の額	2,326,059	2,235,240
20	オフ・バランス取引に係るエクスポージャーの額への変換調整の額 (△)	2,110,790	2,031,997
22	オフ・バランス取引に関する額 (二)	215,268	203,242
単体レバレッジ比率 (5)			
23	資本の額 (ホ)	905,662	740,778
24	総エクスポージャーの額 ((イ) + (ロ) + (ハ) + (ニ)) (ヘ)	10,831,765	10,025,692
25	単体レバレッジ比率 ((ホ) / (ヘ))	8.36	7.38
26	適用する所要単体レバレッジ比率	3.15	3.15
27	適用する所要単体レバレッジ・バッファ率		
	総エクスポージャーの額 (ヘ)	10,831,765	10,025,692
	日本銀行に対する預け金の額	2,706,825	2,725,240
	日本銀行に対する預け金を算入する場合の総エクスポージャーの額 (ヘ')	13,538,591	12,750,933
	日本銀行に対する預け金を算入する場合の単体レバレッジ比率 ((ホ) / (ヘ'))	6.68	5.80
平均値の開示 (7)			
28	レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値 ((ト) + (チ))	—	—
	レポ取引等に関する資産の額に係る平均値 (ト)	—	—
	レポ取引等に関する資産の額から控除した額に係る平均値 (△) (チ)	—	—
29	レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る四半期末の値 ((リ) + (ヌ))	—	—
14	レポ取引等に関する資産の額に係る四半期末の値 (リ)	—	—
15	レポ取引等に関する資産の額から控除した額に係る四半期末の値 (△) (ヌ)	—	—
30	総エクスポージャーの額 (レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値を使用し、日本銀行に対する預け金を算入しない場合) (ル)	10,831,765	10,025,692
30a	総エクスポージャーの額 (レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値を使用し、日本銀行に対する預け金を算入する場合) (ヲ)	13,538,591	12,750,933
31	単体レバレッジ比率 (レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値を使用し、日本銀行に対する預け金を算入しない場合) ((ホ) / (ル))	8.36	7.38
31a	単体レバレッジ比率 (レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値を使用し、日本銀行に対する預け金を算入する場合) ((ホ) / (ヲ))	6.68	5.80

(注) 「国際様式 (LR1) の該当番号」及び「国際様式 (LR2) の該当番号」とは、バーゼル銀行監督委員会により2019年12月15日に公表された「Consolidated framework.DIS80 Leverage ratio」と題する文書の表LR1及びLR2に記載された番号です。

4. 前事業年度の単体レバレッジ比率との間に著しい差異を生じた原因 (当該差異がある場合に限る。)

「評価・換算差額等及びその他公表準備金の額」の増加を主因に、資本の額が増加したためです。